

スポーツ実習に関するアンケート

2006 年 5 月

京都大学高等教育研究開発推進機構

目次

はじめに	1
スポーツ実習の履修状況	3
スポーツ実習を卒業単位に認定している7学部生（総人・文・教・法・経・理・工） に対するアンケート調査	5
1 総合人間学部	5
2 文学部	9
3 教育学部	13
4 法学部	17
5 経済学部	21
6 理学部	25
7 工学部	29
8 7学部全体の集計	33
スポーツ実習を卒業単位に認定していない3学部生（医・薬・農）に対する アンケート調査	37
1.1 医学部・医学科	37
1.2 医学部・保健学科	39
2 薬学部	42
3.1 農学部（スポーツ実習非履修者）	47
3.2 農学部（スポーツ実習履修者）	51
結び	55
スポーツ実習に関するアンケート（調査票）	58
自由記述一覧	64
スポーツ実習を卒業単位に認定している7学部	64
スポーツ実習を卒業単位に認定していない3学部	112
D群科目部会委員名簿	151

はじめに

スポーツ実習（体育実技）に関する全学的なアンケート調査は、おそらく京都大学の開学以来、初めて行われたのではないだろうか。

平成3年（1991年）7月の大学設置基準の大綱化以前は、保健体育科目として保健体育講義と体育実技が開講されており、1回生と2回生が必修（講義2単位、実技2単位）で保健体育科目を履修していた。しかし、大綱化以降の初年度（平成4年度）の一般教育は全学共通科目としてA、B、C、D群に呼称変更され、D群（保健体育科目）は、従来どおり講義2単位、実技2単位が必修とされた（理学部のみD群4単位は選択となった）。平成5年度より、体育実技がスポーツ実習に変更になり、単位数もそれまでの倍にカウントされるようになった。講義関連の科目は、B・D群科目と位置付けられ、D群として履修するか、B群として履修するかは学生の意志に任されるようになり、スポーツ実習は、D群として扱われるようになった。

医・薬・農の3学部以外の学部は、スポーツ実習を必修科目から外し（教育学部では数年間は必修であったが、平成11年度より必修から外した）、学生の意志に応じて、2単位まで卒業単位に認定する制度を打ち出した。医学部と薬学部は、平成5年度よりスポーツ実習を卒業単位としてカウントしないことを決め、更に農学部も平成7年度より医・薬学部に引き続いてスポーツ実習を卒業単位としてカウントしないことを取り決めた（医・薬・農の3学部においても、保健体育関係の講義科目は、B群科目としてであれば卒業単位に認定される。また、医学部医学科では、平成18年度より、D群として登録した場合にも、2単位まではA群として卒業単位に認定する方針に変更した）。なお、教育職員免許状を取得するには、スポーツ実習は必修となっており、医学部・薬学部・農学部の学生も、教育職員免許状の取得希望者は、スポーツ実習を履修している。今回のアンケート調査は、このような経緯をたどってきたD群科目のスポーツ実習について実施したものである。

大綱化以前の教養課程で体育が必修とされていたのは、大学教育における体育が教養教育のカリキュラムの中に位置付けられていたことを意味する。現在の京都大学において開講されている全学共通科目が、人文・社会科学系（A群）、自然科学系（B群）、外国語（C群）、保健体育（D群）の4つのカテゴリーに分かれているのも、その流れを汲むものである。大綱化以前には必修であったため、スポーツ実習を改善する全学的な気運もなく、今回のような全学的なアンケートを行うこともなかった。しかし、大綱化以降、各学部においてスポーツ実習が必修科目から外れ、スポーツ実習を履修しても卒業単位に認定されない学部も出てきた。このような状況で10年という歳月が流れたが、スポーツ実習が本学でどのような位置付けにあり、何を目的として、その目的を果たすには、何をどのように実施すれば良いのか、全学的に検討すべき時期に来ているものと考えられる。

アンケートは二種類行った。すなわち、スポーツ実習を卒業単位に認めている7学部生（総人・文・教・法・経・理・工）に対して行うものと、スポーツ実習を卒業単位に認めていない3学部生（医・薬・農）に対して行うものである。前者については661名、後者については921名の回答を得た（総数は1,584名、学部不明の2名を含む）。前者は、平成17年度後期のスポーツ実習におけるコンピュータでの履修登録時に、回収率を上げるため、指定の部屋に集まった学生にアンケート用紙を配布し、その場で記入してもらうように配慮した（回収率は、授業登録者の約70%であった）。後者の3学部に関しては、平成17年度前期の成績表を各学部の教務掛の窓口で配布する時に、アンケート用紙を手渡し、その場で記入してもらうこととした。3学部の定員を足し算して、そのうち1

回生は 73.6%という高い回収率を示し、2 回生は 55.0%と半数以上の回収率を示した。なお、3 回生は 3.5%、4 回生以上は 1.2%と非常に少ない回収率であった。

アンケートの内容は、スポーツ実習を卒業単位に認めている 7 学部生に対しては、高校までの体育授業に対する印象とその必要性について問いかけた。また、京都大学に入学してスポーツ実習を履修したその印象とそれを大学の授業として必要と感じているか否か、その理由について自由記述してもらおうと同時に、高校までの体育授業に対して満足していたか否かについて分析した。更に、必修ではないスポーツ実習を履修する理由を分析するとともに、スポーツ実習に対して感じている問題点について尋ねた。

スポーツ実習を卒業単位に認めていない 3 学部生に対しては、前者と同様、高校までの体育授業に対する印象とその必要性について問いかけ、7 学部生との比較を試みた。更に、スポーツ実習が卒業単位として認定されていない現状を踏まえ、もしスポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば履修する気持ちがあるかどうか、そして、スポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思うかどうかについて尋ねた。また、それらの理由についても自由記述してもらった。

以下、アンケート設問とそれに対する回答の集計と解釈・分析を示す。最後に、「結び」において問題点を整理し、今後の改善策を提案する。

平成 18 年 5 月

京都大学高等教育研究開発推進機構
全学共通教育システム委員会
教養教育専門委員会 D 群科目部会
部会長 小田 伸午

スポーツ実習の履修状況

平成 16 年度後期と平成 17 年度前期のスポーツ実習の履修状況を以下の一覧表に示す。医・薬・農の 3 学部以外の学部の 1 回生のスポーツ実習については、学生が好きな時間帯を選べるとすると、曜日・時限ごとに受講者数の多少が生じてしまう。そうなるに穏当な授業実施に支障を来たすため、クラス指定をして、履修する曜日・時限を指定している。

平成16年度後期 学部・回生別スポーツ実習履修登録者数

総合人間学部					文学部					教育学部					法学部					経済学部					理学部				
1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計
100	11	1	1	113	171	15	5	5	196	58	4	0	0	62	269	20	5	3	297	196	21	7	4	228	192	34	4	5	235
医学部					薬学部					工学部					農学部					計									
1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計			
9	0					9	6	1	0	0	7	697	114	27	18	856	50	24	3	3	80	1748	244	52	39	2083			

平成17年度前期 学部・回生別スポーツ実習履修登録者数

総合人間学部					文学部					教育学部					法学部					経済学部					理学部				
1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計
85	16	5	0	106	164	14	1	2	181	52	3	1	3	59	262	22	1	1	286	109	12	2	3	126	184	31	8	5	228
医学部					薬学部					工学部					農学部					計									
1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	1	2	3	4	計			
6	10	0	0	0	0	16	2	0	0	0	2	759	153	8	11	931	34	26	0	2	62	1657	287	26	27	1997			

1. 1 回生

平成 16 年度後期（括弧内は、履修者／H16.10.1 現在の学生数）

総合人間学部 100 名 (75.8%：小数点以下 1 桁まで、2 桁目を四捨五入)、文学部 171 名 (76.7%)、教育学部 58 名 (92.1%)、法学部 269 名 (80.0%)、経済学部 196 名 (76.6%)、理学部 192 名 (63.6%)、工学部 697 名 (71.3%)、医学部 9 名 (3.6%)、薬学部 6 名 (7.0%)、農学部 50 名 (16.0%)

全体 1,748 名 (59.6%)

7 学部 (医・薬・農以外) 1,683 名 (73.5%)

平成 17 年度前期（括弧内は、履修者／H17.5.1 現在の学生数）

総合人間学部 85 名 (69.1%)、文学部 164 名 (72.9%)、教育学部 52 名 (81.3%)、法学部 262 名 (78.7%)、経済学部 109 名 (42.7%)、理学部 184 名 (59.0%)、工学部 759 名 (77.8%)、医学部 6 名 (2.4%)、薬学部 2 名 (2.3%)、農学部 34 名 (10.7%)

全体 1,657 名 (56.4%)

7 学部 (医・薬・農以外) 1,615 名 (70.6%)

医・薬・農以外の 7 学部の 1 回生では、履修率は 70% を上回っている。全学でみても、50～60% 程度の 1 回生がスポーツ実習を受講していることになる。スポーツ実習を卒業単位に認めていない医・薬・農の 3 学部のうち、農学部が 10% を上回る履修率を示したのは、教育職員免許状取得希望者が農学部で比較的多いためであろう。

2. 2回生以上

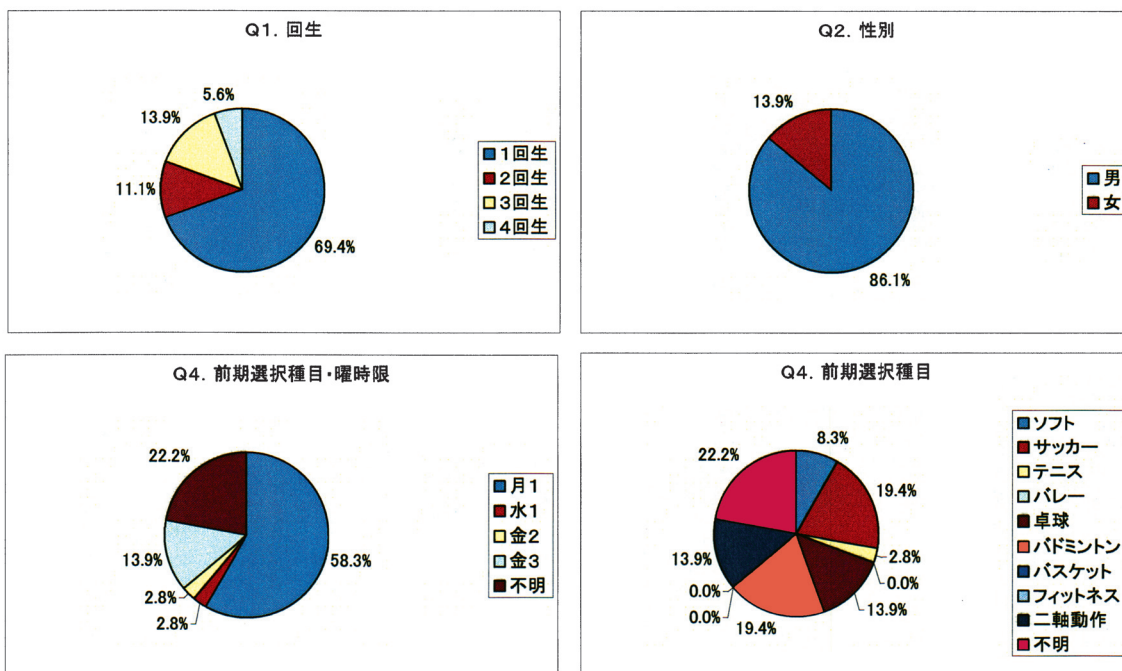
平成 16 年度後期では 2 回生が全学部で 244 名（8.7%）、平成 17 年度前期では 2 回生が全学部で 287 名（9.8%）を示した。3 回生、4 回生は 16 年度後期が 52 名、39 名、17 年度前期が 26 名、27 名と非常に少ない。2 回生以上の授業は現在、金曜日の 2 限と 3 限に、計 8 コマ開講されている。履修人数からみると、適正数を満たした開講コマ数となっているが、2 回生以上のアンケートの自由記述からは、専門科目の履修で多忙な上回生の姿が浮かび上がってくる。今後、3・4 回生も履修可能な 5 限のスポーツ実習開講の可能性について検討してみたい。

スポーツ実習を卒業単位に認定している7学部生（総人・文・教・法・経・理・工）に対するアンケート調査

以下では学部・設問ごとに回答結果を検討する。設問ごとの集計結果は、小数点以下1桁まで（2桁目を四捨五入）の百分率を添えてある。

1 総合人間学部 36名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

36名中、1回生が25名（69.4%）、2回生が4名（11.1%）、3回生が5名（13.9%）、4回生が2名（5.6%）であった。

Q2. あなたの性別は？

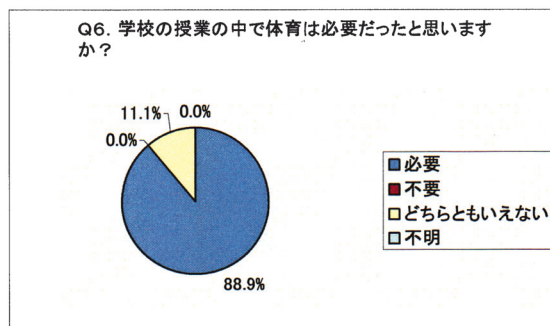
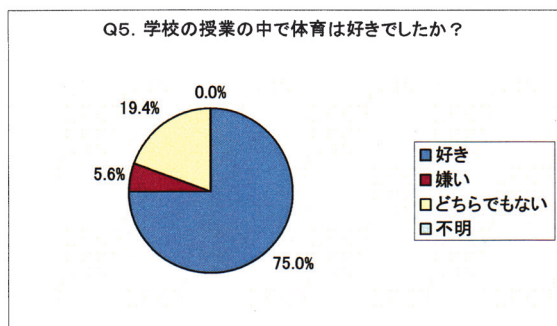
36名中、男子が31名（86.1%）、女子が5名（13.9%）であった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト3名（8.3%）、サッカー7名（19.4%）、テニス1名（2.8%）、卓球5名（13.9%）、バドミントン7名（19.4%）、二軸動作5名（13.9%）、不明8名（22.2%）であった。36名のうち、クラス指定で履修した学生が21名（58.3%）であった。

なお、二軸動作の詳細については、「共通教育通信 vol.4」の3～5ページを参照願いたい。
<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/pdf/link/link0189.pdf>

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き 27名 (75.0%)、嫌い 2名 (5.6%)、どちらでもない 7名 (19.4%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

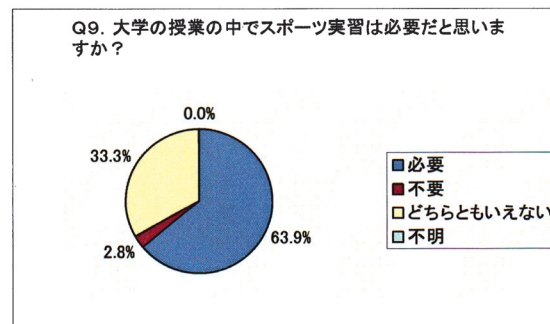
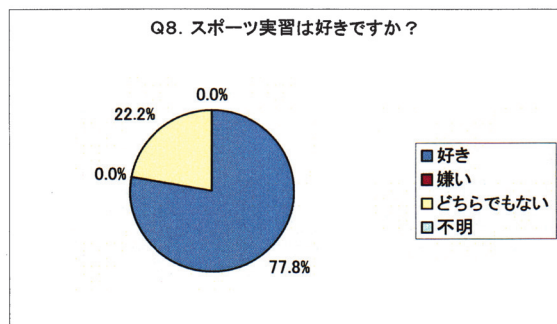
必要 32名 (88.9%)、どちらでもない 4名 (11.1%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；気分転換。運動不足の解消。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。友達とのコミュニケーションや交流。ストレスの発散。スポーツ実習が好き。リフレッシュ。一人では運動しない。体を動かしてわかることがある。体に良い。椅子に座るだけの授業は不満。受験勉強の息抜き。

不要な理由；記述なし

III. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 28名 (77.8%)、どちらでもない 8名 (22.2%)。

高校までの体育授業が嫌いだった者が減少し (2名→0名)、大学の体育が好きであるという人数が1名増えている (27名→28名)。

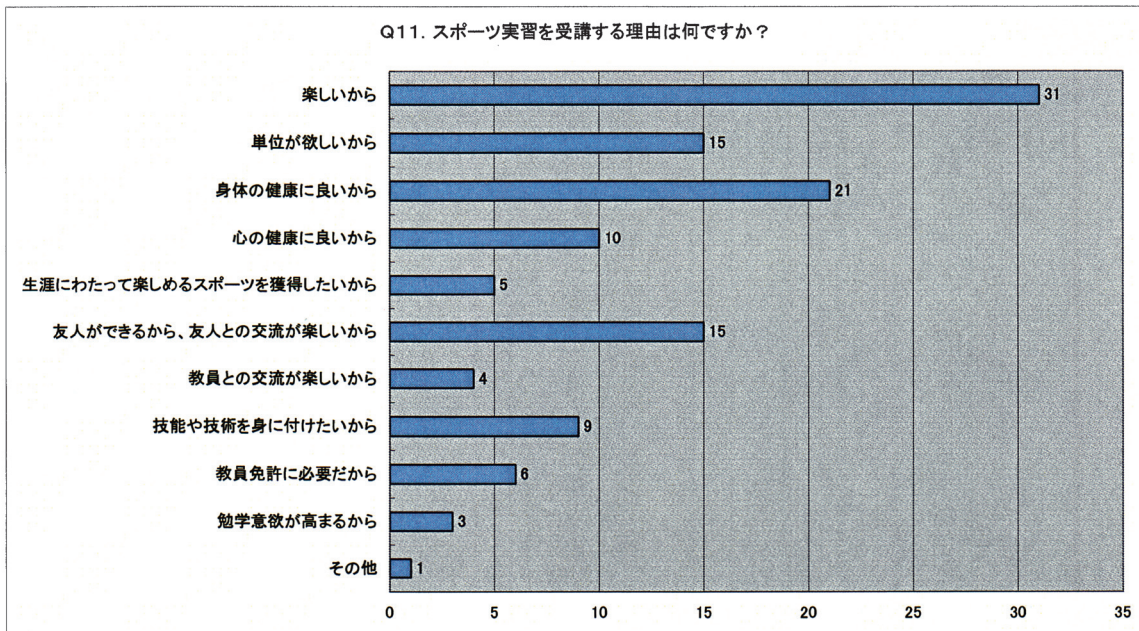
Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いませんか？

必要 23名 (63.9%)、不要 1名 (2.8%)、どちらともいえない 12名 (33.3%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；友達が増える。運動の機会。運動不足の解消。基礎体力をつける。体を動かしたい。スポーツ実習が好き。適度な運動が必要。息抜き。リフレッシュ。

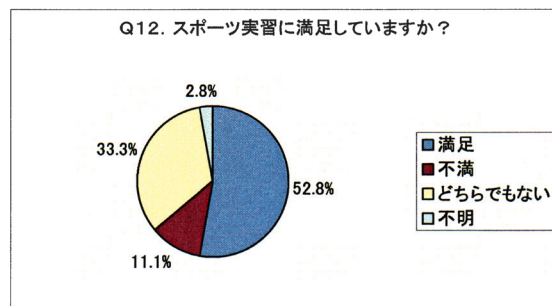
不要な理由；サークルなどで十分。



Q11. スポーツ実習を受講する理由は？（複数回答可） 延べ 120 名回答

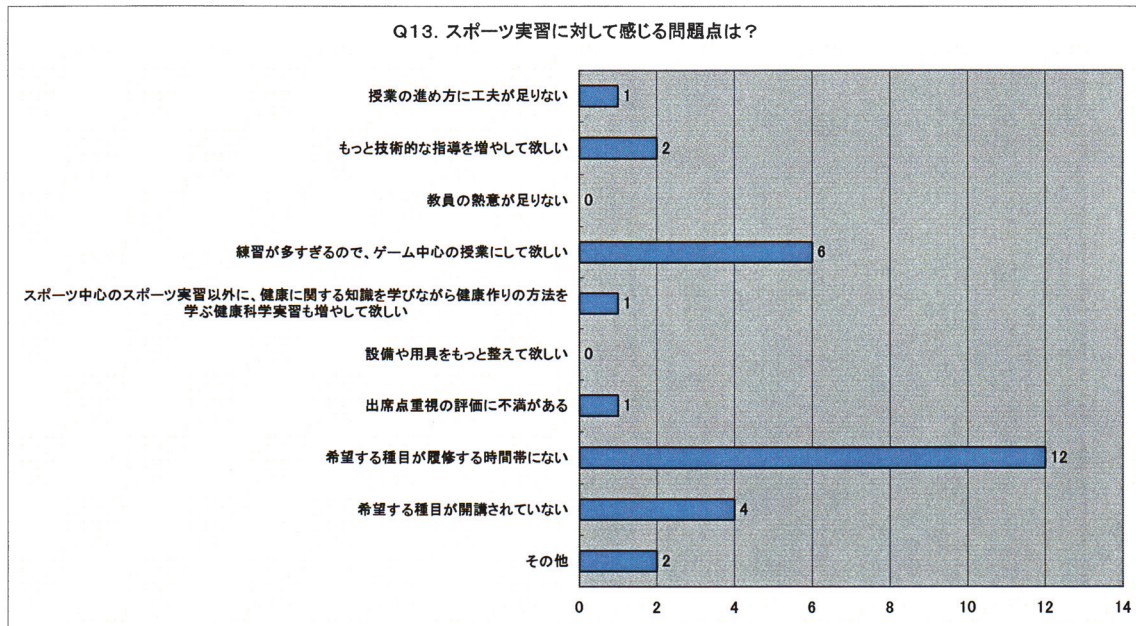
- 1位 楽しいから (31名)
- 2位 身体の健康に良いから (21名)
- 3位 単位が欲しいから (15名)
- 3位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから (15名)
- 5位 心の健康に良いから (10名)
- 6位 技能や技術を身に付けたいから (9名)
- 7位 教員免許に必要なから (6名)
- 8位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから (5名)
- 9位 教員との交流が楽しいから (4名)
- 10位 勉学意欲が高まるから (3名)
- 11位 その他 (1名)

IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 19 名 (52.8%)、不満 4 名 (11.1%)、どちらでもない 12 名 (33.3%)、不明 1 名 (2.8%)。



Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1 位 希望する種目が履修する時間帯にない (12 名)
- 2 位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい (6 名)
- 3 位 希望する種目が開講されていない (4 名)
- 4 位 もっと技術的な指導を増やして欲しい (2 名)
- 4 位 その他 (2 名)
- 6 位 授業の進め方に工夫が足りない (1 名)
- 6 位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい (1 名)
- 6 位 出席点重視の評価に不満がある (1 名)

V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

スポーツ実習の時間帯を変更したい。楽しい。筋肉トレーニングがしたい。内容を事前に教えて欲しい。ゲームを多くしたい。

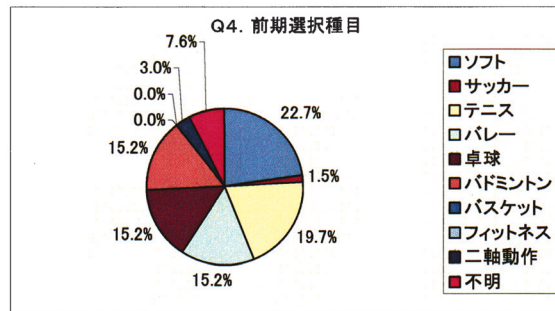
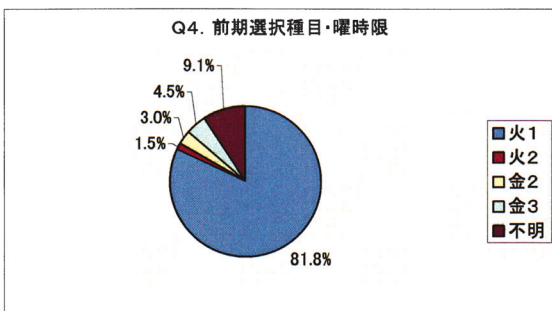
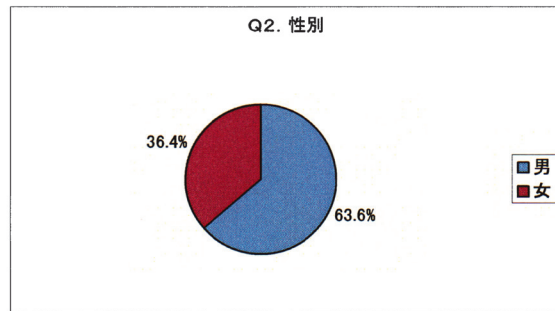
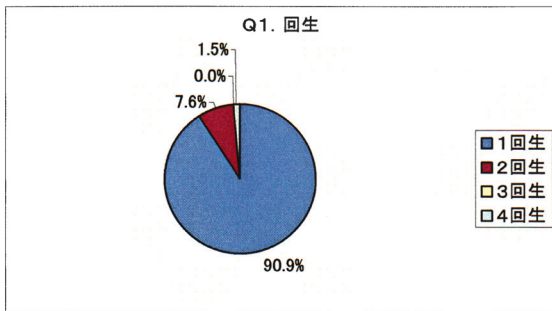
総合人間学部の学生のスポーツ実習に対する好意度は全学の平均並みであるが、満足度・必要性の認識は全学の中では低い方に入る。スポーツ実習を受講する理由の中で、「教員免許に必要だから」という回答が 6 名 (5.0%) で、全学部の平均 (4.8%) とほぼ同じ値であった。

総合人間学部の学生がスポーツ実習を受講する理由で、「楽しいから」や「身体の健康に良いから」、「心の健康に良いから」、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」という理由が多くみられる。一方、「単位が欲しい」という本音的な理由は多くみられたが、「技能の習得」、「勉学意欲への効果」といったスポーツ実習から得られる実利的な側面はさほど高くなっていない。

総合人間学部は京都大学の学部の中で、文系・理系混合学部として特色があり、学生の学問的興味も多種多様である。スポーツ実習を通じて、楽しさや学生の中のまとまり、連帯感・帰属感を求めている学生が多いものと考えられる。

2 文学部 66名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

66名中、1回生が60名（90.9%）、2回生が5名（7.6%）、4回生が1名（1.5%）であった。

Q2. あなたの性別は？

66名中、男子が42名（63.6%）、女子が24名（36.4%）であった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト15名（22.7%）、サッカー1名（1.5%）、テニス13名（19.7%）、バレー10名（15.2%）、卓球10名（15.2%）、バドミントン10名（15.2%）、二軸動作2名（3.0%）、不明5名（7.6%）であった。66名のうち、クラス指定で履修した学生が54名（81.8%）であった。

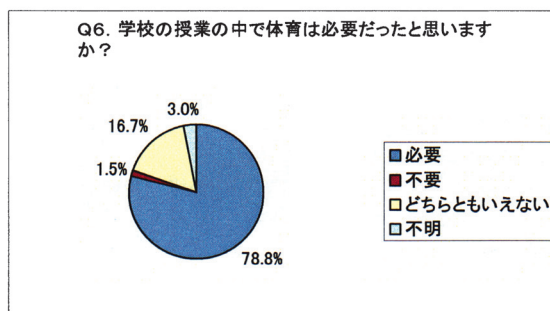
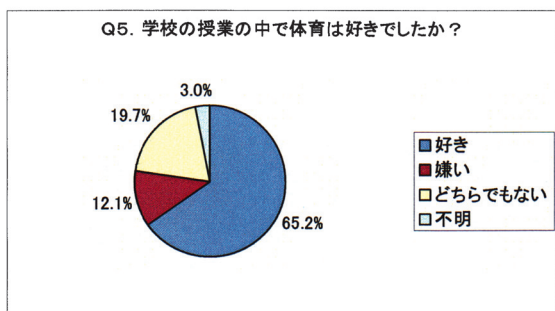
II. 大学入学以前の体育授業に対する印象

Q5. 体育は好きでしたか？

好き43名（65.2%）、嫌い8名（12.1%）、どちらでもない13名（19.7%）、不明2名（3.0%）。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

必要52名（78.8%）、不要1名（1.5%）、どちらでもない11名（16.7%）、不明2名（3.0%）。

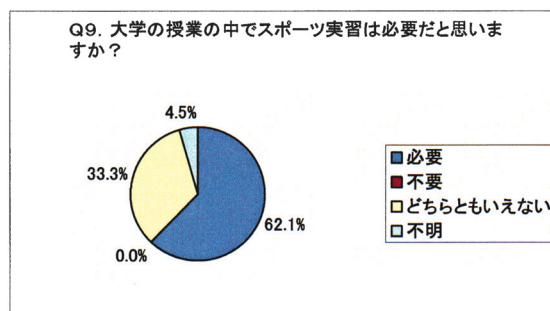
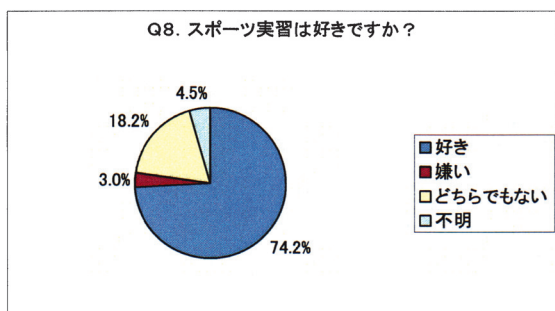


Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体を動かすのは面白い。気分転換。運動不足解消。不必要な理由がない。勉強ばかりではしんどい。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。

不要な理由；記述なし

Ⅲ. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 49名 (74.2%)、嫌い 2名 (3.0%)、どちらでもない 12名 (18.2%)、不明 3名 (4.5%)。高校までの体育授業が嫌いだった者が減少し (8名→2名)、大学の体育が好きであるという人数が増えている (43名→49名)。

Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

必要 41名 (62.1%)、どちらともいえない 22名 (33.3%)、不明 3名 (4.5%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

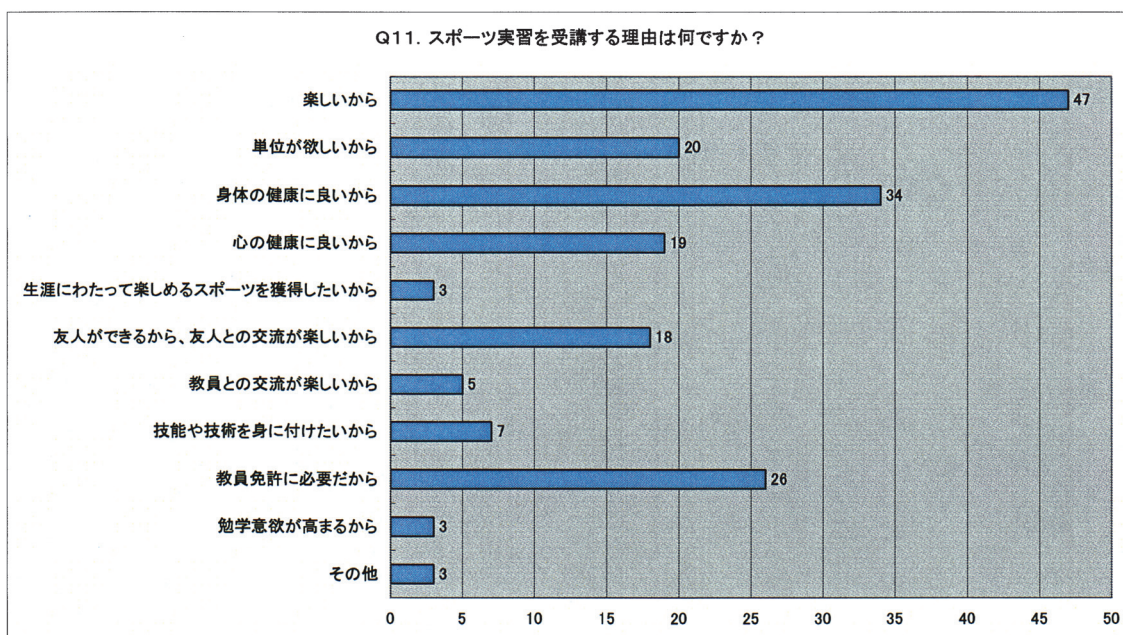
必要な理由；体を動かすのは面白い。運動を通じて友達を作る。クラスの皆と交流できる。気分転換。高校に比べて運動不足になりがち。学生に対して運動の機会を与えるのは当然。運動不足解消。楽しい。勉強ばかりでは人間形成上問題。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。

不要な理由；高校時代芸術科目を軽視して体育が確保されていた。

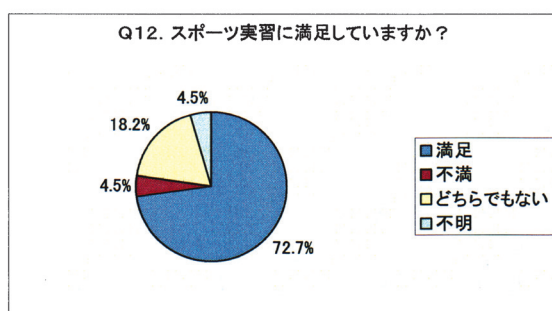
Q11. スポーツ実習を受講する理由は？ (複数回答可) 延べ 185名回答

- 1位 楽しいから (47名)
- 2位 身体の健康に良いから (34名)
- 3位 教員免許に必要なだから (26名)
- 4位 単位が欲しいから (20名)
- 5位 心の健康に良いから (19名)

- 6位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから（18名）
- 7位 技能や技術を身に付けたいから（7名）
- 8位 教員との交流が楽しいから（5名）
- 9位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから（3名）
- 9位 勉学意欲が高まるから（3名）
- 9位 その他（3名）



IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



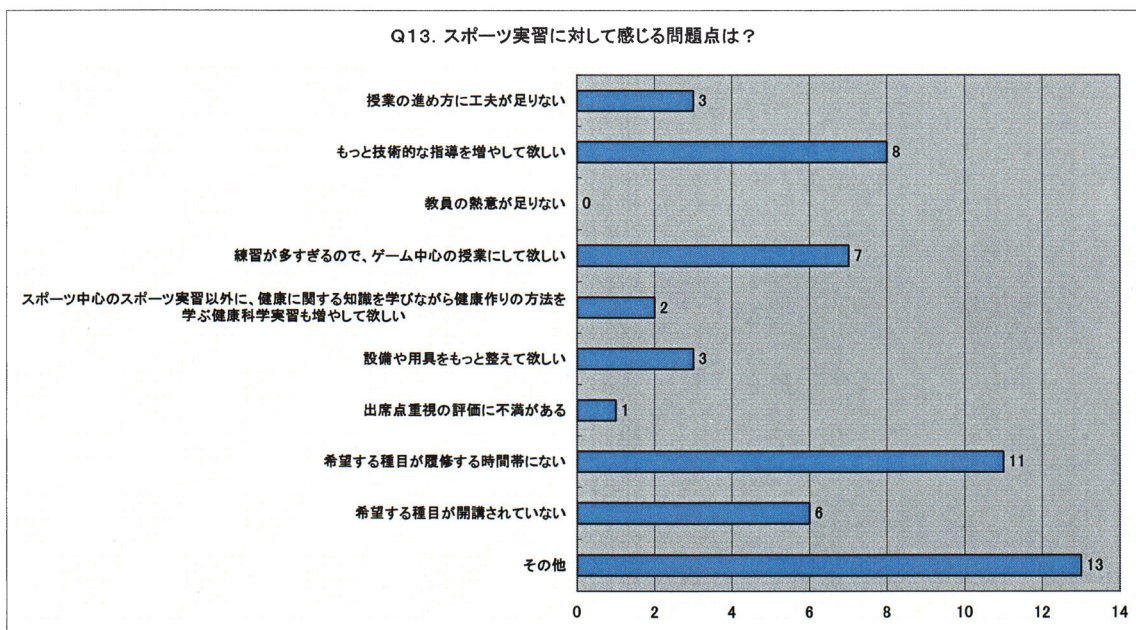
Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 48名（72.7%）、不満 3名（4.5%）、どちらでもない 12名（18.2%）、不明 3名（4.5%）。

Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 その他（13名）
- 2位 希望する種目が履修する時間帯にない（11名）
- 3位 もっと技術的な指導を増やして欲しい（8名）
- 4位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい（7名）

- 5位 希望する種目が開講されていない (6名)
- 6位 授業の進め方に工夫が足りない (3名)
- 6位 設備や用具をもっと整えて欲しい (3名)
- 8位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい (2名)
- 9位 出席点重視の評価に不満がある (1名)



V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

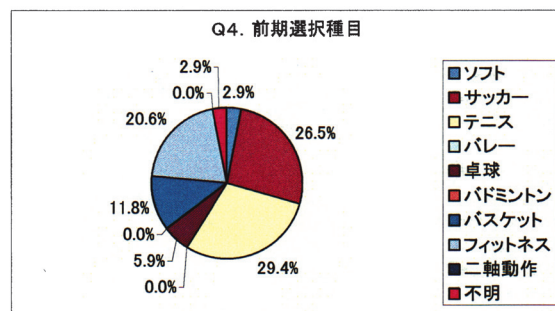
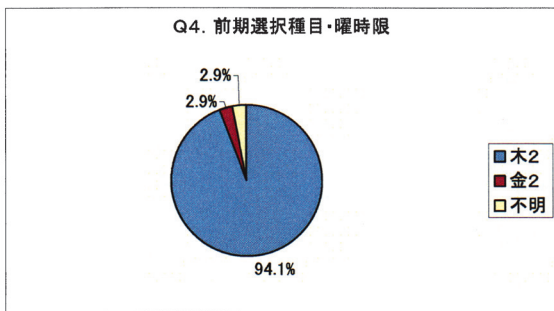
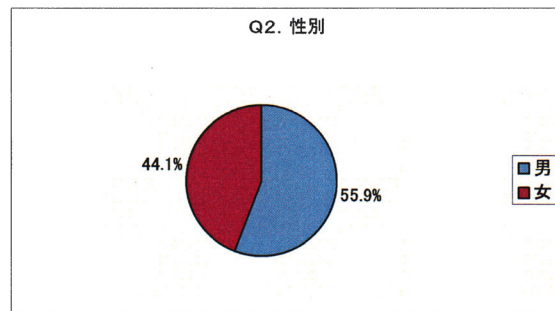
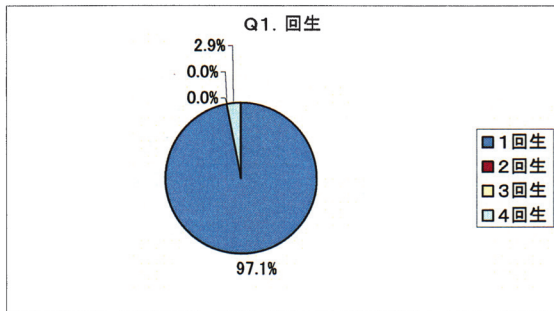
スポ実とは素晴らしい科目。苦手なスポーツが気晴らしになるという意味で有意義。楽しい♪ 教員との触れあい、学生同士の触れあいの場。1限はつらいけど楽しいからがんばります。座学中心の授業のなかでスポ実には楽しい。技量レベルが異なる学生が混じっている中で楽しむということを経験する。男女混合で少しやりづらい。週2コマとりたい。理論をからだで体現する授業が良い。

文学部の学生のスポーツ実習に対する好意度・満足度は全学の平均並みであるが、必要性の認識は全学の中では最も低い。スポーツ実習を受講する理由の中で、「教員免許に必要だから」という回答が26名(14.1%)で、全学部の平均(4.8%)を上回っていた。

文学部の学生がスポーツ実習を受講する理由で、「楽しいから」や「身体の健康に良いから」、「心の健康に良いから」、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」という理由が多くみられる。一方、「単位が欲しい」という本音的な理由は多くみられたが、「技能の習得」、「勉強意欲への効果」といったスポーツ実習から得られる実利的な側面はさほど高くなっていない。スポーツ実習に対して感じる問題点で一番多い(13名)のが、「その他」であったのは、文学部の特徴であるが、その中で多くみられたのが、「1限の開講はやめてほしい」というものであった。

3 教育学部 34 名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

回答総数は 34 名で、4 回生 1 名を除き、残り 33 名は 1 回生であった。平成 17 年度の入学者数は 64 名であったので、1 回生の推定回答率は 51.6%であった。

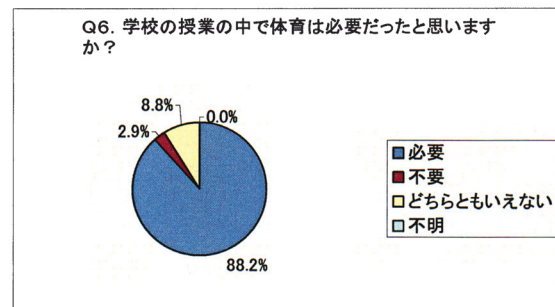
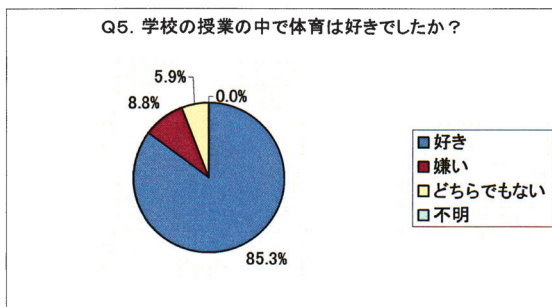
Q2. あなたの性別は？

男女比は男子 19 名 (55.9%)、女子 15 名 (44.1%) で、女子比率は全学部中で最も高かった。

Q4. 前期に選択した種目は？

平成 17 年度前期に履修したスポーツ実習の種目 (Q4) はテニスが 29.4% (10 名) で最も多く、次いでサッカー (26.5%、9 名)、フィットネス (20.6%、7 名) で、残りはバスケット (11.8%、4 名)、卓球 (5.9%、2 名)、ソフトボール (2.9%、1 名) などであった。ほとんど (94.1%、32 名) が指定の木曜 2 限に履修していた (木曜 2 限にクラス指定されていたため)。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

大部分の者 (85.3%、29 名) が好きと回答し、嫌いと回答した者は 3 名 (8.8%) であった。こ

これは好きと答えた全学平均 77.6%を上回り、全学部中最高の比率であった。

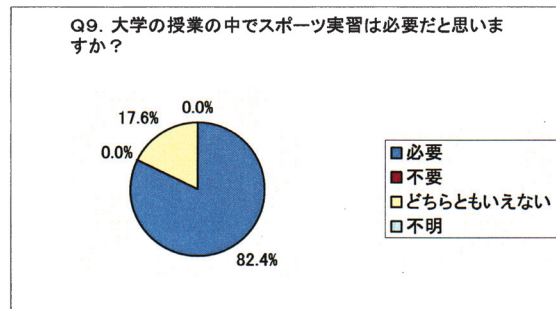
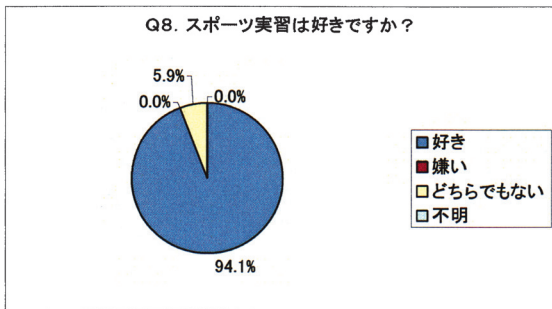
Q6. 体育は必要だと思えますか？

学校の授業の中で、体育が必要であったと思う者は 88.2% (30 名) で、不要と思う者は 2.9% (1 名) であった。これも全学の平均 84.5%を上回り、経済学部と並んで、最高の比率であった。教育学部の学生は大学入学以前にも体育の授業を楽しみ、また必要であると感じた学生の比率も高かった。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

「体を動かすことで健康維持のたすけになるから」という健康上の理由が多く、また「気分転換、運動不足解消に必要」というような精神面での利点、「適度の運動は勉強する上でもプラスになり、必要だと思うから」のように勉学上の利点を挙げるものもあった。一方、「授業中だらけた雰囲気、内容も役に立つとは思えなかった」のように否定的な意見や、「個人の自由です」というような中立的な意見もみられた。

Ⅲ. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

本学のスポーツ実習を好きと回答した教育学部の学生は 32 名 (94.1%) で、嫌いと答えた学生はいなかった。これは全学部平均の 78.7%を上回り、全学部中最高の数値であった。高校までの体育授業が嫌いだった者が減少し (3 名→0 名)、大学の体育が好きであるという人数が 3 名増えている (29 名→32 名)。

Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

スポーツ実習が必要であると答えた学生は 28 名 (82.4%) で、どちらともいえないと答えた学生は 6 名 (17.6%)、不要と思う学生はいなかった。スポーツ実習を必要と感じる学生の比率も全学で最も高い比率を示した。教育学部の学生のうち、スポーツ実習が好きであり、必要と思う学生の比率は全学部の中でも最も高いと言える。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

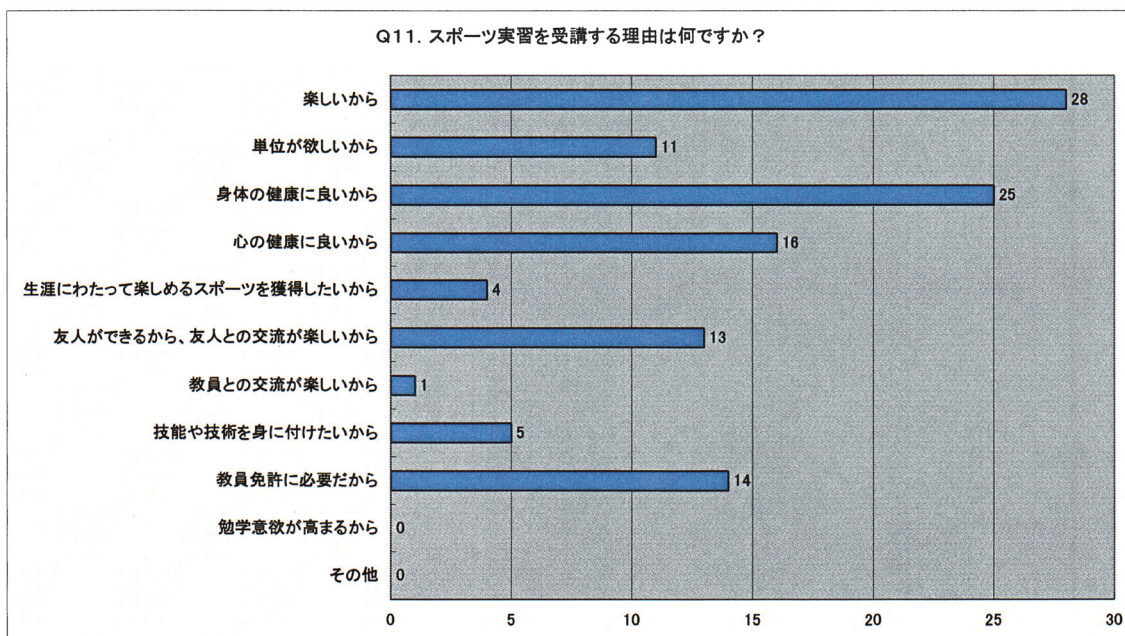
必要な理由；「高校生以上に大学生は、運動不足になりがちな学生が多いから」という単純に機会が少ないという理由、「運動することは健康を保つ上で大切だから」という健康上の理由、また「適度の運動は勉強する上でもプラスになり、必要だと思うから」というように勉学上にも有益であるという認識が示された。また精神面では「ストレス解消」、「気分転換」という理由が多くみられた。更に「なんか勉強では得られぬレンタイ感」という理由も見られた。積極的支持とは言えないが、「教免に必要」という外的要因や、「とりたくなければとらなくていいわけだし、大

学生のスポーツの機会として、「よいと思う」というような、選択肢の一つとして考える意見もあった。

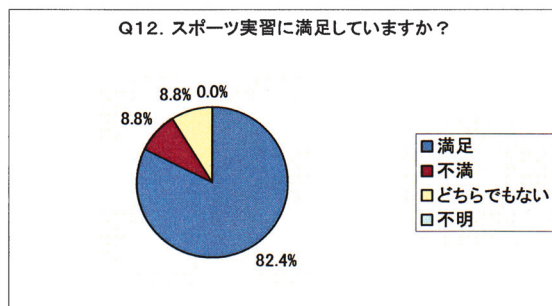
不要な理由；なし

Q11. スポーツ実習を受講する理由は？（複数回答可） 延べ 117 名回答

- 1位 楽しいから (28名)
- 2位 身体の健康に良いから (25名)
- 3位 心の健康に良いから (16名)
- 4位 教員免許に必要なだから (14名)
- 5位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから (13名)
- 6位 単位が欲しいから (11名)
- 7位 技能や技術を身に付けたいから (5名)
- 8位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから (4名)
- 9位 教員との交流が楽しいから (1名)

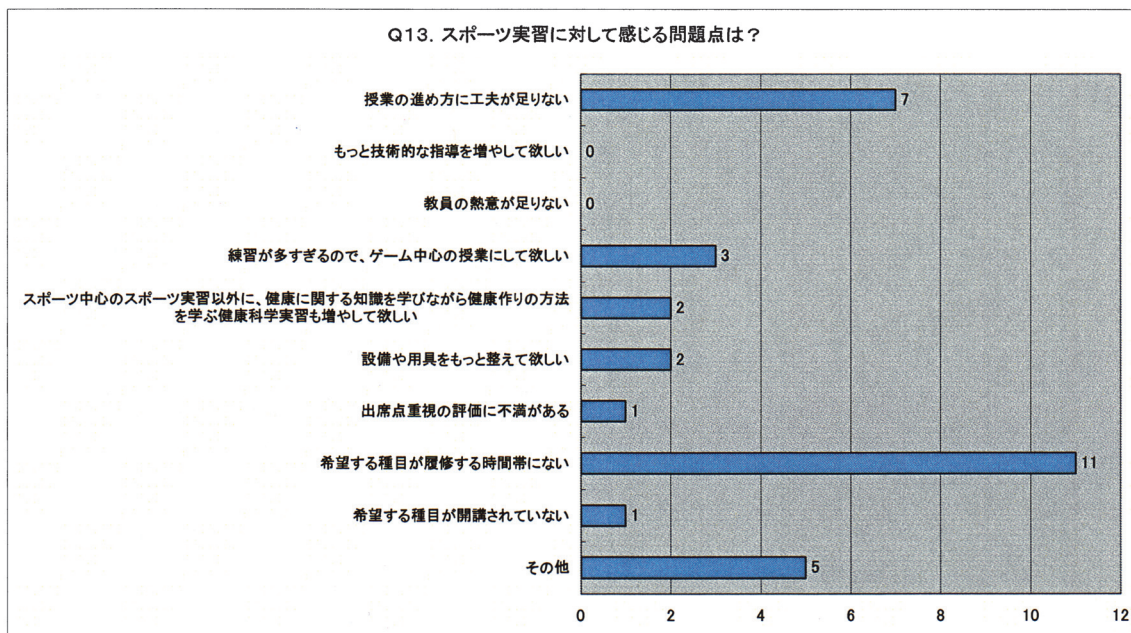


IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



Q12. スポーツ実習に満足していますか？

「満足」が 82.4% (28名) で、全学平均の 64.4% を 20 ポイント近く上回り、全学部の中で最も高い満足度であった。不満と答えた者は 3 名 (8.8%) であった。



Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 希望する種目が履修する時間帯にない（11名）→全学の平均 21.8%より高かった。
 2位 授業の進め方に工夫が足りない（7名）

他の問題点への回答は全て3名以下で、「もっと技術的な指導を増やして欲しい」や「教員の熱意が足りない」といった選択肢への回答は0であった。すなわち、教育学部の学生には希望種目の不足以外の不満は少ないと言える。

その他の自由記述では、「体育館使用禁止で卓球ができなくなった」、「仕方ないけどクラス等でメンバーがかたまってしまいがち」、「他のフィットネスの授業ではお寺巡りや年中行事見物ができるとききました。前期の有酸素運動はたのしかったです、アスベストで体育館が使えないなら、そういうこともやってみてもらえたらと思います」という要望が挙げられた。また小項目2の「技術的な指導を増やして欲しい」という項目については、「そのような授業も存在してもいいかも」という意見があった。

V. スポーツ実習について考えていること、感じていること

「スポーツ実習について考えていること、感じていること」という自由記述については、「とにかく楽しくてスポーツできてよいです」、「週1度の幸せな時間です」という全般的な支持の他、「テニスのS先生はわかりやすくおしえてくれるし、たのしい。テニスがうまくなれた」という実質的効果や、「心の健康のためにも大事な科目だと思います」という精神的効果など、ほとんどが肯定的な意見であった。不満としては、Q13と同じく、選択種目の少なさを挙げていたものや、アスベスト問題による体育館の不使用など、施設的な問題が少数挙げられていた。

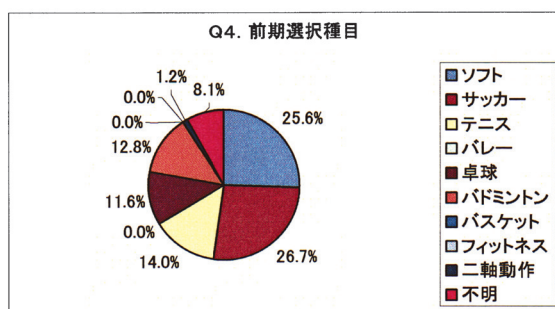
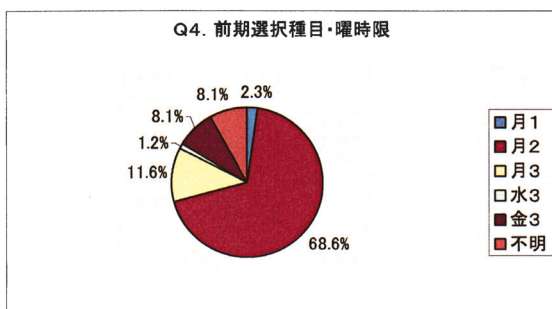
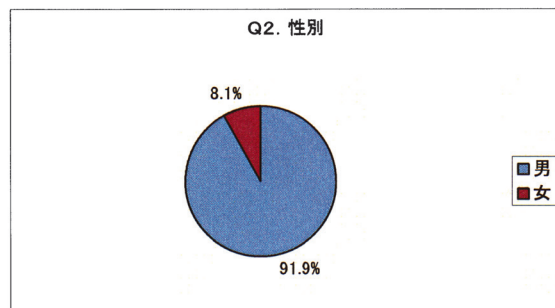
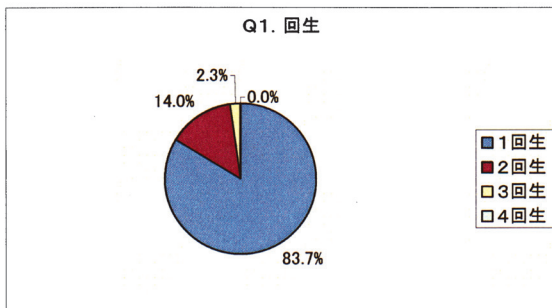
教育学部の学生のスポーツ実習に対する好意度・満足度・必要性の認識はいずれも高く、全学部の平均を超えていたのみならず、全学部中最高の支持を示していた。教育学部の学生は、他学部比べて教育職員免許状の取得を希望する学生の比率が高く、その目的で体育の単位が必要となる可能性は高い。実際、実習を受講する理由の中で、「教員免許に必要だから」という回答が

14名（12.0%）で、全学部の平均（4.8%）よりはかなり目立っており、必要性についての反応を高めていたことは推測される。しかし一方で、「単位が欲しいから」という反応は、他学部より低く、高い支持の理由の一部に過ぎないと思われる。また教育諸学における、児童・生徒の発達における知的・身体的発達の相関についての知識や理解は、他学部の学生よりも高い可能性はあるが、回答者のほとんどが1回生であることを考えると、背景に大きな差があるとは言い難い。

教育学部の学生がスポーツ実習を受講する理由で、「楽しいから」や「身体の健康に良いから」、「心の健康に良いから」、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」という理由が他学部よりも突出しており、その受講理由の特徴は「楽しさ」、「健康」、「友人との交流」とまとめられる。一方、「技能の習得」、「単位の取得」、「勉学意欲への効果」といった実利的な側面はさほど高くなっていない。教育学部が京都大学の学部の中で最も学生数の少ない学部であり、スポーツや語学以外にも学部の同回生全員が毎週1回集まる必修授業などがあることを考えると、学生間の教育学部生としてのまとまりや連帯感・帰属感が、他学部の学生よりも高い可能性は考えられる。その意味で、スポーツ実習が彼らに重要な「交流」の機会を増やす効果があるとするならば、その受講が「楽しく」なり、その必要性を積極的に支持させる背景となっている可能性が考えられる。

4 法学部 86名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

86名中、1回生が72名（83.7%）、2回生が12名（14.0%）、3回生が2名（2.3%）であった。

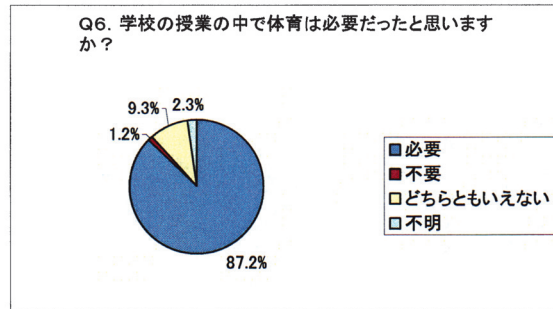
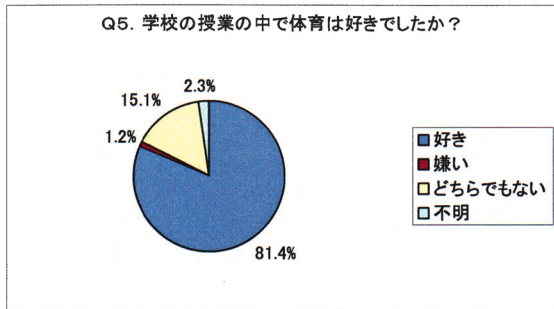
Q2. あなたの性別は？

86名中、男子が79名（91.9%）、女子が7名（8.1%）であった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト 22 名 (25.6%)、サッカー 23 名 (26.7%)、テニス 12 名 (14.0%)、卓球 10 名 (11.6%)、バドミントン 11 名 (12.8%)、二軸動作 1 名 (1.2%)、不明 7 名 (8.1%) であった。86 名のうち、クラス指定で履修した学生が 69 名 (80.2%) であった。月 2 時限のクラス指定者数は 138 名であったが、履修者は 59 名 (68.6%) であったのに対して、月 3 時限はクラス指定者数 118 名のうち履修者はわずか 10 名 (11.6%) であった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き 70 名 (81.4%)、嫌い 1 名 (1.2%)、どちらでもない 13 名 (15.1%)、不明 2 名 (2.3%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

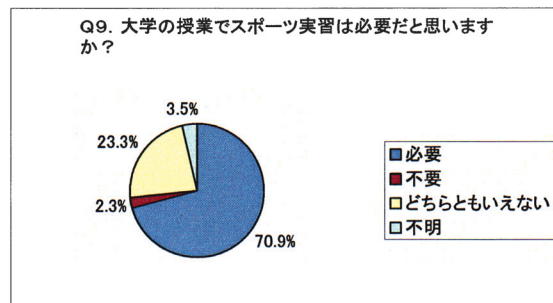
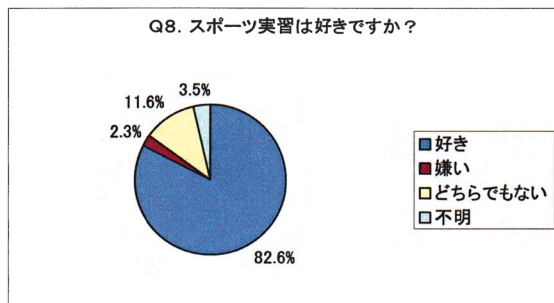
必要 75 名 (87.2%)、不要 1 名 (1.2%)、どちらでもない 8 名 (9.3%)、不明 2 名 (2.3%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体を動かすのは面白い。気分転換。運動不足解消。不必要な理由がない。勉強ばかりではしんどい。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。心技体が万全ではじめて一人前。コミュニケーション。運動をするとハッピーになる。運動は頭の刺激。社会に出る上で体力は必要。

不要な理由；記述なし

III. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 71 名 (82.6%)、嫌い 2 名 (2.3%)、どちらでもない 10 名 (11.6%)、不明 3 名 (3.5%)。

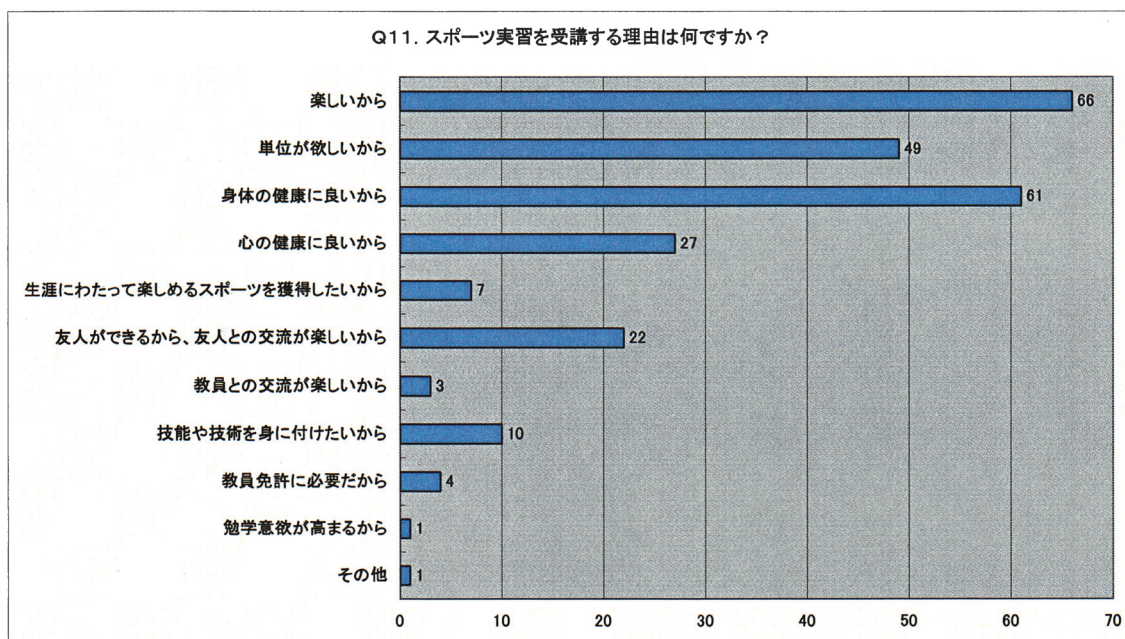
Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

必要 61名 (70.9%)、不要 2名 (2.3%)、どちらともいえない 20名 (23.3%)、不明 3名 (3.5%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体を動かすのは面白い。運動を通じて友達を作る。クラスの皆と交流できる。気分転換。高校に比べて運動不足になりがち。学生に対して運動の機会を与えるのは当然。運動不足解消。楽しい。勉強ばかりでは人間形成上問題。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。

不要な理由；高校時代芸術科目を軽視して体育が確保されていた。つまらない。



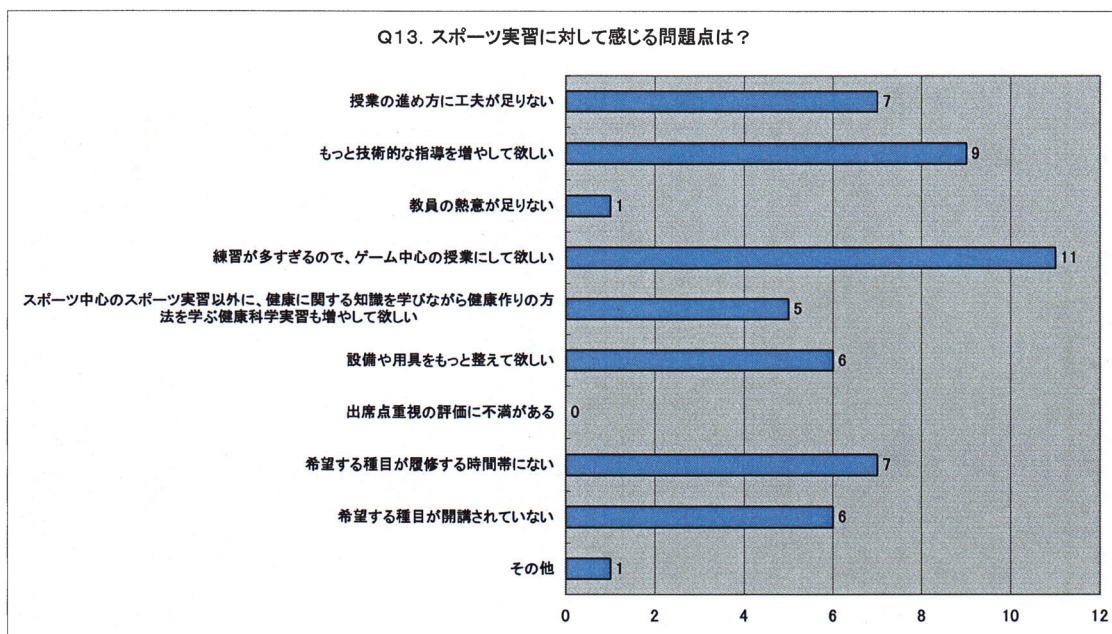
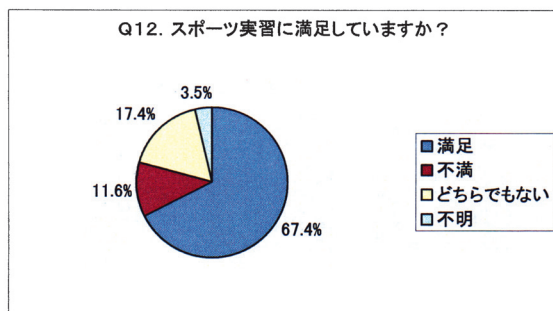
Q11. スポーツ実習を受講する理由は？（複数回答可） 延べ 251名回答

- 1位 楽しいから (66名)
- 2位 身体の健康に良いから (61名)
- 3位 単位が欲しいから (49名)
- 4位 心の健康に良いから (27名)
- 5位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから (22名)
- 6位 技能や技術を身に付けたいから (10名)
- 7位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから (7名)
- 8位 教員免許に必要なから (4名)
- 9位 教員との交流が楽しいから (3名)
- 10位 勉学意欲が高まるから (1名)
- 10位 その他 (1名)

IV. 本学のスポーツ実習に対する要望

Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 58名 (67.4%)、不満 10名 (11.6%)、どちらでもない 15名 (17.4%)、不明 3名 (3.5%)。



Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい (11名)
- 2位 もっと技術的な指導を増やして欲しい (9名)
- 3位 授業の進め方に工夫が足りない (7名)
- 3位 希望する種目が履修する時間帯にない (7名)
- 5位 設備や用具をもっと整えて欲しい (6名)
- 5位 希望する種目が開講されていない (6名)
- 7位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい (5名)
- 8位 教員の熱意が足りない (1名)
- 8位 その他 (1名)

V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

ヨガの授業が欲しい。スポ実を毎時間開講して欲しい。楽しい。スポ実かっこいいぞ！一回生のクラス指定を複数選択制にするか、クラス指定を廃止。スポーツは良いものだ。柔道、剣道も設けて欲しい。

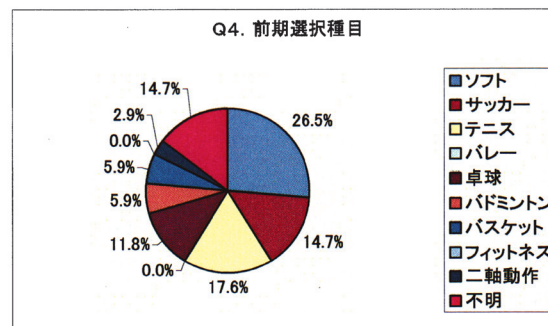
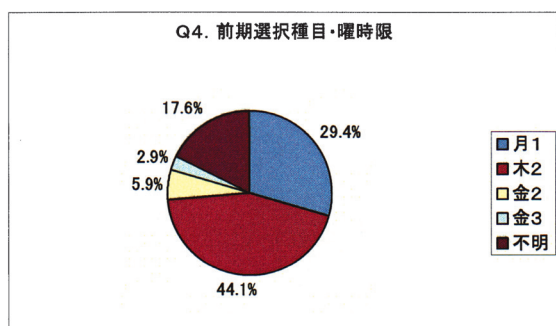
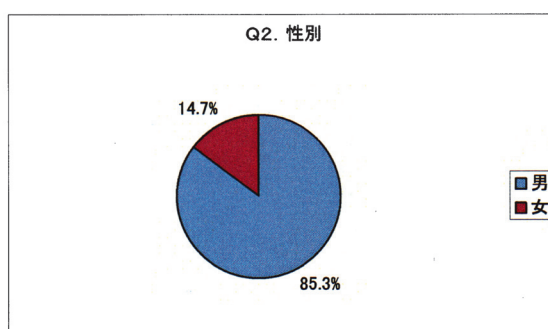
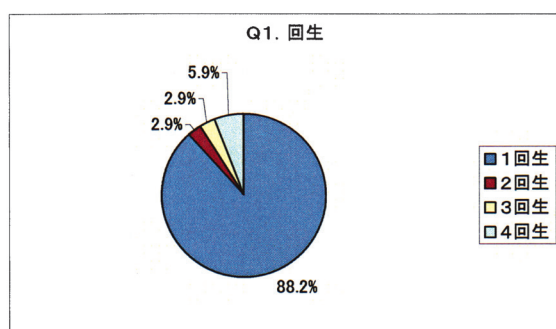
法学部の学生のスポーツ実習に対する好意度・満足度・必要性の認識は、ともに全学の平均並

みである。スポーツ実習を受講する理由の中で、「教員免許に必要なだから」という回答は4名(1.6%)のみで、非常に少ない。

法学部の学生がスポーツ実習を受講する理由としては、「楽しいから」や「身体の健康に良いから」、そして「単位が欲しいから」が全体の70%を占める。「心の健康に良いから」、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」という理由の占める割合は、他の文系学部比べて低いのが特徴である。このことより、法学部学生は集団よりも個を尊重する学生が多いようにも推察できる。「勉学意欲への効果」といったスポーツ実習から得られる実利的な側面をあげた回答は1名のみであった。

5 経済学部 34名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

34名中、1回生が30名(88.2%)、2回生が1名(2.9%)、3回生が1名(2.9%)、4回生が2名(5.9%)であった。

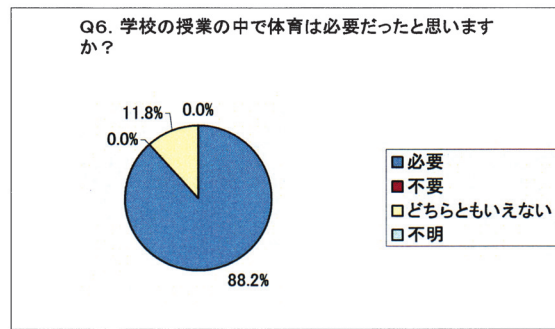
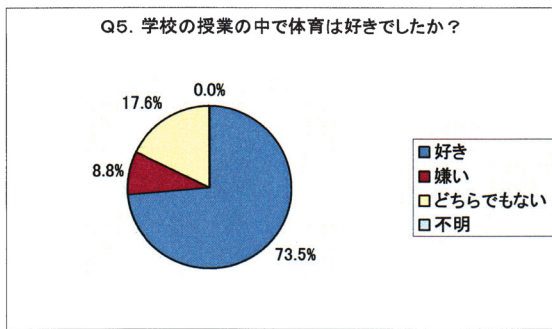
Q2. あなたの性別は？

34名中、男子が29名(85.3%)、女子が5名(14.7%)であった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト9名(26.5%)、サッカー5名(14.7%)、テニス6名(17.6%)、卓球4名(11.8%)、バドミントン2名(5.9%)、バスケット2名(5.9%)、二軸動作1名(2.9%)、不明5名(14.7%)であった。34名のうち、クラス指定で履修した学生が15名(44.1%)であった。半分以上がクラス指定時間以外で受講していた。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き 25名 (73.5%)、嫌い 3名 (8.8%)、どちらでもない 6名 (17.6%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

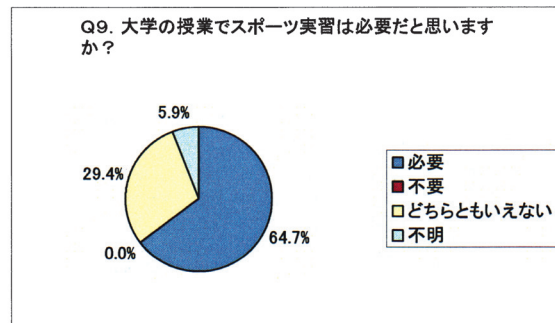
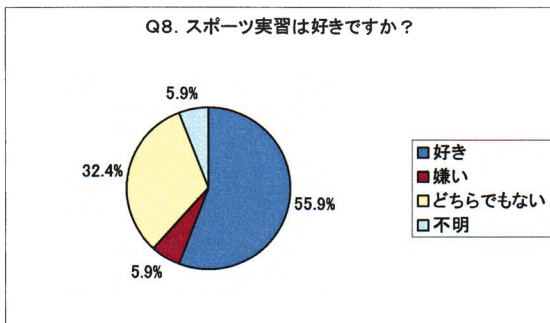
必要 30名 (88.2%)、どちらでもない 4名 (11.8%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体を動かすのは面白い。気分転換。運動不足解消。サークルで運動するより時間がかからない。勉強ばかりではしんどい。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。コミュニケーション。

不要な理由；記述なし

III. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 19名 (55.9%)、嫌い 2名 (5.9%)、どちらでもない 11名 (32.4%)、不明 2名 (5.9%)。

高校までに体育が好きだった者が 25名いたが、大学の体育が好きなのは 19名に減り、「どちらでもない」が 6名から 11名に増えた。この現象は、経済学部の学生に特有であり、何故に経済学部生が本学の体育に不満を抱いているのかを今後検討したい。

Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

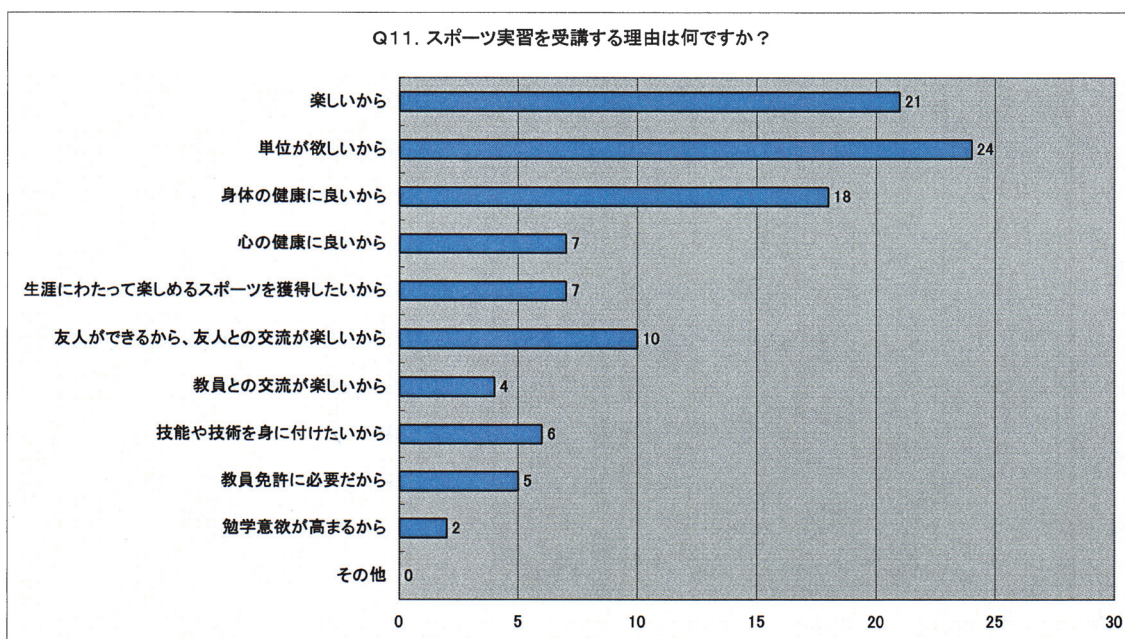
必要 22名 (64.7%)、どちらともいえない 10名 (29.4%)、不明 2名 (5.9%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体を動かすのは面白い。授業だけでは発狂しそう。運動を通じて友達を作る。気分転換。高校に比べて運動不足になりがち。運動不足解消。楽しい。基礎体力をつける。健康に

運動は不可欠。

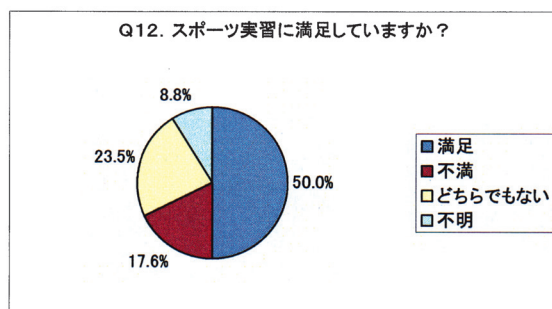
不要な理由；なし



Q11. スポーツ実習を受講する理由は？（複数回答可） 延べ 104 名回答

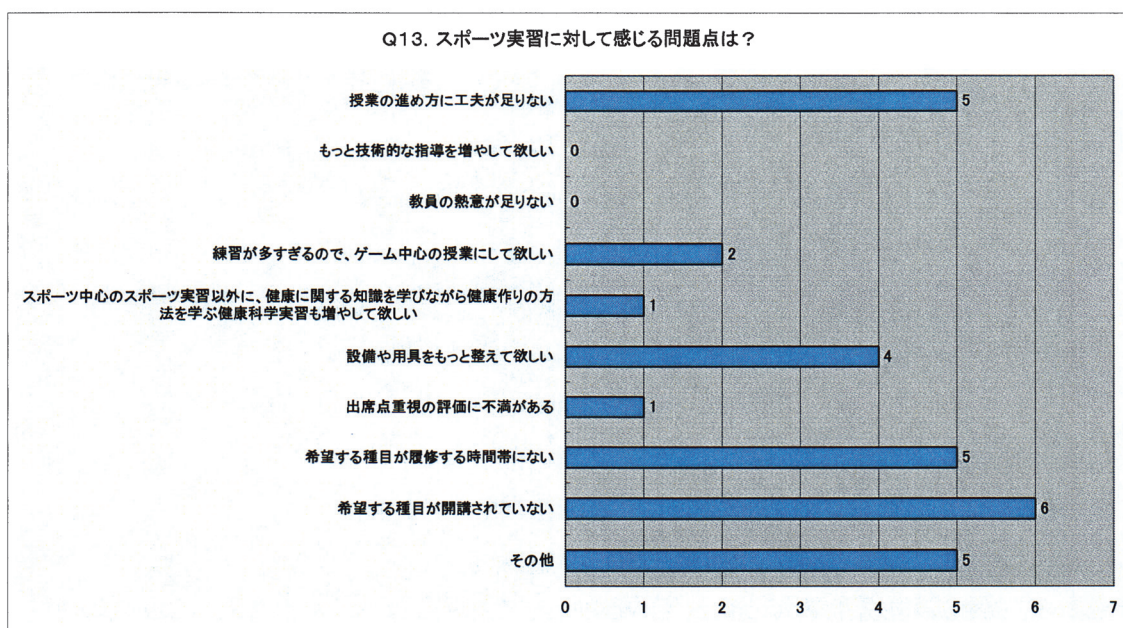
- 1位 単体が欲しいから（24名）
- 2位 楽しいから（21名）
- 3位 身体の健康に良いから（18名）
- 4位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから（10名）
- 5位 心の健康に良いから（7名）
- 5位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから（7名）
- 7位 技能や技術を身に付けたいから（6名）
- 8位 教員免許に必要なから（5名）
- 9位 教員との交流が楽しいから（4名）
- 10位 勉学意欲が高まるから（2名）

IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 17 名（50.0%）、不満 6 名（17.6%）、どちらでもない 8 名（23.5%）、不明 3 名（8.8%）。



Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 希望する種目が開講されていない (6名)
- 2位 授業の進め方に工夫が足りない (5名)
- 2位 希望する種目が履修する時間帯にない (5名)
- 2位 その他 (5名)
- 5位 設備や用具をもっと整えて欲しい (4名)
- 6位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい (2名)
- 7位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい (1名)
- 7位 出席点重視の評価に不満がある (1名)

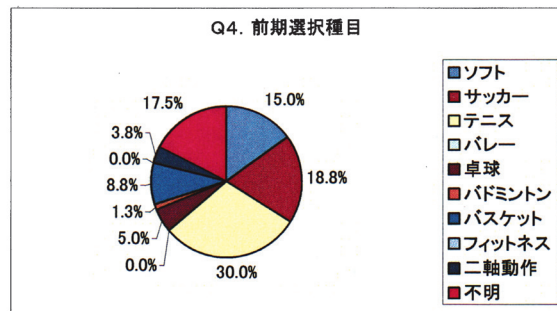
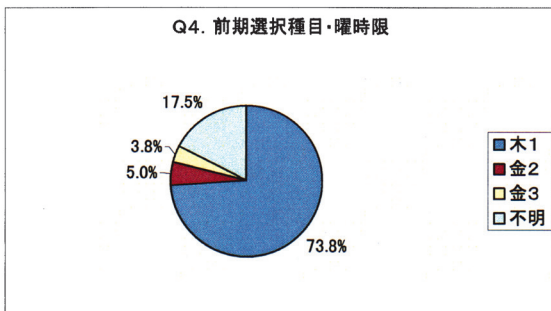
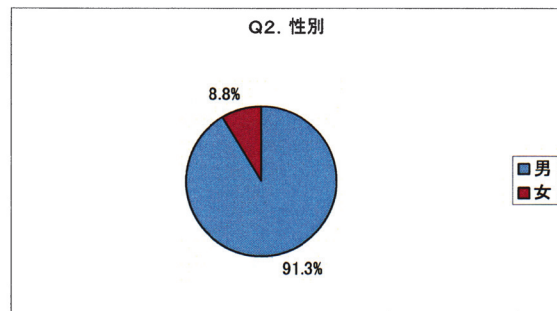
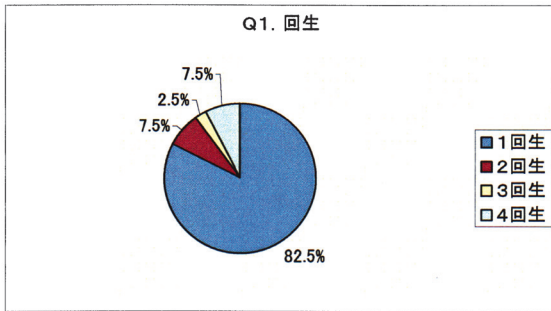
V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

種目を増やして欲しい。2回生以上がとれる種目を増やして欲しい。他学部の学生と交流ができたのがスポーツ実習ならでは。スポーツはいいものですね。

高校時代までの体育授業は、好きであり、必要であるという学生の割合は、それぞれ 73.5%、88.2%であったのに対して、京大のスポーツ実習を好きと答えた者は 55.9%、必要だと答えた者は 64.7%を示した。経済学部の学生にとって、スポーツ実習に対する評価は、スポーツ実習を卒業単位に認めている学部の中では低い。平成 17 年度前期における 1 回生のスポーツ実習の履修率も 42.7%を示しており、他学部に比べて非常に低い。経済学部において何故にこのようになるのか、今後検討したい。

6 理学部 80名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

80名中、1回生が66名(82.5%)、2回生が6名(7.5%)、3回生が2名(2.5%)、4回生が6名(7.5%)であった。

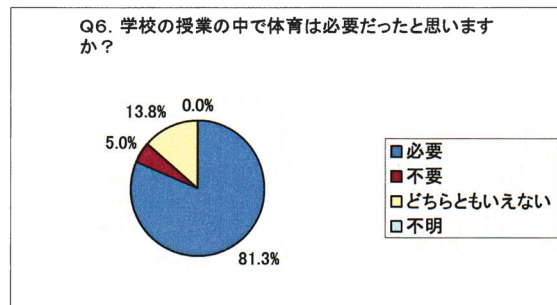
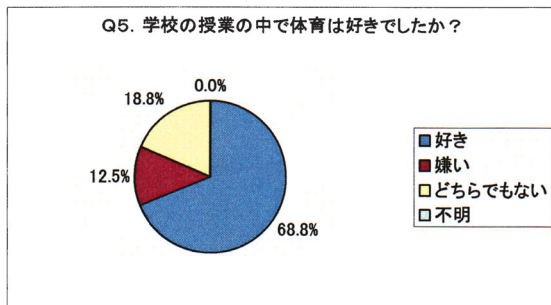
Q2. あなたの性別は？

80名中、男子が73名(91.3%)、女子が7名(8.8%)であった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト12名(15.0%)、サッカー15名(18.8%)、テニス24名(30.0%)、卓球4名(5.0%)、バドミントン1名(1.3%)、バスケット7名(8.8%)、二軸動作3名(3.8%)、不明14名(17.5%)であった。80名のうち、クラス指定で履修した学生が59名(73.8%)であった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き55名(68.8%)、嫌い10名(12.5%)、どちらでもない15名(18.8%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

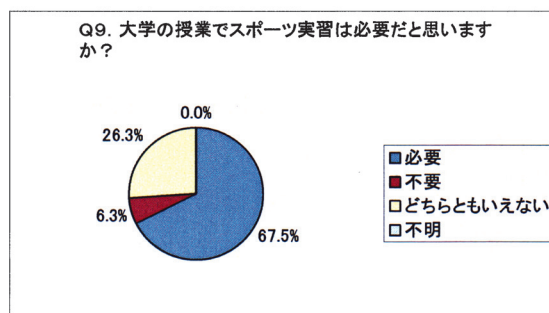
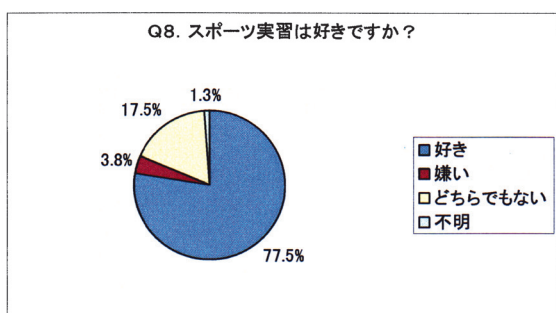
必要 65 名 (81.3%)、不要 4 名 (5.0%)、どちらでもない 11 名 (13.8%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；身体を動かすと脳も活性化される。運動は大事。運動する機会を授業で確保することは有意義。クラスメートと交流。ストレス解消。体力バカはいらないが、勉強だけで動けないのはカス。生涯、スポーツはすべき。人間は脳みそで生きているわけではない。非常に特有な科目だから。

不要な理由；体育の能力以外に要求される「何か」があり、それが苦痛だった。

III. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 62 名 (77.5%)、嫌い 3 名 (3.8%)、どちらでもない 14 名 (17.5%)、不明 1 名 (1.3%)。高校までの体育が嫌いだった者は 10 名だったが、大学での体育を嫌う者が 3 名に減り、体育を好きな者が 55 名から 62 名に増えた。

Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

必要 54 名 (67.5%)、不要 5 名 (6.3%)、どちらともいえない 21 名 (26.3%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

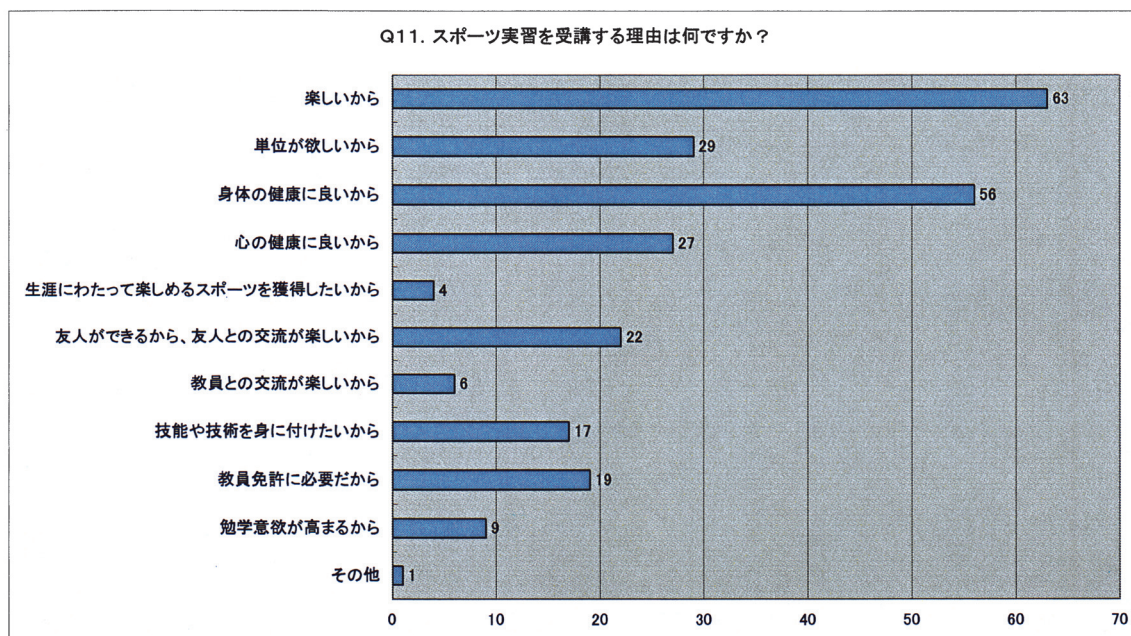
必要な理由；身体を動かすと脳も活性化される。運動は大事。運動する機会を授業で確保することは有意義。クラスメートと交流。ストレス解消。週 1 回のペースの運動は良い。

不要な理由；運動は各自でやればよい。理学部のクラス指定だと男子ばかりでつまらない。2 単位にして欲しい (1 単位だとどうしようもない)。

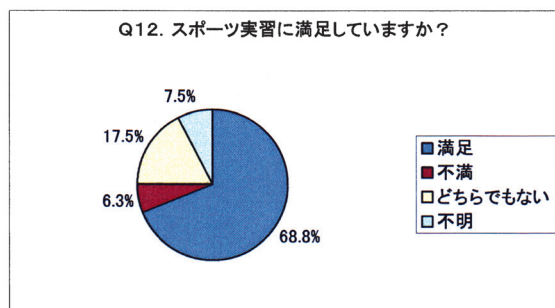
Q11. スポーツ実習を受講する理由は？ (複数回答可) 延べ 253 名回答

- 1 位 楽しいから (63 名)
- 2 位 身体の健康に良いから (56 名)
- 3 位 単位が欲しいから (29 名)
- 4 位 心の健康に良いから (27 名)
- 5 位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから (22 名)
- 6 位 教員免許に必要なから (19 名)
- 7 位 技術や技能を身に付けたいから (17 名)
- 8 位 勉学意欲が高まるから (9 名)
- 9 位 教員との交流が楽しいから (6 名)
- 10 位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから (4 名)

11位 その他（1名）



IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



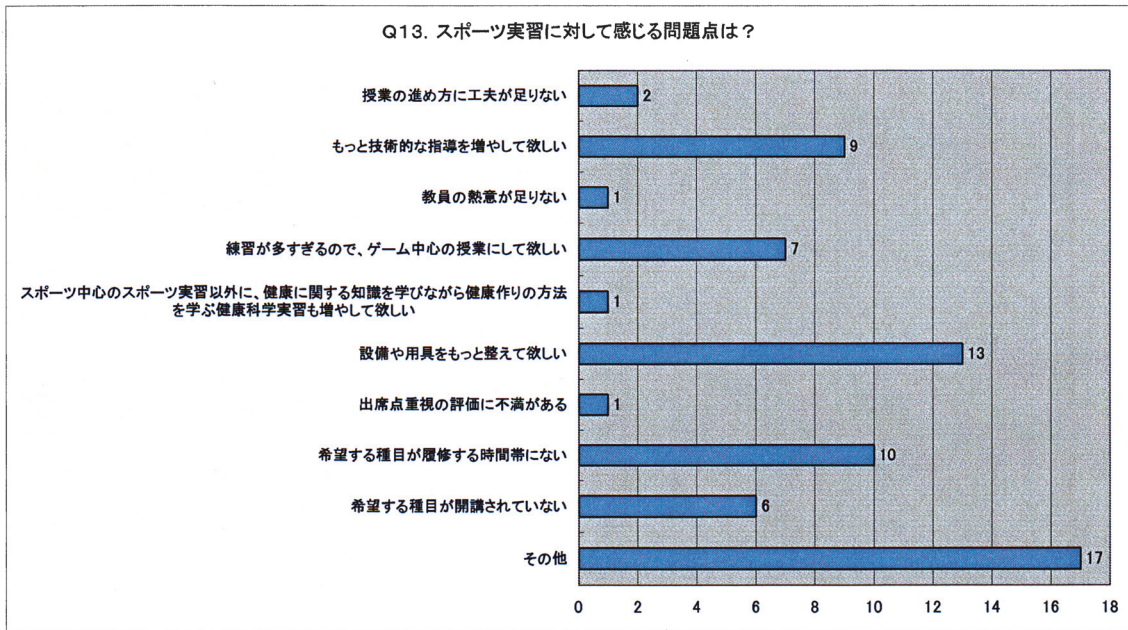
Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 55名 (68.8%)、不満 5名 (6.3%)、どちらでもない 14名 (17.5%)、不明 6名 (7.5%)。

Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 その他（17名）
- 2位 設備や用具をもっと整えて欲しい（13名）
- 3位 希望する種目が履修する時間帯にない（10名）
- 4位 もっと技術的な指導を増やして欲しい（9名）
- 5位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい（7名）
- 6位 希望する種目が開講されていない（6名）
- 7位 授業の進め方に工夫が足りない（2名）
- 8位 教員の熱意が足りない（1名）
- 8位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識も学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい（1名）

8位 出席点重視の評価に不満がある（1名）



V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

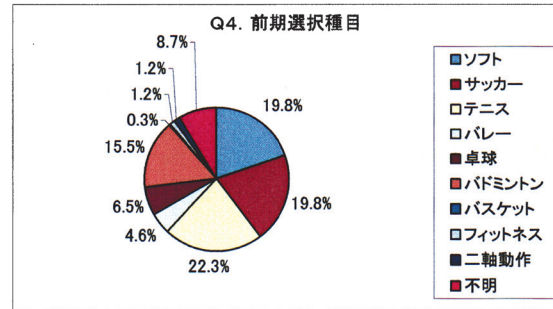
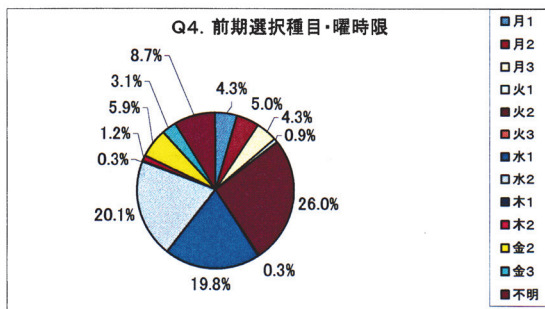
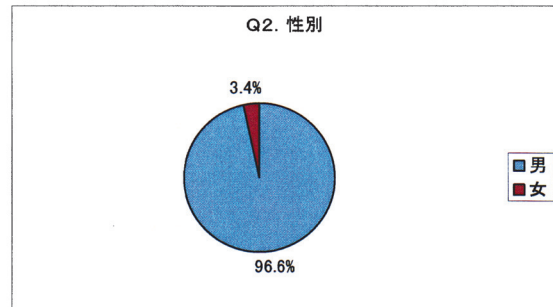
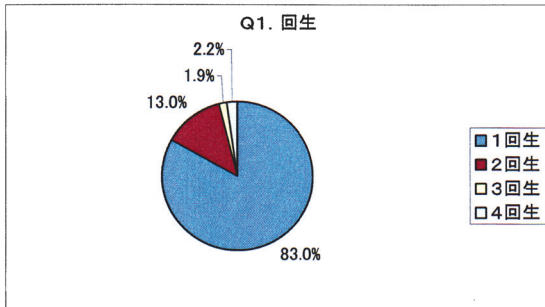
単位が欲しいので我慢して受けていますが、あまりいじめないでください。待ちに待った二軸動作、これからも楽しみにしています。テニスを授業で初めて受け、非常に楽しかった。種目を増やして欲しい。怪我の心配をしすぎ。オアシス的存在。人数が少なくてゲームが楽しめない。生きがいです。増加単位になっても4単位までとり続けたい。スポ実を必修にしたいぐらい。2回生以上がとれる種目を増やして欲しい。京大生は運動不足になりがちだから、2単位必修でも良い。

理学部の学生のスポーツ実習に対する好意度・満足度は全学の平均並みである。スポーツ実習を受講する理由の中で、「教員免許に必要だから」という回答が19名（7.5%）で、全学部の平均（4.8%）を上回っていた。

理学部の学生がスポーツ実習を受講する理由としては、「楽しいから」や「身体の健康に良いから」が多い。また、「単位が欲しい」という本音的な理由も多く見られたが、「心の健康に良いから」、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」といった精神面への効果も重視しているようである。スポーツ実習に対して感じる問題点で一番多い（17名）のは、「その他」であり、授業内容の改善を望むものが多く見られた。

7 工学部 323 名

I. 回生、性別、所属学部等



Q1. あなたの回生は？

323名中、1回生が268名(83.0%)と最も多かった。2回生が42名(13.0%)。3回生が6名(1.9%)、4回生が7名(2.2%)であった。

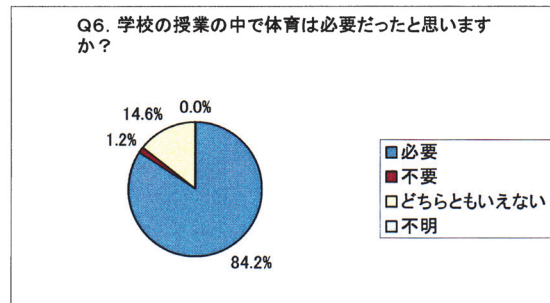
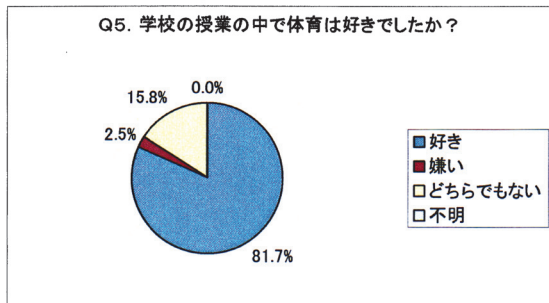
Q2. あなたの性別は？

男子が312名(96.6%)、女子が11名(3.4%)だった。

Q4. 前期に選択した種目は？

ソフト64名(19.8%)、サッカー64名(19.8%)、テニス72名(22.3%)、バレー15名(4.6%)、卓球21名(6.5%)、バドミントン50名(15.5%)、バスケット1名(0.3%)、フィットネス4名(1.2%)、二軸動作4名(1.2%)、不明28名(8.7%)だった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き264名(81.7%)、嫌い8名(2.5%)、どちらでもない51名(15.8%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

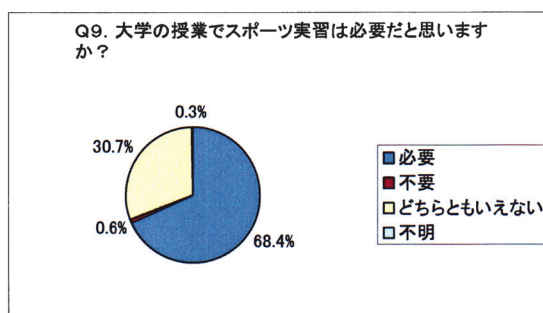
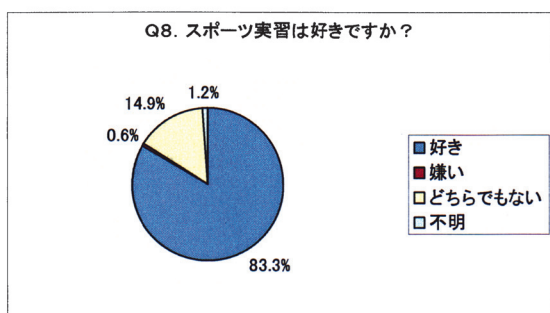
必要 272 名 (84.2%)、不要 4 名 (1.2%)、どちらでもない 47 名 (14.6%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；楽しい、いわばオアシス。健康によい。体を動かす機会・ふだん運動しないから、体力維持・増強。気分転換。ストレス発散。唯一体を動かす機会なのでリラックスできる。体を動かさないとブタになる、事実、高3では体育がなかったが、かなり太った。面白い。好き。体を動かさないとケガをしやすくなる。自分から体を動かそうと考えないので、授業の形で体を動かせていたのは有意義。勉学以外からも学ぶことがある。人間に必要。人間形成に不可欠。協調性が養われる。友だちの違った一面を見つけることができる。人と仲良くなれる。楽しかった。友だちいっぱい、クラスメートや他クラスとの交流にも役立った。勉強にも役立つ。部活以外の種目もできる。

不要な理由；記述なし

Ⅲ. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 269 名 (83.3%)、嫌い 2 名 (0.6%)、どちらでもない 48 名 (14.9%)、不明 4 名 (1.2%)。

「好き」とする比率が高校時代、本学でのスポーツ実習受講後にも 80%以上。高校までの体育の授業の好き嫌い、本学のスポーツ実習の好き嫌いの比率に有意な差はなかった。

Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

必要 221 名 (68.4%)、不要 2 名 (0.6%)、どちらともいえない 99 名 (30.7%)、不明 1 名 (0.3%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

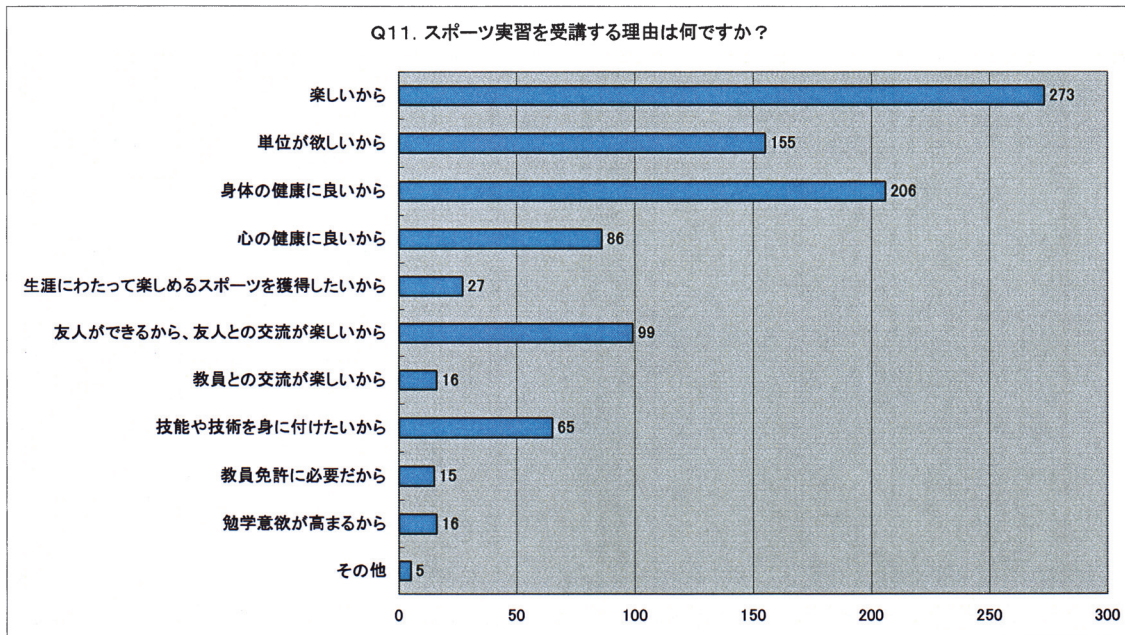
必要な理由；Q7 にほぼ同じ。

不要な理由；Q7 にほぼ同じ。

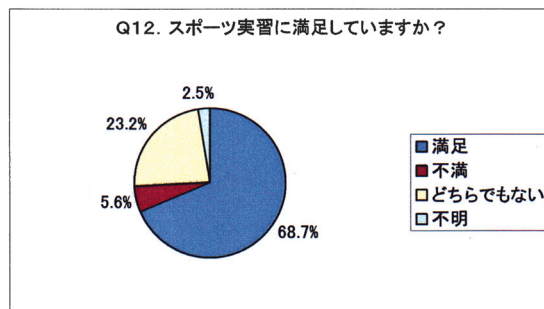
Q11. スポーツ実習を受講する理由は？ (複数回答可) 延べ 963 名回答

- 1位 楽しいから (273 名)
- 2位 身体の健康に良いから (206 名)
- 3位 単位が欲しいから (155 名)
- 4位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから (99 名)
- 5位 心の健康に良いから (86 名)
- 6位 技術や技能を身に付けたいから (65 名)
- 7位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから (27 名)
- 8位 教員との交流が楽しいから (16 名)

- 8位 勉学意欲が高まるから (16名)
- 10位 教員免許に必要なだから (15名)
- 11位 その他 (5名)



IV. 本学のスポーツ実習に対する要望



Q12. スポーツ実習に満足していますか？

満足 222名 (68.7%)、不満 18名 (5.6%)、どちらでもない 75名 (23.2%)、不明 8名 (2.5%)。

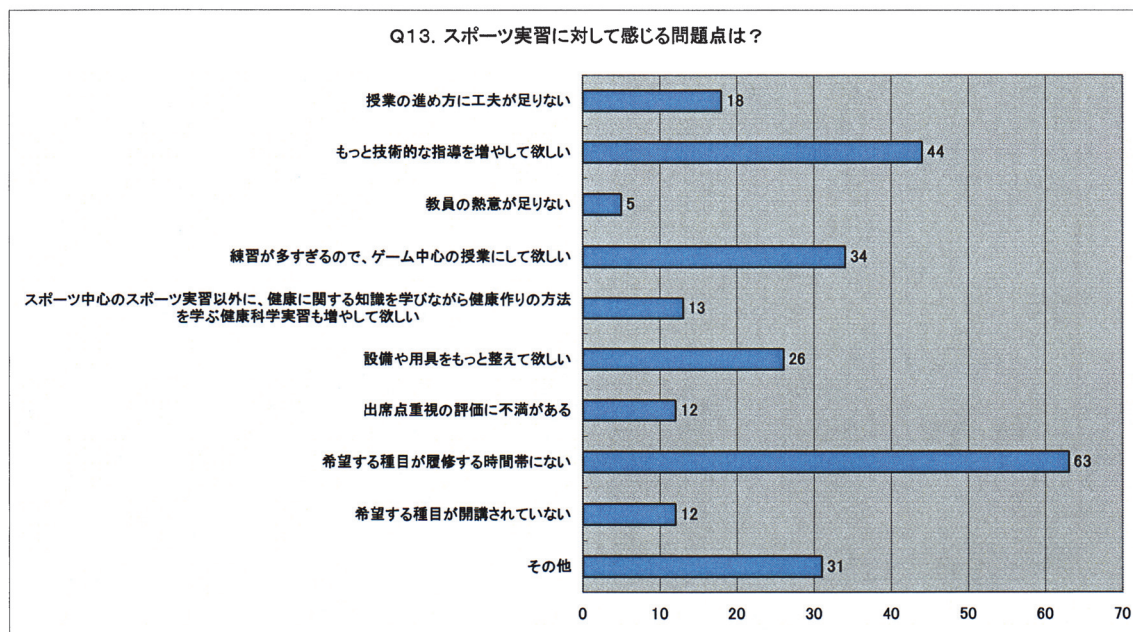
Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 希望する種目が履修する時間帯にない (63名)
- 2位 もっと技術的な指導を増やして欲しい (44名)
- 3位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい (34名)
- 4位 その他 (31名)
- 5位 設備や用具をもっと整えて欲しい (26名)
- 6位 授業の進め方に工夫が足りない (18名)
- 7位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい (13名)
- 8位 出席点重視の評価に不満がある (12名)

8位 希望する種目が開講されていない (12名)

10位 教員の熱意が足りない (5名)

授業の進め方に工夫が足りない、とした回答者に「具体的に書いて下さい」と設問していたが、回答は少なかった。



V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

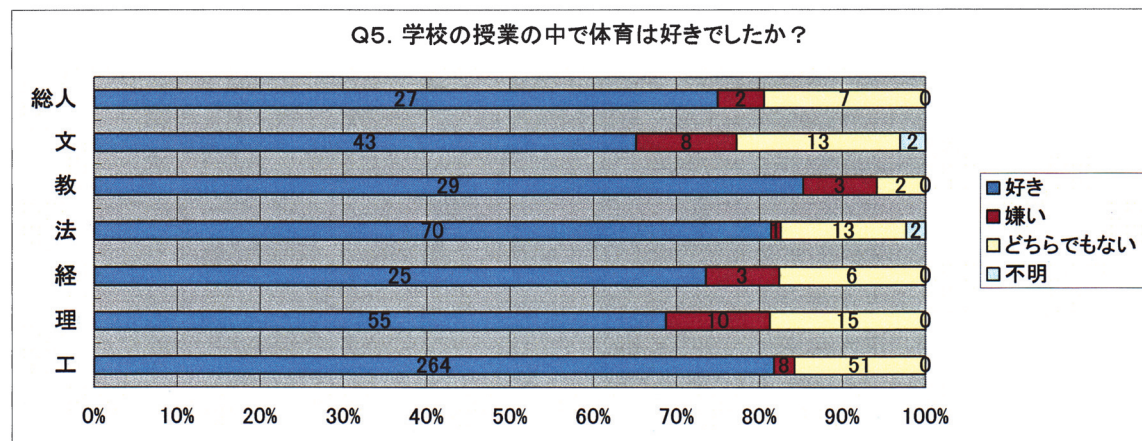
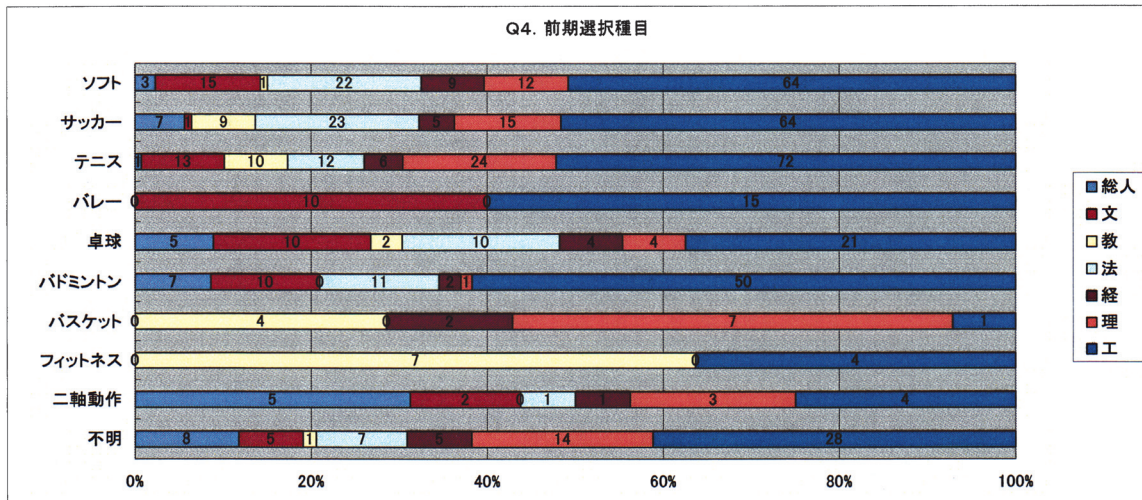
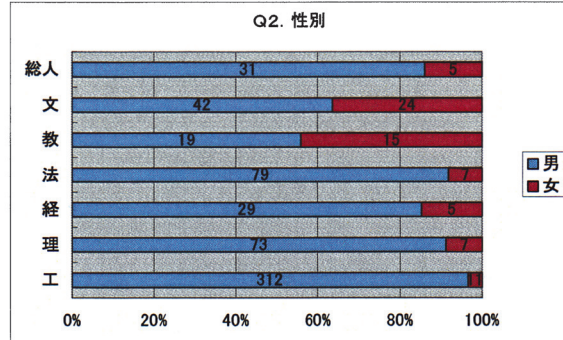
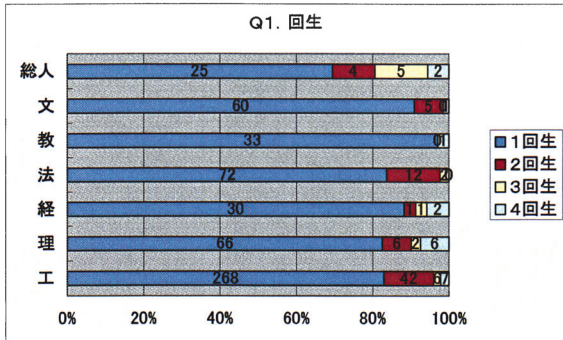
- ・最近の問題：アスベスト問題をなんとかしてほしい。
- ・制度設計：開講時間を増やしてほしい。時間帯が選べるように。もっと自由に選択できるようにしてほしい。クラス指定の時間にやりたい種目がない→事前にアンケートをとって開講する種目を調整してほしい。2回生では好きなスポーツがとれるような配慮を。単位をもっと取りやすくしてほしい。D群は不要だと思う←遊び感覚だから。1週間に2回以上やりたい。健康によいのでやるべき。どれだけ不要だという人がいても、なくしてほしい。1単位でなく2単位にしてほしい。
- ・授業の内容・方法：試合よりもっと練習時間があるといい。スポーツ実習で単位がもらえるなんて素晴らしい。実習という授業の形でスポーツをすること＝遊びではない場としての魅力。スポーツを通していろんな人と触れあい、精神的にもよい日々。単位を取るためだけでなく、健康な身体をつくるために大切。スポーツ実習は単なるストレス解消、健康維持の場と考えています。そのスポーツの経験者がじゃま、初心者でも楽しめるようにしてほしい。下手でも楽しめたらいいと思う。楽しい。部活ではないので、楽しくできて、ある程度の基本が習得できればよい。とても楽しくリラックスできる場→やはり必要だと思う。技術面での優劣は仕方ないから、評価は出席で。

工学部生は、全体にスポーツ実習に対して好評価を与えており、意義や必要性を認める意見が多数みられた。

その一方で、制度や授業の内容について改善を求める意見として、希望種目を指定時間にとれないので選択の幅を増やしてほしい、自由に受講登録できるようにしてほしい、などの意見があった。また、事前にアンケートをとって開講種目を検討してはどうかなどの提案があった。

8 7 学部全体の集計

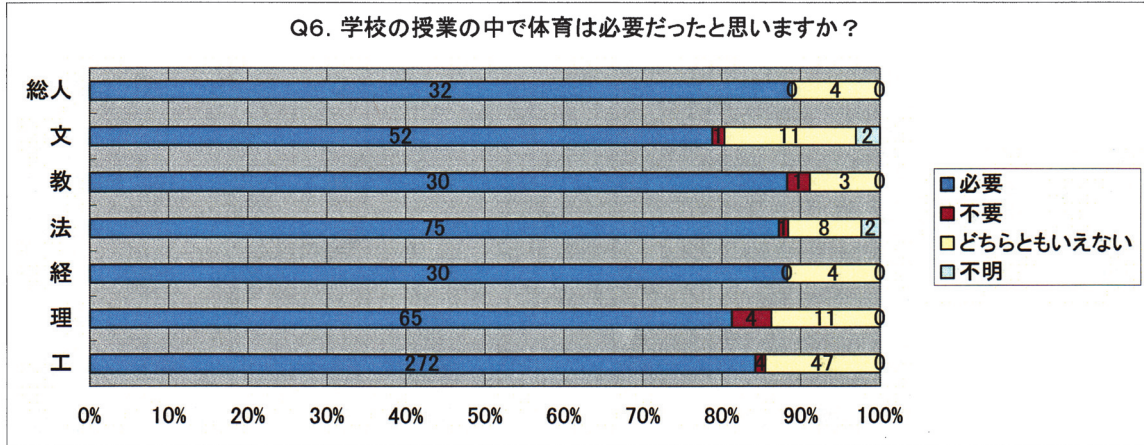
回答してくれた学生が661名いたが、そのうち1回生が555名(84.0%)と圧倒的に多かった(Q1)。このアンケート用紙が、後期授業の登録に来た学生に対して配布され、そこに集まる1回生が大半を占めるためである。学部別にみた図も添えておく。



高校までの体育は好きでしたか？という設問(Q5)に対して、77.6%が好きという回答をし、嫌いと言明する学生は5.7%と少数であった、京大に入学する学生の多くは、高校までの体育の授業に好印象を持っていることが明らかとなった。

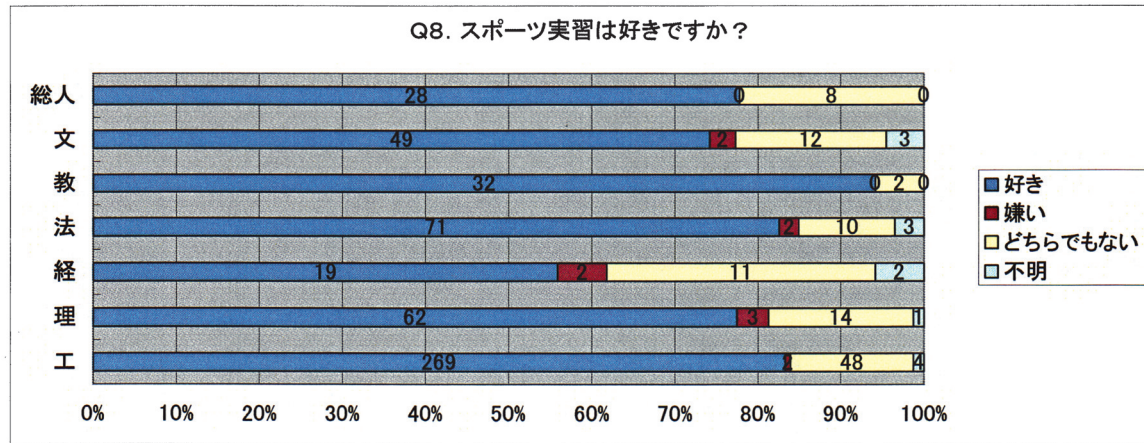
文学部が65.2%で、高校までの体育を好きと答えた割合が最も少なかった。好きと答えた人数が80%を超えた学部は、教育学部、法学部、工学部であった。

「高校までの授業において体育は必要だったと思いますか?」という設問 (Q6) に対しては、必要だと答えた学生は 84.5%にもものぼり、不要と答えた学生は 1.6%と非常に少数であった。学部間における値の違いは好き、嫌いの回答ほど大きくはなく、どの学部においても等しく高校までの体育の必要性を大半の学生が認めていることが分かる。



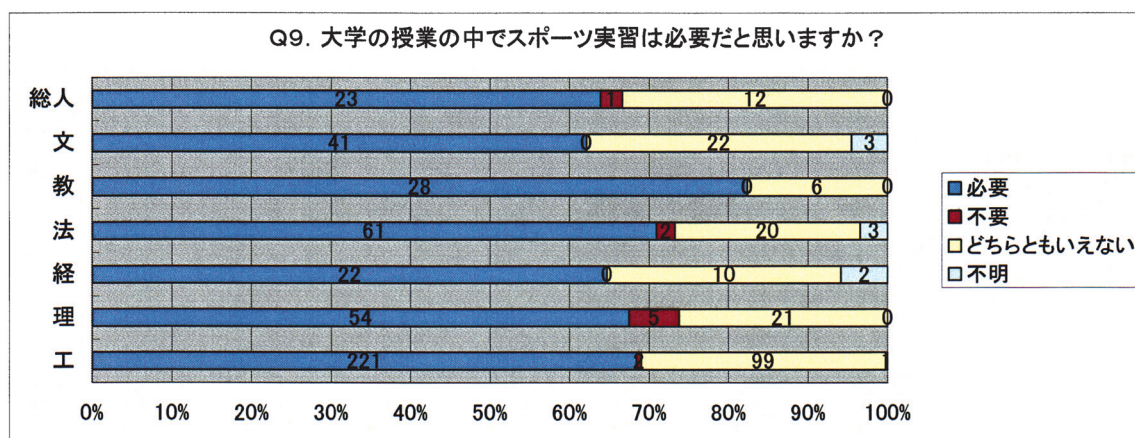
必要の理由 (Q7) は、各学部ともほぼ共通しており、体力の必要性、運動不足解消、健康の重要性、楽しさ、対人コミュニケーションの重要性、肉体と精神の関係性の重視、勉強の息抜きの必要性、勉強だけが人間の価値観でなく肉体を動かすことの意義を感じる、などにその必要性を認めていた。

それでは、京都大学に入学して前期にスポーツ実習を履修した学生のスポーツ実習に対する印象はどうか (Q8)。スポーツ実習を好きと答えた学生は 78.7%を示し、高校までの体育が好きと答えた学生の数 (77.6%) とほぼ同数であった。また、スポーツ実習は嫌いという学生は 1.5%と非常に少なかった。学部別に見ると、経済学部だけがスポーツ実習が好きだという意見が 60%を下回った。



大学の授業でスポーツ実習は必要だと思うか?という設問 (Q9) に関しては、必要が 67.6%を示し、好きの値に比べて 10%程度下回った。これは、不要と答えた者が増えたからではなく (1.5%)、

どちらともいえないと明言を避けた者が 29.7%と増えたためである。設問は、漠然とスポーツ実習が大学の授業に必要かどうかを問うものであった。従って、漠然と必要と答えた者も多くいたと思われるが、スポーツ実習を必修科目とすべきかどうか、という設問だと解釈した学生もいたものと思われる（自由記述からそのことが伺い知れる）。つまり、意味をどのように捉えたら良いのか分からず、どちらともいえないと明言を避けた者がいたことが推測される。また、必修科目か自由科目のどちらが良いか分からない、という意味でどちらともいえないと答えた学生もいたことが考えられる。設問の意図は、主に前期のスポーツ実習を履修した 1 回生がスポーツ実習の必要性を感じているか、感じているとしたらどのような点においてかを明らかにするためであった。必修科目にすべきかどうかについて尋ねる意図は含まれていなかった。Q9 については、設問の設け方に曖昧さがあったことが反省点として挙げられる。学部別にみると、教育学部だけが、大学の授業でスポーツ実習は必要だと答えた学生が 80%を超えたが、教育学部生の教育問題に対する関心の高さを示すものと思われた。

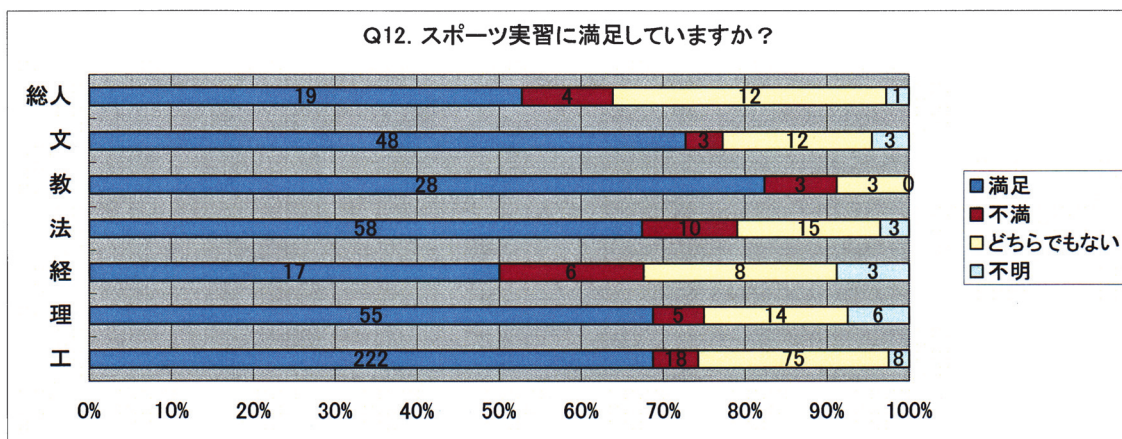


スポーツ実習を受講する理由 (Q11) で最も多かったのは、「楽しいから」(583名)であり、経済学部を除いた他の 6 学部では、受講の理由としてこれを一番多く挙げていた。おそらくどこの大学でも同じであろうが、学生にとってスポーツ実習、或いは体育実技は、教養科目(全学共通科目)の中で最も楽しい科目と言えよう。Q5やQ8と併せて考えると、京大生の多くは、スポーツ好きであると言ってよさそうである。経済学部で一番多い答えは、「単位が欲しいから」というある種の経済性(楽しく受けて単位になる)を優先する発想であったのも興味深い。「楽しいから」の次に多かったのが、「身体の健康に良いから」の 465名で、「単位が欲しいから」という本音を答える数(311名)が次に続いた。「身体の健康だけでなく、心の健康にも良い」と答えた者も 217名、「友人ができるから、友人との交流が楽しいから」として、友人との交流に意義や楽しさを感じている者も 213名みられ、スポーツ実習が肉体面にもたらす効果だけでなく、精神面にもたらす効果も感じている学生が少なくないことが明らかとなった。上記の回答は、スポーツ実習がある種の教養的価値を求めるものと位置付けて良いと思われる。

スポーツ実習で履修したスポーツ種目自体の技術や技能を身に付けたいと思っている学生も 142名いたが、これは、スポーツ実習をスポーツの専門性を身に付けたいと位置付ける学生がいる事を示している。スポーツ実習を楽しみたいと感じている学生は技術指導よりも試合形式やゲーム中心の授業を望んでいるものと思われる(Q13, 74名)。技術、技能を身に付けたいと思っている学生は、

もっと技術的な指導を増やして欲しいと感じているものと言える (Q13, 76名)。履修学生のニーズに応じた授業対応が各担当教員に求められる。

スポーツ実習に満足しているかどうかを問う設問(Q12)に対しては、満足が 64.4%、不満が 7.0%、どちらでもないが 23.8%、不明が 4.8%であった。スポーツ実習が好きと答えた者が 78.7%いたのに対して、満足しているが 14%程度減少したことは、注目しなければならない。問題点の具体的指摘について分析し (下記に示した)、改善を図りたい。学部別に見ると、経済学部が 50.0%しか満足していないことが特徴的である。総合人間学部も満足していると答えた学生は 52.8%と次に少ない値を示した。自由記述からは、特に二つの学部の特徴的な不満は認められなかった。



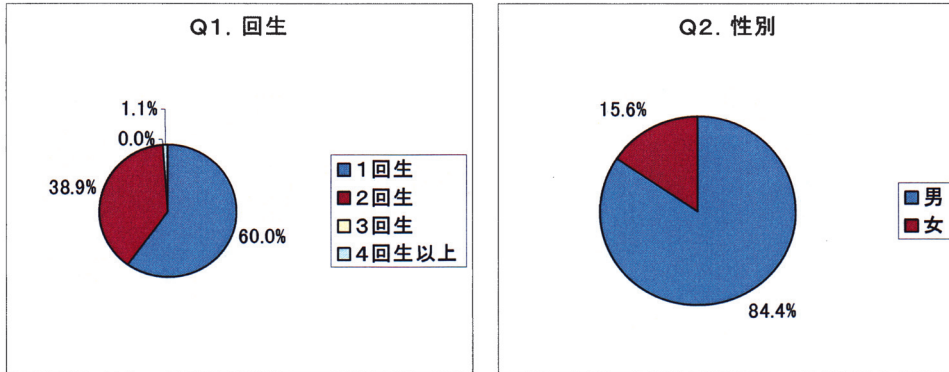
スポーツ実習に対して感じる問題点 (Q13) に関しては、「希望する種目が履修する時間帯にない」と答えた者が 121 名と最も多かった。平成 16 年度はスポーツ実習の開講コマ数が週 142 コマであったのが、17 年度から、スポーツ実習の開講コマ数を 30 コマ減らして 112 コマにした。(30 コマ減のうち、非常勤 22 コマ減、常勤 8 コマ減)。1 開講時間帯に開講する種目が平均 7 コマあったものを、平均 5 コマに縮小したことになる。現在は、1 開講時間帯に、受講者の多いソフトボール・テニス・サッカー・バスケット・バドミントン・卓球・フィットネスのうちから 5 種目が開講されているが、バレーボールとバスケットボールは、12 開講時間帯のうち、それぞれ 2 時間帯と 3 時間帯しか開講されておらず、その種目を選択したい学生にとっては、不満材料になるものと思われる。今後、担当教員に前期と後期に異なる種目を担当して頂くように働きかけ、学生が半期ごとに異なる種目を受講できるようにして、希望種目を選択できる可能性を高くしていくことで対処を図っていきたい。登山や自転車、ニュースポーツ系の種目を希望している学生 (希望する種目自体が開講されていない) も 44 名みられたが、今後、学生の動向もみながら、週 1 コマ程度の新規種目開講の可能性も検討していきたい。授業の進め方に対する不満の声も 44 名みられたが、学生のニーズにも反応しながらの授業展開を試みる必要性が授業担当者に求められる。設備や用具に対する不満を挙げる学生が 55 名いたが、この点に関しては、担当教員からの意見も汲み取り、対処していく所存である。

スポーツ実習に対して問題点を感じている点を挙げた学生が 731 名中、555 名 (複数回答可) いた。このことが、スポーツ実習は好きと答えた学生が 77.6%であったのに対して、スポーツ実習に満足している学生が 64.4%に低下していたことの要因であるものと思われる。

スポーツ実習を卒業単位に認定していない3学部生（医・薬・農）に対するアンケート調査

1.1 医学部・医学科 90名

I. 回生、性別



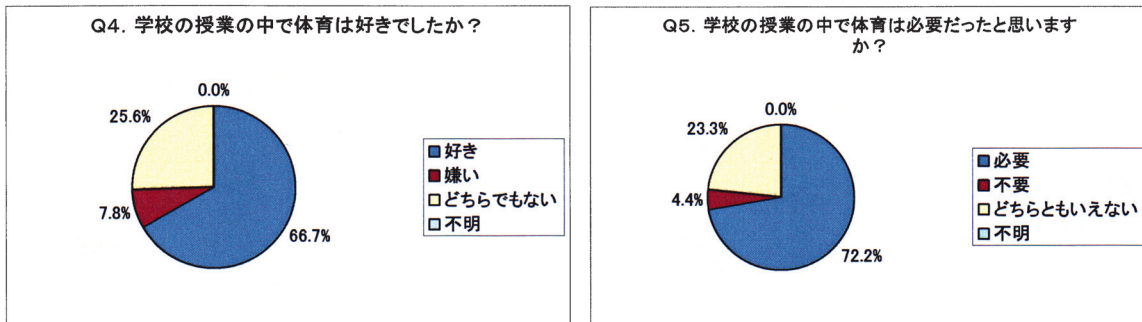
Q1. あなたの回生は？

90名中、1回生が54名（60.0%）、2回生が35名（38.9%）、4回生が1名（1.1%）。

Q2. あなたの性別は？

男子が76名（84.4%）、女子が14名（15.6%）だった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q4. 体育は好きでしたか？

好き60名（66.7%）、嫌い7名（7.8%）、どちらでもない23名（25.6%）。

Q5. 体育は必要だったと思いますか？

必要65名（72.2%）、不要4名（4.4%）、どちらでもない21名（23.3%）。

高校時代までの体育の授業は「必要」とする意見が多数を占めた。しかし、高校までの体育の授業に対しては、以下のような意見である。

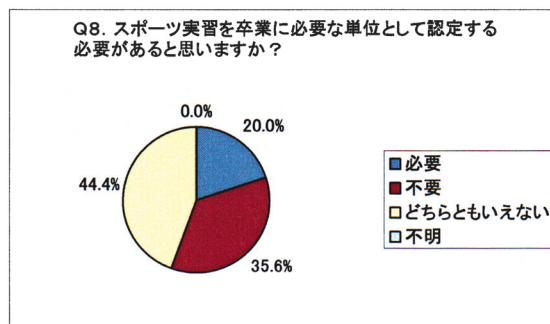
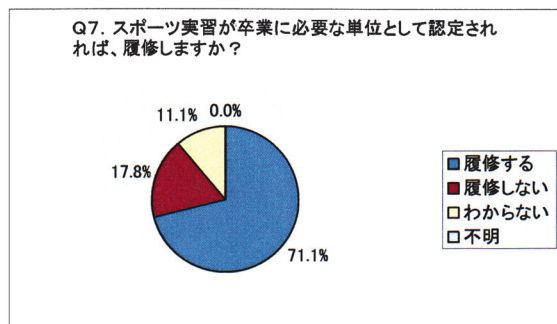
Q6. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；健康維持。生活習慣病の予防。体力の維持・向上。運動不足の解消・体がなまる・運動する機会・ふだん体を動かすことが少ないから。運動部以外の人にとっては貴重な運動時間。定期的に運動ができる。楽しい・楽しかった・おもしろい。気分転換・息抜き・リフレッシュ。頭だけでなく体も使う、机に向かう授業以外に体を動かすことは大事。健康に対する意識を高め

る。チームプレイ、仲間と協力し合う精神を培う。友情を深める。友だちと楽しめる。コミュニケーションの場。お互いのコミュニケーションがとりやすくなる。社会の中で団結力を学ぶよい機会。スポーツを通してしか得られない喜び、感動がある。18歳未満は学校教育での体力作りも必要。スポーツ文化に対する興味も湧く。体を動かさない人には強制があった方がいいかもしれない。

不要な理由；部活で運動するから。嫌いだから。めんどい。学校の授業でやるものじゃない。

Ⅲ. スポーツ実習の単位認定について



Q7. スポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、履修しますか？

履修する 64名 (71.1%)、履修しない 16名 (17.8%)、わからない 10名 (11.1%)。認定されれば履修すると回答した学生が7割以上みられた。

Q8. スポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか？

必要 18名 (20.0%)、不要 32名 (35.6%)、どちらともいえない 40名 (44.4%)。

卒業単位としての認定を「必要」とする学生より、「不要」と判断する学生が2倍近くにのぼった。保留意見も多かったが、薬学部生も同様に、「不要」とする意見が「必要」とする意見を大きく上回った。農学部生では、「必要」とする意見がやや多かった。

Q9. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；認定されるとより多くの人に参加するため、広い人間関係を築ける。スポーツを通して深い人間関係も築ける。単位として認定されない以上、とりたいと思っている人も思いとどまってしまい、スポーツを通してしか得られない人間性を一層成長させる機会を失ってしまう。体育も教養。医師になるために必要なコミュニケーション能力と体力が身につく。大学生活の中でのリフレッシュになる。医者は体力仕事でもある。体力は将来必要。運動不足解消・ストレス解消。おもしろいから。体を動かすことが少ない。

不要な理由；下線部を引いた記述は、高校までには体育を必要だと答えた者を意味する。

実習する意義が明確に示されていない。スポーツが医学に必要とは思えない。運動したいなら部活ですればよい。サークルに入ればよい。個人の自由、個人で勝手にすればよい、各自が好きなスポーツを好きな時にやればよい、スポーツがやりたければ自主的に。スポーツがしたい人は単位に関わらず履修するだろう。必要性を感じない、必要性がない。できるだけ自由にした方がよい。大学側がスポーツ実習を強制することはない(やりたい人はやればよい)。必須単位にしたときのメリットが少ない(受講したければ現状でもできる。大学生は自己管理の責任がある)。もう大学生なのだし、強制されて運動するのも面倒くさいから(卒業に必要な単位としての認定の

問題と、必修か選択かの問題の誤解か?)。嫌いだから。卒業後不必要だから。18歳を過ぎれば、体力作りは自己責任。高校までで十分。めんどろ。人によって得意・不得意の差が大きく、成績評価にふさわしくない→強制してやらせるべきではない。大学に入ってまで健康管理のことに時間を割く必要はない(それ以外に重要なことがある)。

高校までの学校の授業の中での体育は好きだった者が3分の2以上いた。それにもかかわらず、大学の授業では体育は必要ないとする意見が多かった。これは、医学部の1・2回生がこれまで全くスポーツ実習を受講した経験がないために、経験した上での評価になっていない可能性がある。実際、スポーツ実習を受講している医学部生16名へのアンケート結果では、3分の2の11名が「必要」と判断しており、「不要」とした受講生は一人もいなかった。ただし、単位認定までも「必要」と思っている医学部生だからこそ、スポーツ実習を受講したとみるべきであるので、この16名の結果を一般化することはできない。

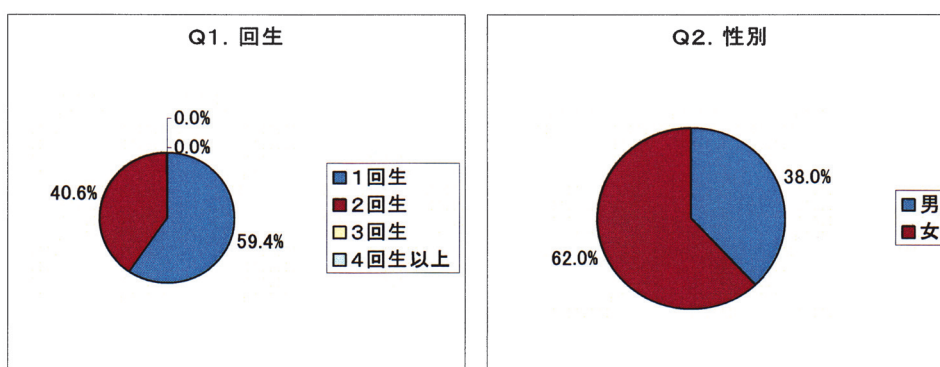
単位認定を必要と感じている医学部生が母集団でも20.0%は存在しているとすれば、十分制度化するに値すると思われるが、一方で、今回の回答者90名のうち、35.6%(32名)もの医学部生が、スポーツ実習の卒業単位換算認定を「不要」とした。

その理由は、①サークル活動、部活動などで十分である。②強制する必要はなく、自己責任でやればよい、等であった。①は問いに対する一つの妥当な理由であるが、②は「単位認定するか否か」という問題に対する回答というより、必修の授業として受講を強制されることについての批判的な意見、また、必修化を危惧する意見であるように思われる。

最後の、スポーツ実習についての自由な所感の欄では、制度設計や教育内容についての貴重な意見・提案があった。

1.2 医学部・保健学科 187名

I. 回生、性別



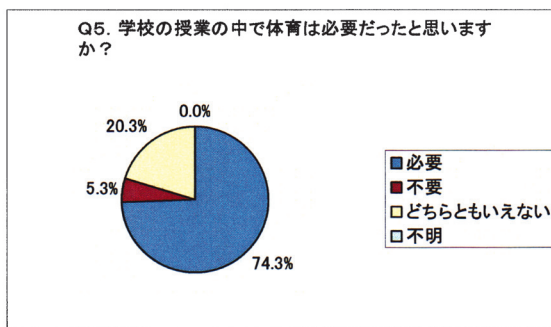
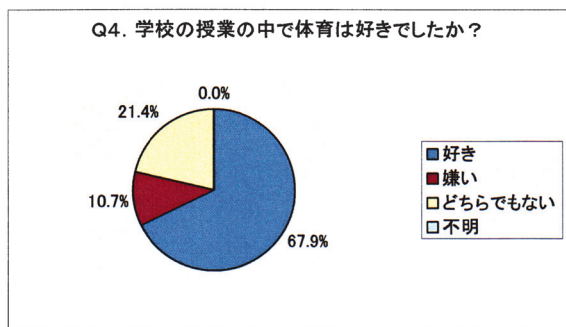
Q1. あなたの回生は？

187名中、1回生が111名(59.4%)、2回生76名(40.6%)。

Q2. あなたの性別は？

187名中、男子が71名(38.0%)、女子が116名(62.0%)。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q4. 体育は好きでしたか？

好き 127 名、67.9% (医学科 66.7%)、嫌い 20 名、10.7% (同 7.8%)、どちらでもない 40 名、21.4% (同 25.6%)。好きは、全学平均の 77.6% を下回った。嫌い は全学平均の 5.7% を上回っていた。医学部生は、全学部の中でみると、体育嫌いの学生の割合が多いと言える。

Q5. 体育は必要だったと思いますか？

必要 139 名、74.3% (医学科 72.2%)、不要 10 名、5.3% (同 4.4%)、どちらでもない 38 名、20.3% (同 23.3%)。必要は全学平均の 84.5% を下回り、不要は全学平均の 1.6% を上回っていた。

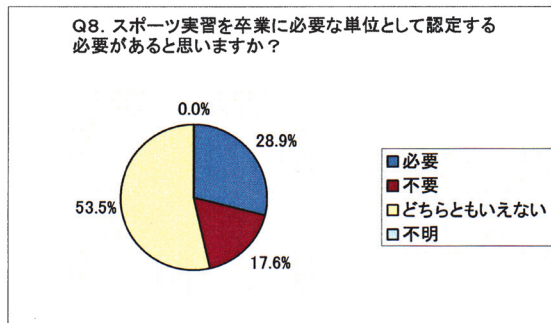
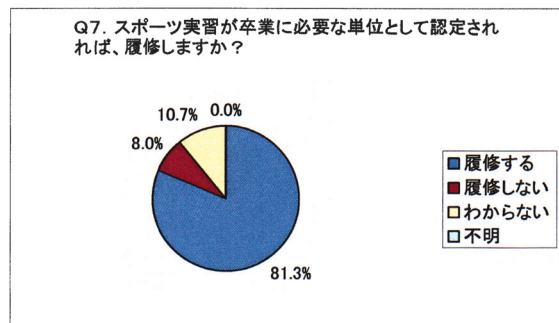
高校時代までの体育の授業は、医学科と同様に、「必要」とする意見が 70~80% を占めた。しかし、医学科と同様に、大学の体育に対しては、単位認定「不要」とする意見が多くなる。

Q6. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；健康に必要。現代の子どもには必要。気分転換・気晴らし・ストレス発散。さまざまなスポーツがあることを知ることは必要。体を動かすことは楽しい。体力をつける。最低限の体力を保持できた。太るのを防ぐ。体を動かすことは日常生活の基本。大切。好きだから。運動不足の解消。「健全な精神は健全な肉体に宿る」と思う。定期的に体を動かす機会がほしい。体育以外で運動する機会がない、貴重な運動の機会。チームワークの大切さを学べる。仲間の和を保つにもよい。ふだん話さない人とも同じチームになって話せた。体を動かすことで机上の勉強にはない充実感が得られる。一人一人の個人がスポーツという団体行動で学べることは大きい。体を動かすことも勉強の一つ。

不要な理由；自分が苦手なスポーツも無理強いさせられる。しんどい。部活・サークルがある。

III. スポーツ実習の単位認定について



Q7. スポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、履修しますか？

履修する 152 名、81.3% (医学科 71.1%)、履修しない 15 名、8.0% (同 17.8%)、わからない 20 名、10.7% (同 11.1%)。

認定されれば履修する、とした回答者が 8 割以上に達した。

Q8. スポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか？

必要 54 名、28.9% (医学科 20.0%)、不要 33 名、17.6% (同 35.6%)、どちらともいえない 100 名、53.5% (同 44.4%)。

医学科に比べると、卒業単位としての認定を「必要」とする学生がやや多く、「不要」の意見を上回った。保留が過半数。判断に迷っているようだった。情報提供や今後の経験によって意見分布は変わってくると考えられる。

Q9. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；コミュニケーション能力。体力ないとだめだ。体力は必要。運動は大切。身体がなまる。運動系サークルや部活をしていない人は運動不足になりそう。スポーツ実習をある意味で時間の無駄ととらえたくないから。スポーツも勉強であるから (単位認定されなくてもと思う)。体について学ぶ者が、体を動かさないなんてありえない。医学部に所属する者として、運動の必要性を身をもって感じるべき。机に向かって学ぶ以外に、体を動かして学ぶことも多いし大切だと思う。スポーツが人生に不要とは思えない。いろんなことを学ぶべき。他学部との交流ができる。スポーツという団体競技で学ぶことは大変多い。なぜ医学部は認定されないのかわからない。保健学科は体力が必要なのでは？ 看護学生～医療人として体力も必要。一般教養の中では必要。他大学では教養の一単位として存在している。保健学科では机上の勉強と同じに自分で体得することが必要。保健学科で健康づくりを学ぶ者は、健康づくりのためのスポーツは必修にすべき。体育をやりたいのに単位をもらえないと辛くなってしまう。認定されなければ、取っても意味がないと思ってしまう。

不要な理由；下線部を引いた記述は、高校までには体育を必要だと答えた者を意味する。

運動はマイペースにやりたいので、差し迫らなければ取りたくない。大学は時間的に余裕があるので、サークルや部活で体を動かせばよい。サークルで運動している。個人の自由。運動したい人は勝手にする。スポーツを目的に大学に来たのではない。それぞれにやりたいスポーツがあっても、スポーツ実習にない場合もある。好きな人は自由にしたらよい。しんどい。水泳とマツト運動があれば考える (開講種目を増やしてほしい)。時間割的にスポ実を入れるのはきつい。めんどくさい。にわか仕込みが役に立つとは思えない。スポーツが苦手あるいは嫌いな人も少なくないと思うから。将来、小・中学などの先生になるわけではないから。個人の意志に任せるべき。体を動かす必要があれば個人で動かす。個人で管理できる年だから。やりたい人がやればよい。スポーツ実習を履修したいのにできなければ問題があるが、そうでないので認定する必要は無いと思う。これ以上授業を入れたくない。

大学で体育を卒業の単位に必要なとすることはないと答えた者の大半は、高校までの体育は必要だと答えていた。不要の記述内容から判断すると、卒業するのに必修の単位として体育は認めなくてよいが、個人的に自由選択の余地を残しておくことによって、履修して単位を認めて欲しいという学生の希望をかなえることができるものと思われる。カリキュラムに対してかなり多忙感を抱いている学生もみられるが、履修してみると考えが変わるかもしれない。また、高校時代に

なかった種目をスポーツ実習で履修できるように開講種目数を広げることを希望する学生もみられた。

IV. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

単位認定してほしい。これから可能な後輩のためにも認定してほしいと思います。スポーツ実習は必要であると真に考えています。単位が認定されていないので、取らなくてよいかな、と考えている学生がたくさんいると思う。絶対必要。勉強ばかりしていても体力が落ちては意味がない。強制する必要はなくても、授業をとったなら卒業に必要な単位として認められると良いと思う。もっと種目を増やしてほしい。自分のしたい種目が必修と重なってとれない。もう少し色々な種目を導入してほしい。仕方がないことだが、専門と時間が重なり履修できない。楽しそうだけど、時間的にはきつい。保健学科は特に忙しい。校舎もだいぶ離れているし。私たちのカリキュラム（看護）的には、必修でないスポーツ実習を履修する余裕はあまりない。他学部と一番仲良くなれる授業だと思う。運動が足りないなあと思っている人には嬉しい授業。スポーツ実習が単位として認定されるべきだとは思わないが、なぜ医学部・薬学部・農学部は認定されていないのかわからない。医・薬・農だけ必要なしとする基準の意味が全然わからない。医・薬・農ではスポーツ実習（運動科学などの講義、スポーツ指導法実習を含むD群すべて）を卒業単位として認めていない理由を知らないのだが、どこかに書いてあるのか？ 必要単位でないで、スポーツが嫌い・苦手な人が無理にやらなくてもいいし、種目が多いので好きなスポーツを選んでできる。出席だけで単位が取れるというのが、他の科目と同じ単位数がもらえるとすると不合理な気がする。他の授業もそうだが、自分から履修しようと思って履修しないと実にならないし力にならない。「卒業に必要」であるということが履修の動機になるのは不幸。その時その時や将来の自分にとって必要か、で履修したい。

医学科と対照的に、看護師や作業療法士など医療人の仕事には体力が必要だから単位を認定すべきだ、という意見が多くみられた。一方で、現在のカリキュラムでは履修は難しいと感じている学生も多く、制度設計の検討課題となろう。

単位認定「不要」とした意見には、医学科と同様に、認定の是非を問うているのに、その問題の焦点を明確に捉えずに答えた意見が少なくなかった。スポーツ実習を開講し、履修すれば単位認定可能にする、という原理原則についての議論と情報提供が必要だと思われる。

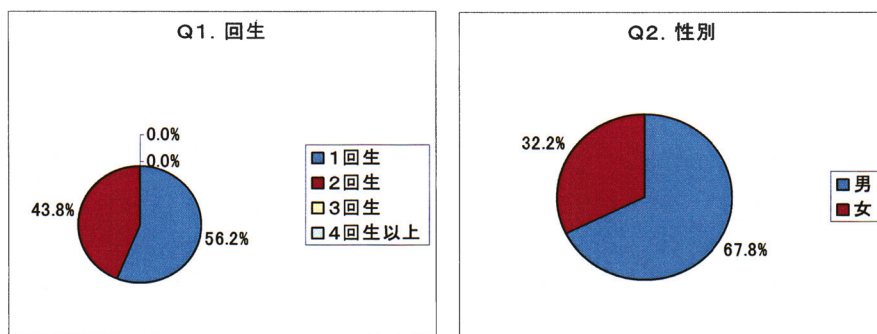
2 薬学部 146名

I. 回生、性別

Q1. あなたの回生は？

1回生 82名（56.2%）、2回生 64名（43.8%）であった。

平成17年度の入学者数は85名であったので、1回生の推定カバー率は96.4%であった。

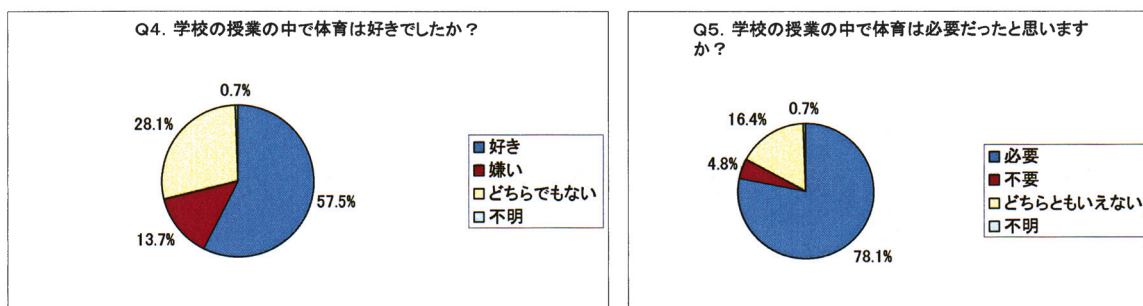


Q2. あなたの性別は？

男子 99 名 (67.8%)、女子 47 名 (32.2%) であった。

女子比率は全学部中で教育学部に次いで高かった。

II. 本学入学以前の体育授業に対する質問



Q4. 学校の授業の中で体育は好きでしたか？

過半数の者 84 名 (57.5%) が好きと回答し、嫌いと回答した者は 20 名 (13.7%) であった。好きは、全学平均の 77.6% を大きく下回り、嫌いは、全学平均の 5.7% を上回った。

薬学部生は大学入学以前に全学の中で最も体育好きの割合が少ない学部であった。

Q5. 学校の授業の中で体育は必要だったと思いますか？

体育が必要であったと思う者は 114 名 (78.1%) で、不要と思う者は 7 名 (4.8%) であった。これも全学の平均 84.5% を下回り、文学部の 78.8% とほぼ同じであった。

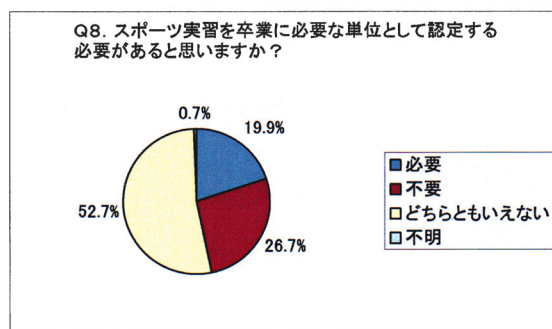
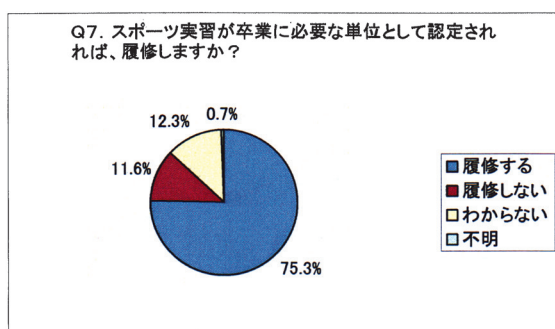
Q6. 上記の質問で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

必要な理由；体育で運動しないと他に運動する機会がなかったから。健康と根性を養うため。体を動かす機会をつくるべき（特に受験生は運動不足になりやすい）。

また、「広い場所や種々の設備を無償で使うことができるから」という実際的な効用を挙げる者や、「気分転換にはなる」、「ストレス解消になるから」、「楽しい」、「体力増進はもちろん、友人たちとのスキンシップになっていたと思う」、「受験期は生活のメリハリが付き、かえって勉強しやすかったと思う」、といったように精神的な効用を挙げる者も多数みられた。

不要な理由；「体を動かすことを授業で教えることは不要と考えるため」、「得意な人と不得意な人がいっしょに授業を受けるのが大変」、「種目により好き嫌いがわかるため」、「授業の中にあっても、ただぼーっとしているだけで身につかないから」、など、授業という形態での限界や制約を理由にしたものが多かった。

Ⅲ. スポーツ実習の単位認定について



Q7. あなたはスポーツ実習が卒業に単位として認定されれば、履修しますか？

履修するが 110 名 (75.3%) が履修しない 17 名 (11.6%) を大きく上回った。わからないのは 18 名 (12.3%)、不明は 1 名 (0.7%) であった。現在卒業単位として認定されていないスポーツ実習が、卒業単位として認定されることになれば、大半の薬学部生が受講したいという希望を持っていることが明らかとなった。

Q8. あなたはスポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか？

必要が 29 名 (19.9%)、不要が 39 名 (26.7%) で、不要が必要をやや上回ったが、一番多い回答は、どちらともいえないで 77 名 (52.7%) いた。不明は 1 名 (0.7%) であった。卒業単位に認められれば履修するという回答が圧倒的に多かったが、そのうちには、卒業単位に認める必要ありと答えた回答は比較的少なく、どちらともいえないという回答が非常に多いことは注目に値する。

Q9. 上記の質問で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

必要な理由；他学部と不平等だと思うから。小中高では体育があるのに大学でないのは不自然。身体の成長に必要。他の学部とも交流が出来る。強制でなくて良いがクラス指定して欲しい。体を動かす必要がある。スポ実したいから。運動不足になるから。クラスの人たちとの交流になるから。定期的な運動は物理的、精神的健康に不可欠。スポーツ実習で学ぶこともあるから。体力が落ちるから。健康第一。体力ピーク付近のこの年代にさらなる向上が必要。取りたい人がいるなら単位認定すべき。成人して主なスポーツのルールも知らないのははずかしい。スポーツ実習を必修にしないなんてありえない。スポーツ実習は薬学部の専門と関係がない。スポーツは生活に大切。スポーツやるとよい経験になる。

不要な理由；下線部を引いた記述は、高校までには体育を必要だと答えた者を意味する。

他にやるべきことがあるから。スポーツ実習がなくても運動するから。身体能力には個人差がある。大学は勉強をする場でいいと思う。運動は体育会サークルでやればいい。スポ実が楽勝科目になるから。卒業単位が増えるのは良くない。関係ない。進路先にスポーツは必要ない。大学に入ってまで体育をする必要はない。専門ととくに密接に関係ないから。忙しくなる。創薬に直結する内容でないと思うから。強制するものではない。めんどくさい。やりたいひとだけやればいい。自分で空き時間に運動します。運動は自由にするものだから。今は履修しようとしてもできない状況になっている。

上記の自由記述を見ると、薬学部生のスポーツ実習に対する感じ方、考え方の特徴が浮かび上が

ってくる。自由記述を書いた学生のうち、否定的な理由を明言した学生が約半分おり、スポーツ実習をあえて大学で行うことに価値を見出していないと思われる回答が多くみられたのが特徴的であった。

否定論の中に、サークルや、体育会で行うスポーツと現在のスポーツ実習の価値に違いを見出せないというニュアンスも多々みられるのも特徴的である。一方、スポーツ実習に積極的な価値を見出す学生もいないわけではなく、卒業単位として認められれば履修する学生が圧倒的に多いことも注目に値する。

大学で体育を卒業の単位に必要とすることはないと答えた者の大半は、高校までの体育は必要だと答えていた。不要の記述内容を見ると、卒業するのに必修の単位として体育は認めなくてよいと思っているようである。個人的に自由選択の余地を残しておくことによって、スポーツ実習を必修・強制されたくないという学生の思いと、履修して単位を認めて欲しい学生の両方の希望をかなえることができるものと思われる。

IV. 自由記述

「スポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、履修しますか」(Q7)と聞いた質問に対しては、「履修する」と答えたのはおよそ4分の3にあたる110名(75.3%)で、「履修しない」と答えたのは17名(11.6%)、「わからない」が18名(12.3%)、その他不明が1名(0.7%)であった。また「スポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要がありますか」(Q8)と聞いた質問に対しては、「必要」と答えたのは29名(19.9%)で、「不要」と答えたのは39名(26.7%)、「どちらともいえない」が77名(52.7%)、その他不明が1名(0.7%)であった。すなわち、スポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、多くの薬学部生は履修するつもりであるが、必ずしもその全てがスポーツ実習を卒業に必要な単位として認定すべきであるとは考えていない、とまとめられる。

(1) 上記質問に対する自由記述(Q9)では、まず「卒業単位認定が必要」と考える立場からは、「身体の成長に必要だと思うから」、「定期的な運動は物理的、精神的健康に不可欠」といったような、スポーツ実習の原理的な必要性を述べた者、更に「体力のピーク付近のこの年代でさらなる向上が不可欠である。授業がなければ運動などしない人も多くいる」というように、大学生にもスポーツは必要である上に、自主的判断力のある彼らにもある程度強制力のある形で提供することは彼らに効用・利益がある、という考え方は注目に値する。

その他、「他学部と不平等だと思うから」、「小・中・高では体育があるのに大学で行われないのは不自然だから」というように、他とのバランス上必要であると答えた者もあった。また、「クラスの人達と交流できるから」や「他の学部とも交流できると思うから」などというように、学部内や学部間の交流という効用も指摘された。更に「今は履修しようとしてもできない状態になっているから」というように、現状の制度が学生の選択の自由を保障していないという意見は重要である。

その他「大人になって、主なスポーツのルールもしらないようだとはずかしいから」、「スポーツを必修しないなんて、ありえない」という当然論もみられた。

それに対して、「卒業単位認定は必要ではない」という立場からの自由記述(Q9)としては、まず「運動は自由にするものだから」、「強制するものではない」という必修化に対する反対論が

あったが、更に「なくても運動するから」、「運動する、しないは個人の自由。あえてスポーツ実習で強制しなくても、する人はする」、「みとめられるからやるものではないから」というように学生の自主性や主体性への尊重という立場の見解がみられた。また「卒業単位が増えるのは良くないことだと思います」という負担増への警戒もみられた。

また、「大学は勉強する場でいいと思う。運動は体育会やサークルなどで」、「進路先にスポーツは必要ないように思えるから」、「今までの体育と現在のクラブ活動で十分だと思います」、「創薬に直結する内容ではないと思うから」、「サークルや部活などで運動すればよいのであって、あえてそれを授業でする必要はない」などのように、大学や自己の在学目的、若しくは就職などとスポーツ実習との関連性についての薄さ、或いは授業・ゼミとサークル活動・部活との区別、機能分担を主張するものがみられた。

更に「他にやるべきことがある」というように、限られた時間に優先順位を設定しているもの、或いは「めんどくさい」というようなスポーツ実習への単純な嫌悪もみられた。

更に、中間にあたる意見として、「必要とされればとらなくてはならないが、個人的にはやりたくない」、「認知する必要はないが、クラス指定はしてほしい。今のままではとりにくい」などがあつた。

薬学部に対して総合的考察を以下に述べる。スポーツ実習への認識として、まず、①スポーツ実習を必修にすべきであると考え、もちろん自らスポーツ活動に参加している学生がいる一方、④スポーツは嫌いで、自らもしないし、強制もしてほしくないという学生がいることは分かっており、これら両者はその層の両極端にあると言える。前者は Q8 から約 2 割程度、後者は Q7 からおよそ 1 割程度と推定される。問題はこれらの中間にいる大多数の学生の意見を知ることであつた。

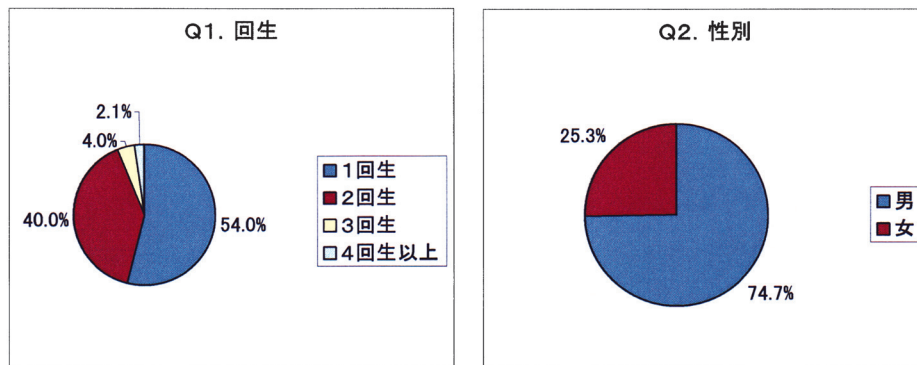
今回の調査から、その中間の学生は、②スポーツ実習を必修にしてもいい、と考えている者と、③スポーツ実習は必修にしなくてもいい、と考えている者に大別される。それぞれ理由や思いの程度は様々であるが、中間の学生にスポーツ実習必修化を支持するグループを加えたものが、おおよそ Q7 における「スポーツ実習は必修にしなくていいが、単位に認定してくれるならば履修する」と考える 75%の学生にあたると思われる。逆にこの 75%から①の 2 割程度を引いた残りの 5 割強程度が中間の二つのグループ (②と③) の和にあたると言える。これを整理すると以下のようなになる。

- | | | |
|--------------------|----------|--|
| ①スポーツ実習を必修にすべきである | 2 割程度 | |
| ②スポーツ実習を必修にしてもいい | } 5 割強程度 | |
| ③スポーツ実習を必修にしなくてもいい | | |
| ④スポーツ実習を必修にすべきではない | 1 割程度 | |

②と③のグループの数的比率を知ることは、残念ながら今回の質問項目からはできなかったが、全「薬学部生」対象のアンケート Q9 における、自由回答の内容を概観した様子から、回答に記述した学生の中では、おおよその②と③の立場の学生はほぼ半数程度ずつに分かれるという印象を持っている。しかし Q9 に無回答・無記入の学生も多いことから、この「印象」を直ちに全体的傾向として論ずることには限界がある。

3.1 農学部（スポーツ実習非履修者） 430名

I. 回生、性別



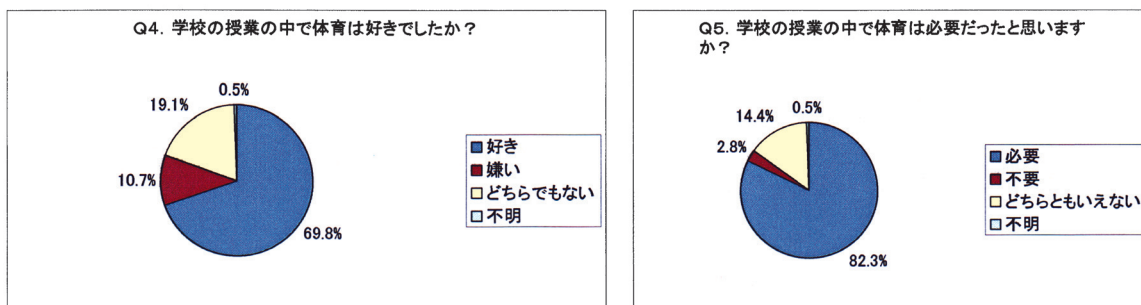
Q1. あなたの回生は？

430名中、1回生が232名（54.0%）、2回生172名（40.0%）。3回生が17名（4.0%）、4回生9名（2.1%）。

Q2. あなたの性別は？

男子が321名（74.7%）、女子が109名（25.3%）だった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q4. 体育は好きでしたか？

好き300名（69.8%）、嫌い46名（10.7%）、どちらでもない82名（19.1%）、不明2名（0.5%）。好きは、全学平均の77.6%を下回り、嫌いは、全学平均の5.7%を上回っていた。

Q5. 体育は必要だったと思いますか？

必要354名（82.3%）、不要12名（2.8%）、どちらでもない62名（14.4%）、不明2名（0.5%）。高校時代までの体育の授業は「必要」とする意見が多数を占めた（全学平均と比べて同等の値であった）。しかし、これが大学の体育に対しては、どちらともいえないが半数を占め（217名、50.5%）、「必要」が125名（29.1%）、「不要」とする意見が86名（20.0%）となった（後に示すQ8を参照）。

高校までの体育の授業に対しては、以下のような意見である。

Q6. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；体力の維持・向上、運動不足の解消・体がなまる・運動する機会・ふだん体を動かすことが少ないからスポーツ実習は必要、社会に出る上で体力は不可欠、体を動かすことは大

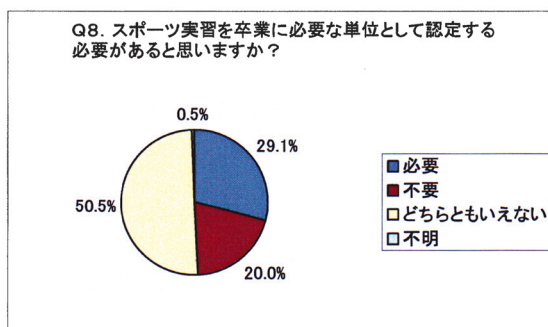
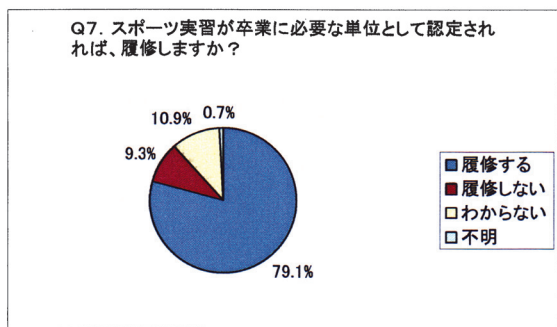
切。体育は健康維持に良いから。気分転換。勉強の息抜き。リフレッシュ。勉強だけだと気がめいる、体育をすると頭がすっきりして勉強に好影響を与える。楽しい・楽しかった・おもしろい、クラブ活動で体を動かすよりスポ実のほうが楽しいから。チームプレイ、仲間と協力し合う精神を培う。友達が出来ると、他の科目に比べて人間関係を深くできた、友情を深める。友だちと楽しめる。他学部生との交流ができる、スポ実はコミュニケーション能力を高めるのに役に立つ。お互いのコミュニケーションがとりやすくなる。協調性を育む。体育は精神面に好影響を与える、からだ元気だところも元気になる、勉強ばかりしていても心が歪みます。心の修養により。精神の健康に良い、勉強だけでなく心身ともに健全な人間を目指すべき。体育を通じて部活では得られない知見が得られた。勉強以外の科目があってもいいと思う。動物は動いてなんぼだから。勉強だけ出来てもだめだと思う。体育は教育の幅を広げる。スポーツをすることで学ぶことは多い。勉強ばかりのダメ人間(?)が大量発生するのを防ぐため。体を動かすことは人間にとって必要。運動も勉強と同等に必要。人間は頭だけで生きているわけではない。勉強だけ出来る人間を作っても社会に出て役に立たない。

このように、高校までの体育授業に対して、体力の必要性を感じているものが非常に多く、健康の重要性の認識、気分転換、楽しさが続き、コミュニケーション能力や友達作りといった人間関係を築くことに意義も見出す学生もみられ、体育の価値を多様に捉えていることが分かった。

不要な理由；疲れる。強制されてやるものではない。自分ひとりでも運動できる。部活で運動するから。得意な人が不得意な人をけなす雰囲気があるから。嫌いだから。

このように、不要な理由として、体育に対しての嫌悪を示す記述が多かった。

III. スポーツ実習の単位認定について



Q7. スポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、履修しますか？

履修する 340 名 (79.1%)、履修しない 40 名 (9.3%)、わからない 47 名 (10.9%)、不明 3 名 (0.7%)。

Q8. スポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか？

必要 125 名 (29.1%)、不要 86 名 (20.0%)、どちらともいえない 217 名 (50.5%)、不明 2 名 (0.5%)。

高校までの授業では体育が必要と考える農学部生は 80%を上回っていたが、大学の授業としてスポーツ実習を単位認定する必要があるかないかに関しては、どちらともいえないと明確に答えなかった学生が半数ほどいた。「必要」とする意見が「不要」をやや上回った。もしスポーツ実習

が卒業に必要な単位として認定されれば履修する学生が約 80%おり (Q7)、それでも履修しないと答えた学生が約 9%である (Q7) ことから考えると、農学部生の少なくとも半数以上は、履修希望する学生がスポーツ実習を履修できること、そして、その単位が卒業単位にカウントされることを希望しているものと推察できる。

Q9. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由;人間が育つ上で体育は必要だから大学でもやるべき。スポ実も一般教養だと思う。なぜ他学部では認定されているのに農学部では認定されないのか不公平だと思う。自由度が高いほうがいい。スポ実も単位として認定すればとる人が増えると思う。研究には体力が必要だから。文武両道。体を動かすことは大切。スポ実も心身の健康に良い。やはり頭でっかちはいかん。運動不足解消。スポーツでフェア精神を学ぶことは大切。農学部は比較的体力を必要とする。楽しいから。楽しいし認定されればこの上ない。高校までの体育のように出来不出来で判定されることが無い大学体育は良い。気分転換は必要。勉強ばかりではダメ。せっかくやるのなら単位が欲しい。スポーツ実習が単位認定されないこと自体が不自然と思う。なぜ認定されないのかが分からない。単位にならないがために履修しない人が周りに多くてもつたいない、できれば計 4 単位まで認めて欲しい。勉強しか教育と認めないのは偏った考えでこれでは健全な人格が育たない。工学部では単位になるのになぜ農学部では単位にならないのか分からない。他学部と比べおかしかった。他学部との差を無くして欲しい。体育会のクラブに入っているがスポ実はクラブでやっている以外のスポーツが出来る貴重な機会なのでできるなら単位認定して欲しい。チームスポーツはコミュニケーション能力が育つ。友人づくりに役に立つ。心身の活性化に大学でも必要。人間として頭だけでなく体を鍛えることは必要。単位としないと履修しないから。卒業単位に必要とでもしなければ他の科目の忙しさもあり履修する気になれないから。

高校時代までの体育の必要性の理由と同じ理由も多くみられたが、農学部がなぜスポーツ実習を単位認定してくれないのかという他学部との不公平感を訴える者もみられた。

では、高校までの体育は必要であるとその理由を記述した者の中で、大学ではスポーツ実習を単位認定する必要はないと記述した者がいるのは何故か。その理由を以下に全て示す。

以下に示すように、必修として認める必要はないという、強制されることに対する反対意見が圧倒的に多かった。

- ・大学に入ってまで運動を強制的にやらされるのは苦痛。
- ・したければ運動部かサークルでやればいい。
- ・強制でなく自由 (自主) 参加にすべき。
- ・卒業には不要だと思う。
- ・大切だけど卒業に必要ではなくてよいと思う。
- ・大学にきてまで体育をしたくないと思う人もいると思うから。
- ・スポーツはわざわざ卒業に必要なものとしなくても自分で積極的に行うべき。
- ・スポーツは自分で出来るから。成人は健康くらい自分で管理できるから。
- ・履修したいものだけが行えばよいと思うから。
- ・本人の意志によりけり。
- ・運動は必要だが大学生にもなれば自分で出来るから。

- ・認定しなくてもスポーツはするから。
- ・別に卒業に必要とするのではなく取りたい人が取れてそれが単位数に認定されればよいと思う。
- ・卒業に必要でなくとも履修したい人はするだろう。
- ・やりたいひとだけやればよい。必要になると単位取れるかどうかという心配事が増える。
- ・取りたい人は勝手に取る。
- ・体育がきついと思う人に強制すべきでない。
- ・大学生なんだから運動したければ自分で仲間をさがしてやれ！
- ・スポーツは必要だが強制する必要はない。

大学、或いは農学部は学問の場であって、スポーツ実習はそもそも大学に不要と考える者もみられた。

- ・大学にきてまで体育はいらないと思うから。
- ・大学にまでスポーツ（体育）を求めるべきでない。
- ・大学生になってまで・・・という思いがある。
- ・学業と直接関係ない。
- ・スポーツ実習は一切授業に関しない。
- ・農学部で特にスポ実を必要な単位とする理由が考えられないから。
- ・農学部の単位として指定される理由が良く分からない。
- ・スポーツ実習は学問の一つとして捉えていないから。
- ・大学は勉学が主な目的としているはずだから。
- ・とくにスポ実を重視する必要はないから。
- ・単位として認定されるからとるというのもどうかと思う。

その他、「スポーツ実習を履修すると他の科目がその時間帯にとれずに必要単位をそろえるのに負担が増えると思う人がいるかもしれない」、「スポーツ実習を時間割に組み込むと前後に他の授業の準備を入れられないため」というように、現状における単位履修・勉学の忙しさを理由に挙げる者や、「大学にきたら高校時代に出来なかった新しい種目ならやりたい(自転車、登山など)」、「単位として認めるのであればもっとそれにみあった内容を提供すべき」といったスポーツ実習の内容を問う重要な意見もみられた。

農学部実習などで体を動かす機会はあるから、ということを経験に挙げた者もみられたが、体育授業と農学部実習での身体活動とを同じ次元で考えていることを意味する。大学は学問の場であって、そもそも体育は要らないと考える学生がいることと併せると、特に研究を重視する研究大学としての京都大学において、スポーツ実習の目的をどこにおき、どのような内容の授業を行っていくのが良いのか、各学部の特色を出したスポーツ実習の在り方を全学的に検討していくことも今後の検討課題としたい。

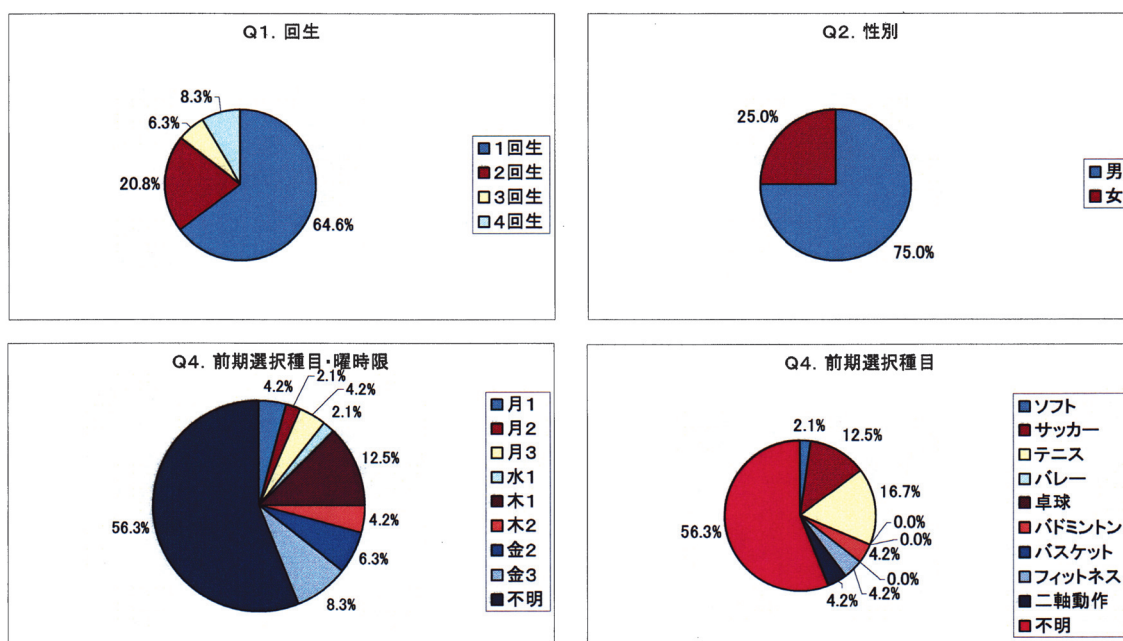
高校まで体育は必要と感じていても、大学では卒業に必要な単位として認定する必要はないと答えた理由の大半は、強制的にスポーツ実習はするものではない、取りたい人が取ればよいというものであった。つまり、Q8の質問を、スポーツ実習を必修単位として位置付ける必要はあるか？というふうに解釈して、それならば、必要はないと答えた者が多くいたものと思われる。高校まで体育は必要だと思っても、大学では卒業に必要な単位として認定する必要があるかどうか分か

らないと答えた者が半数いたのも、同様の理由が考えられる。Q7 でスポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば履修すると答えた者が 430 名中 340 名 (79.1%) いたことと併せて考えると、スポーツ実習は自由度の高い科目として位置付けて、学生がスポーツ実習を履修したら単位として認定して欲しい、と考えている学生が多いものと考えられる。

3. 2 農学部 (スポーツ実習履修者) 48 名

農学部については、医学部・薬学部に比べて、スポーツ実習の受講者が比較的多い。これは、スポーツ実習が教育職員免許状を取得する上で必須になっており、農学部生は医学部・薬学部に比べて教育職員免許状取得希望者が多いからであると思われる。今回のアンケートでも、スポーツ実習を後期に受講する (前期にも受講した) 農学部生が 48 名アンケートに回答したので、前述の受講していない農学部生のアンケートと比較対照することで、より偏りのないアンケートの解釈を行うことが出来るものと思われる。

I. 回生、性別



Q1. あなたの回生は？

48 名中、1 回生が 31 名 (64.6%)、2 回生が 10 名 (20.8%)、3 回生が 3 名 (6.3%)、4 回生が 4 名 (8.3%) であった。

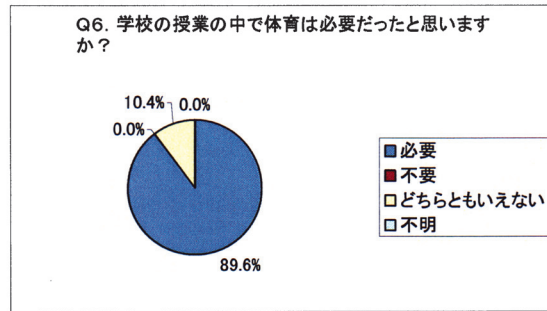
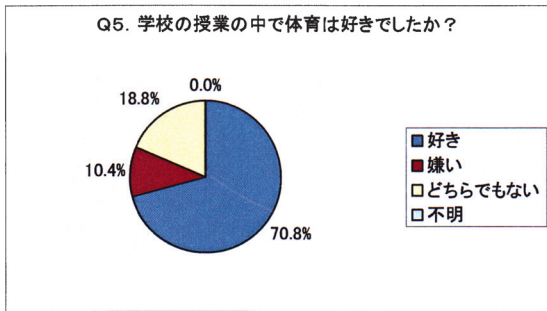
Q2. あなたの性別は？

48 名中、男子が 36 名 (75.0%)、女子が 12 名 (25.0%) であった。

Q4. 前期に履修した種目は？

ソフト 1 名 (2.1%)、サッカー 6 名 (12.5%)、テニス 8 名 (16.7%)、バドミントン 2 名 (4.2%)、フィットネス 2 名 (4.2%)、二軸動作 2 名 (4.2%)、不明 27 名 (56.3%) であった。

II. 大学入学以前の体育授業に対する印象



Q5. 体育は好きでしたか？

好き 34名 (70.8%)、嫌い 5名 (10.4%)、どちらでもない 9名 (18.8%)。

Q6. 体育は必要だったと思いますか？

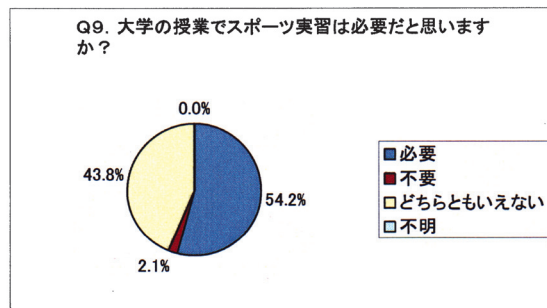
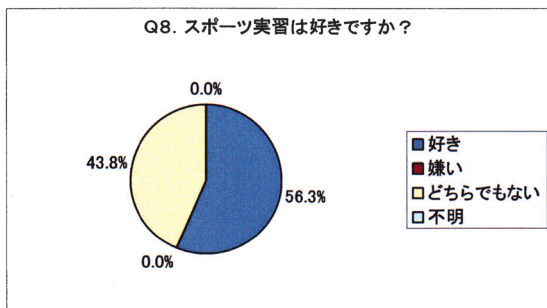
必要 43名 (89.6%)、どちらでもない 5名 (10.4%)。

Q7. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；気分転換。運動不足の解消。不必要な理由がない。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。体を動かす動機やよい機会。友達とのコミュニケーションや交流。気持ちよい。ストレスの発散。

不要な理由；記述なし

III. 本学のスポーツ実習に対する印象



Q8. スポーツ実習は好きですか？

好き 27名 (56.3%)、どちらでもない 21名 (43.8%)。

高校までの体育授業が嫌いだったと答えた人数は 5 名であったが、大学の体育を受講したら 0 名に減少した。

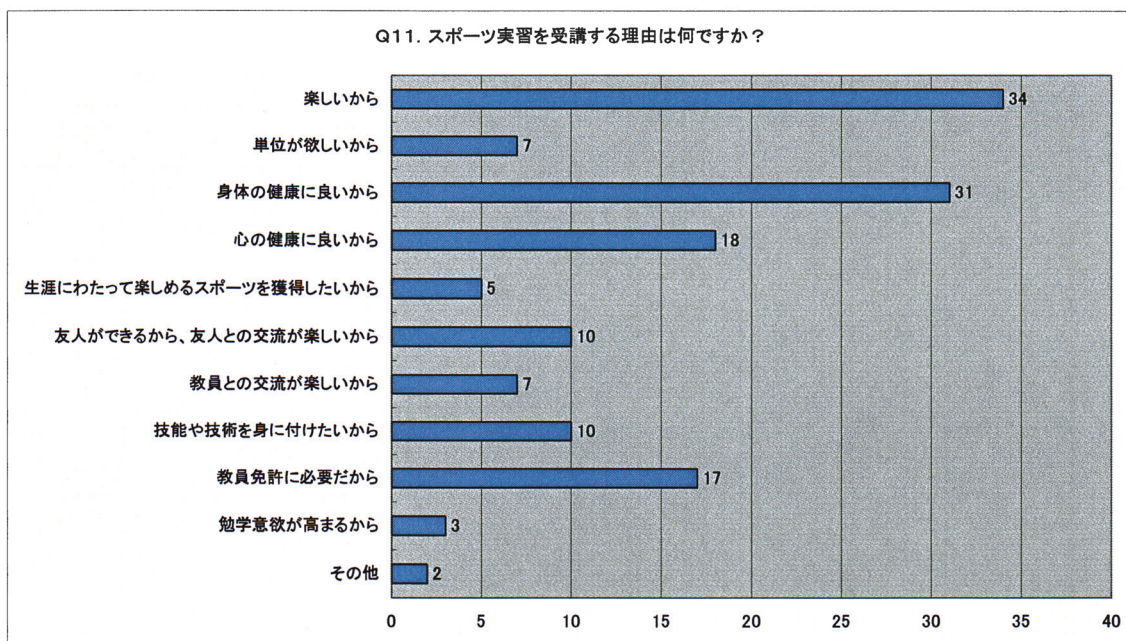
Q9. 大学の授業の中でスポーツ実習は必要だと思いますか？

必要 26名 (54.2%)、不要 1名 (2.1%)、どちらともいえない 21名 (43.8%)。

Q10. 必要、あるいは不要と答えた理由は？

必要な理由；友達との交流。気分転換。運動の機会。運動不足の解消。楽しい。基礎体力をつける。健康に運動は不可欠。体を動かすよい機会。体を動かすための知識を得る。

不要な理由；無理に履修する必要はない。体力で維持すればよい。



Q11. スポーツ実習を受講する理由は？（複数回答可）

- 1位 楽しいから（34名）
- 2位 身体の健康に良いから（31名）
- 3位 心の健康に良いから（18名）
- 4位 教員免許に必要なだから（17名）
- 5位 友人ができるから、友人との交流が楽しいから（10名）
- 5位 技能や技術を身に付けたいから（10名）
- 7位 単位が欲しいから（7名）
- 7位 教員との交流が楽しいから（7名）
- 9位 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから（5名）
- 10位 勉学意欲が高まるから（3名）
- 11位 その他（2名）

IV. 本学のスポーツ実習に対する要望

Q12. スポーツ実習に満足していますか？

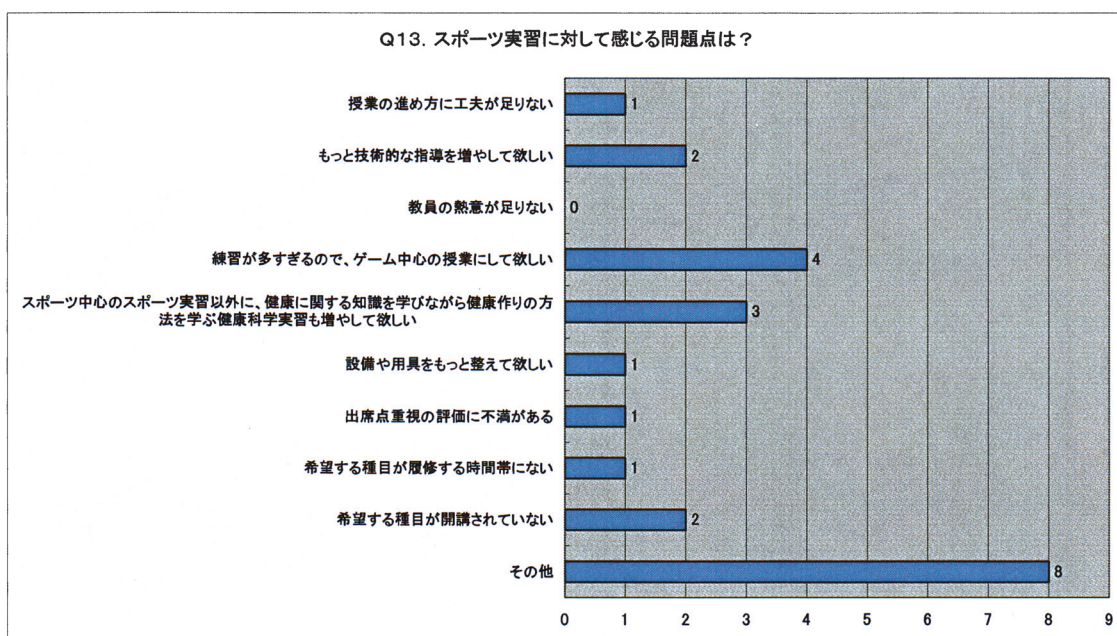
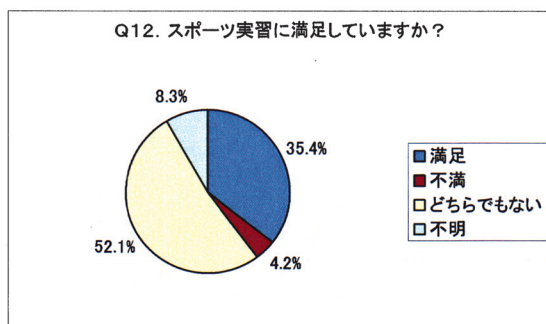
満足 17名（35.4%）、不満 2名（4.2%）、どちらでもない 25名（52.1%）、不明 4名（8.3%）。

どちらでもないが、満足を上回っており、今後スポーツ実習の内容の改善の必要性があることが示唆された。

Q13. スポーツ実習に対して感じる問題点は？

- 1位 その他（8名）
- 2位 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい（4名）
- 3位 スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい（3名）

- 4位 もっと技術的な指導を増やして欲しい (2名)
- 4位 希望する種目が開講されていない (2名)
- 6位 授業の進め方に工夫が足りない (1名)
- 6位 設備や用具をもっと整えて欲しい (1名)
- 6位 出席点重視の評価に不満がある (1名)
- 6位 希望する種目が履修する時間帯にない (1名)



V. スポーツ実習について考えていること、感じていることを自由に書いてください。

Web 登録なので同時時間帯の同種目に女子がいるかどうか分からず不安。スポーツ実習は単位に認定されないが、良い息抜きやリフレッシュになる。教員免許を取得するためにスポーツ実習を受けなければならない理由が分からない。スポーツ実習が学部により必修だったりそうでなかったりする基準が分からない。体を動かしたい。農学部もスポーツ実習をクラス指定にして欲しい。

スポーツ実習を履修している農学部生で、大学での体育を不要と答えた者は1名のみであった。履修していない農学部生には、大学で体育は卒業単位に必要とすることはないと考える学生が430名中86名(20.0%)みられた。大学体育必要論派も不要論派も、高校までの体育の必要性は認めていることは共通している。このことを考えると、不要論派は、大学には体育は必修にまでしなくて良いという考え方を持つ者であることが考えられるが、もう一つは、大学でのスポーツ実習の履修経験を経ると、大学体育の価値や重要性を感じる学生が増えることも推察される。

結び

スポーツ実習は京都大学でどのような位置付けにあり、何を目的として、その目的を果たすためには何をどのように実施すれば良いのか。本調査によって、それを全学的に検討するための基礎資料を得ることができた。また、京都大学には意外にスポーツ好きの学生が多いことが明らかとなった。一部にはスポーツ実習に対して嫌悪感を抱く学生もみられたが、大半の学生はスポーツ実習の授業を楽しんでいると感じており、スポーツに対して何らかの意義を見出していることが分かった。ただし、現在のスポーツ実習の在り方については、開講種目の拡大、授業内容、設備充実などの点で改善を要する点が見られたので、担当教員と話し合いを進めながら、改善の歩みを粘り強く続けていきたいと考える。

医学部・薬学部・農学部がスポーツ実習を卒業単位に認めていない（医学部医学科は、平成18年度より、D群として登録した場合にも、2単位まではA群として卒業単位に認定する方針に変更した）現状に対して、当該学部のスポーツ実習非受講生からのアンケート結果では、D群科目を卒業単位に認定する必要があるかどうかについては意見が分かれた。しかしながら、これらの3学部の学生の中でも、スポーツ実習の受講経験がある学生では、スポーツ実習を卒業単位として認定してほしいとの意見が大半を占めた。もともとスポーツ実習を重視していた学生が受講していたものと思われるが、試みに受講してみた経験によって、スポーツ実習に対する意見は新たに形成される、とも言えよう。

また、今回のアンケートによって、当該学部の学生の多くが、単位が認定されれば履修したいという希望を持っていることが明らかとなった。ただし、スポーツ実習を強制的に履修させられるのではなく、学生の意志を尊重して、選択の自由を残す方向を望む意見が多かった。

今回のアンケート調査はD群科目の中のスポーツ実習についてのみ行われたものであるが、講義科目も含めてD群科目全体の在り方を考え、その中でスポーツ実習の内容と方法及びカリキュラム編成を考察していく必要があるだろう。今後の検討課題として、D群科目を卒業に必要な単位として認定するか、或いは認定しないかを判断する時に、前提として次のことを考えておく必要があると思われる。

(1) 医学部・薬学部・農学部では、D群科目の講義科目（A・D群ないしB・D群として開講されている科目）の場合、D群以外のA群ないしB群として登録した場合には卒業に必要な単位として認定されるのに、「D群」としては認められない制度設計がなされている。この現状を考えると、「修得すべき全学共通科目の単位数」（卒業に必要な単位）とは何か。また、A、B、C、D群といった科目群を編成して卒業単位認定のための基準を作り、履修させていくことの意味は何か。このようなことを再検討する必要があるものと思われる。なぜ医学部・薬学部・農学部はD群科目をそのような卒業単位認定換算から外してきたのか。論拠は何なのか。それは、D群科目が抱える問題点とどのように関わっているのか。これらの点について改めて明確にした上で検討し議論する必要があると思われる。

これらは、京都大学の各学部が、D群科目で重視されている「健康教育」、「スポーツ教育」の教育目標・内容及び方法をどのように捉えているか、という問題ということもできるだろう。学部間の対応の違いは、このD群科目の内容についての見方・考え方の違いを反映しているものと思われる。

(2) 全学共通教育としての D 群科目の意義、その中での「スポーツ実習」の意義は何か。本アンケートはそれを明らかにしていく貴重な手がかりを与えるものと思われる。D 群科目の授業内容は、関連諸科学の発展を受けて、この 10 年間で大きく再編成され、体系化されてきた。

近年、D 群科目として提供されているのは次の諸科目である (*印は平成 18 年度不開講)。1) 講義科目としては、「健康科学概論」、「運動科学」、「健康科学」、「発達論*」、「人間発達学」、「運動医学」、「スポーツ医学」、「体力医学」、「生活習慣と生体機能障害」、「環境汚染と健康」、「救急蘇生法入門」、「東洋医学入門」。2) 基礎ゼミとしては、「細胞生理学ゼミ」、「呼吸循環機能論ゼミ」、「応用運動医学ゼミ」、「神経・筋機能論ゼミ」、「行動神経機能論ゼミ」などがある。3) 新入生向け少人数セミナー (ポケット・ゼミ) としては、「総合人間学ゼミナール*」、「環境適応論入門*」などが開講されてきた。4) 実技・実習科目では、「スポーツ実習 I」、「スポーツ実習 II」のほかにも、「スポーツ指導法実習」、「健康科学実習*」、「地域調査論基礎ゼミナール*」、「登山実習*」、「スキー実習*」など多彩な実習科目がある。「スポーツ実習」をはじめとする実技・実習科目は、専任教員の他に各種スポーツ指導の専門的な資格を持った指導経験豊かな講師陣が授業を担当しており、近年では「フィットネス」などの新たな種目も提供されてきた。

アンケートに表された意見や要望をもとに、このような D 群科目全体の内容の変遷を視野に入れつつ、京都大学における教育・研究の基盤として、各学部で D 群科目を活用した健康教育・スポーツ教育の在り方を議論していただけることを願っている。

(3) 健康教育や運動教育、特に健康づくりのための基礎的な知識・技能を修得させ、実際に自分自身や社会の健康を維持増進するための教育は、教養教育の一環としてもまた研究生生活の基盤づくりとしても必要不可欠のものとして、本学だけでなく我が国の高等教育全体の歴史の中でも大事にされてきた。現在、京都大学においては、「健康」・「スポーツ」関連の学生支援については、次のような専門機関が設置され活動している。

1) 保健管理センターでは、各種の疾患や傷害への医療的対応の他に健康診断とそれに基づく予防医学的な指導援助の取り組みが行われており、その一環として D 群科目「健康科学概論」等が提供されている。カウンセリングセンターでは、学生にうつ病をはじめとする精神疾患が増加している現状に対応して、「心の健康」の回復・維持・増進をはかる取り組みが充実され継続されてきた。また、2) 体育指導センターが高等教育研究開発推進センターに改組されて設置されたスポーツ指導・相談室では、課外運動クラブの部員で、トレーニングや試合での怪我やその後遺症に悩む学生が 10～15%にのぼっており、近年更に増加傾向にあることを重視し、具体的・総合的な健康生活設計・体力づくりプログラム・傷害からの機能回復プログラムが提供されてきた。また、保健管理センターと連携した専門的な指導援助が行われるとともに、全学共通科目を通じたいわば健康についての基礎教育として、「スポーツ医学」、「発達論」、「スポーツ指導法実習」、「総合人間学ゼミナール」などの多彩な D 群科目が提供されてきた。3) 医学部からも D 群科目「人間発達学」、「健康運動学」、「救急蘇生法入門」、「東洋医学入門」など、健康づくりの基礎となる重要な講義が提供されている。

本学全体で取り込まれてきた上記のような貴重な健康指導・スポーツ指導と、「全学共通教育」の中での「D 群」の講義と実技実習とは、区別・連関を持ちつつ、独自の健康教育・スポーツ教育を担い展開するという任務をもって実施されている。今後は、D 群科目の固有の意義と課題を改めて検討し、それをもとに、各学部で D 群科目が卒業単位として認定されるとすれば更にどのようなカリキュラムが必要であり妥当であるのか、また卒業単位から自由に修得できる科目群として構想す

る場合にはどのような提供方法があるのかなどについて柔軟に考えていきたい。

基礎研究の成果に基づいて、大学での健康教育・スポーツ教育の内容は豊かになってきた。京都大学においても上記のような多彩な D 群科目が開講されるとともに、学内外の健康指導やスポーツ教育活動と連携した広い意味での教養教育、その一環としての健康教育・スポーツ教育が試みられてきたと言えよう。このような教育の全体の中で、スポーツ実習の意義と課題を改めて再検討する時期に来ていると思われる。

先日、薬学部のある教授から以下のような要望をお聞きした。「理科系学部の先生方が特に学生に望むのは、まず第一に研究能力であろうから、そのことを踏まえて京都大学独自のスポーツ実習の目的を打ち立て、京都大学独自のスポーツ実習の在り方を模索してほしい。研究を推進する上で重要なのは個人間のコミュニケーション能力で、これが欠落していると、個人の能力は優れていても、思うように成果が出なかったり、他人のアイデアに関心を持ったり、他人に質問することができない。そのような学生を見ていると、とにかく研究面で伸びない。ぜひ、スポーツ実習で体力、健康面だけでなく、人と人が関わる能力も身に付けられるような工夫をして、そのこと自体もスポーツ実習の目的に挙げて、研究を標榜する京都大学ならではのスポーツ実習をやっていただきたい」。

スポーツ実習の目的として、平成 17 年度全学共通科目履修の手引き 80 ページに、社会的交流技能を養成すること、が掲げられているが、今後、スポーツ実習を通じてどのような効果が得られているのか、そのことが勉学面・研究面とどのように関連しているのかなどの調査・研究を推進し、京都大学としてスポーツ実習をどのように位置付けるのかについて、全学的に改善を図っていきたいと考える。各学部の意志・考え方を尊重し、学部ごとにそれぞれ固有のスポーツ実習のあるべき姿を明確にしていき、それに対応したスポーツ実習を模索していく努力も行っていきたい。

先日、ある理系の大学院生から嬉しい頼りを頂いた。「カナダに研究留学に行って、英語が通じず、研究室で誰にもかまってもらえず、孤立して悩んでいたんです。ある日、ボス（教授）が、テニスが好きであることに気が付いて、『僕もテニスができます。僕とテニスをして下さい』と申し出て、一緒にテニスをしたんです。それがとっても楽しかったんです。それから、たびたび誘ってもらい、一緒にテニスを楽しみました。そのへんから、教授や周囲の院生さん達と片言ですが、気持ちが通うようになって、いつの間にか、研究にも溶け込んでいる自分があったんです。これも、2 回生の時にスポーツ実習で 1 年間教えていただいたテニスの技能があったおかげです。考えてみたら、研究もチームワークだし、分からないこと、できないことにチャレンジして、できなくても、駄目でもやってゆく。正に、スポーツと研究は私の中でつながっていることに気が付きました」。

何が身を助けるか分からない貴重な体験談であるとともに、スポーツ実習の一つの意義を指し示してくれていて興味深い。「教養」とは何か、「教養」にはどのような意味があり、どのようにして高等教育の教育体系の中に位置付けるのが妥当かについては、今後更に検討を重ねる必要があるだろう。ただ、「専門性を助けて支えること」・「仲間とのコミュニケーションの力をつけること」が「教養」に含まれる重要な機能だとすれば、スポーツ実習でテニスの授業を受けることによって学習された技能と交流力は、その大学院生の人生の中で有効に働く生きた「教養」の一つになっていたものと思われる。この報告書が、京都大学の教養教育の発展、スポーツ実習の改善の一助となることを願う次第である。

スポーツ実習に関するアンケート

全学共通教育システム委員会
 教養教育専門委員会
 D群科目部会

このアンケートは、スポーツ実習を今後より充実したものにしていくため、スポーツ実習を受講された学生みなさんに率直なご意見を伺うものです。氏名や学籍番号を記入する必要はありませんし、回答は統計的に処理されますので、プライバシーは完全に保護されます。成績評価とも一切関係ありません。回答していただいた結果は、後日何らかのかたちで公表し、スポーツ実習の改善に役立てていこうと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

なお、このアンケートは予備登録時に記入していただきますが、その際に提出できなかった場合には、10月14日（金）までに共通教育推進部の提出箱に提出してください。よろしくお願いいたします。

記入は、番号を○で囲んでください。

I. あなたの回生、性別、所属学部等をお聞きします。

Q1. あなたの回生を教えてください。

1. 1回生 2. 2回生 3. 3回生 4. 4回生以上

Q2. あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

Q3. あなたの所属学部を教えてください。

1. 総合人間 2. 文 3. 教育 4. 法 5. 経済
 6. 理 7. 医 8. 薬 9. 工 10. 農

Q4. 前期に選択した種目はなんですか？

() 曜日 () 限

種目の番号を○で囲んでください

1. ソフト 2. サッカー 3. テニス 4. バレー 5. 卓球
 6. バドミントン 7. バスケット 8. フィットネス 9. 二軸動作

II. 本学入学以前の体育授業に対する印象をお聞きます。

Q 5. 学校の授業の中で体育は好きでしたか？

1. 好き 2. 嫌い 3. どちらでもない

Q 6. 学校の授業の中で体育は必要だったと思いますか？

1. 必要 2. 不要 3. どちらともいえない

Q 7. Q 6. で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

[]

III. 本学の体育（スポーツ実習）に対する印象をお聞きます。

Q 8. スポーツ実習は好きですか？

1. 好き 2. 嫌い 3. どちらでもない

Q 9. 大学の授業でスポーツ実習は必要だと思いますか？

1. 必要 2. 不要 3. どちらともいえない

Q10. Q 9. で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

[]

Q11. スポーツ実習を受講する理由は何ですか？（複数回答可）

1. 楽しいから
2. 単位が欲しいから
3. 身体の健康に良いから
4. 心の健康に良いから
5. 生涯にわたって楽しめるスポーツを獲得したいから
6. 友人ができるから、友人との交流が楽しいから
7. 教員との交流が楽しいから
8. 技能や技術を身に付けたいから
9. 教員免許に必要なから
10. 勉学意欲が高まるから
11. その他の理由

[]

IV. 本学のスポーツ実習に対する要望をお聞きます。

Q12. スポーツ実習に満足していますか？

1. 満足 2. 不満 3. どちらでもない

Q13. 上記で「満足」と答えた方も含め、スポーツ実習に対して感じる問題点は？

(複数選択可)

1. 授業の進め方に工夫が足りない

具体的に書いてください

[]

2. もっと技術的な指導を増やして欲しい

3. 教員の熱意が足りない

4. 練習が多すぎるので、ゲーム中心の授業にして欲しい

5. スポーツ中心のスポーツ実習以外に、健康に関する知識を学びながら健康作りの方法を学ぶ健康科学実習も増やして欲しい

6. 設備や用具をもっと整えて欲しい

具体的に書いてください

[]

7. 出席点重視の評価に不満がある

具体的に書いてください

[]

8. 希望する種目が履修する時間帯にない その種目は ()

9. 希望する種目が開講されていない

新たに開講を希望する種目は ()

10. その他

[]

V. スポーツ実習について、考えていること、感じていることを自由に書いてください。

A large, empty rectangular box with a thin black border, intended for the respondent to write their thoughts and feelings about the sports practice. The box is currently blank.

ご協力、ありがとうございました。

スポーツ実習に関するアンケート

(医学部・薬学部・農学部用)

全学共通教育システム委員会
教養教育専門委員会
D群科目部会

このアンケートは、スポーツ実習を今後より充実したものにしていくため、D群科目を卒業に必要な単位として認定していない医学部、薬学部、農学部の学生のみなさんに率直なご意見を伺うものです。氏名や学籍番号を記入する必要はありませんし、回答は統計的に処理されますので、プライバシーは完全に保護されます。成績評価とも一切関係ありません。回答していただいた結果は、後日何らかのかたちで公表し、スポーツ実習の改善に役立てていこうと考えています。ご協力よろしくお願いいたします。

なお、このアンケートは成績表交付時に記入していただきますが、その際に提出できなかった場合には、10月14日（金）までに共通教育推進部の提出箱に提出してください。よろしくお願いいたします。

記入は、番号を○で囲んでください。

I. あなたの回生、性別、所属学部等をお聞きします。

Q1. あなたの回生を教えてください。

1. 1回生 2. 2回生 3. 3回生 4. 4回生以上

Q2. あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女

Q3. あなたの所属学部を教えてください。

1. 医（医学科） 2. 医（保健学科） 3. 薬 4. 農

II. 本学入学以前の体育授業に対する印象をお聞きます。

Q 4. 学校の授業の中で体育は好きでしたか？

1. 好き 2. 嫌い 3. どちらでもない

Q 5. 学校の授業の中で体育は必要だったと思いますか？

1. 必要 2. 不要 3. どちらともいえない

Q 6. Q 5. で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

[]

III. 現在、医学部、薬学部、農学部では、スポーツ実習（D群科目）が卒業に必要な単位として認定されていません。このことについてお聞きます。

Q 7. あなたはスポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されれば、履修しますか？

1. 履修する 2. 履修しない 3. わからない

Q 8. あなたはスポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか？

1. 必要 2. 不要 3. どちらともいえない

Q 9. Q 8. で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

[]

IV. スポーツ実習について、考えていること、感じていることを自由に書いてください。

[]

ご協力、ありがとうございました。

自由記述回答（7学部用アンケート）

Q7. Q6（学校の授業の中で体育は必要だったと思いますか？）で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

総合人間学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体育が全ての授業の中で一番好きです。無くしてしまったら困ります。
- ・ 体を動かすことで頭もリフレッシュされる。
- ・ 体力の維持につながる。自分一人では運動しない。
- ・ 体を動かしてわかることもあるから。
- ・ 単純に好きだから。
- ・ 運動は体にいいから。
- ・ 学生は体力が低下しやすいから。
- ・ 適度な運動は必要だと思います。
- ・ ないと学校に行く楽しみがないから。
- ・ 大学に入ると自主的に運動しないとその機会がないので、授業であるとその機会が得られ助かるから。
- ・ あるとないとでは週の充実度が違う。
- ・ 椅子に座るだけの授業なんてくそつたれ！
- ・ まあ運動する時間ぐらい要る。
- ・ 適度な運動は必要だと思う。
- ・ デスクワークでは得られないものが得られます。健康増進になる。
- ・ 最低限体を動かす時間は必要だと思う。
- ・ 体を動かすことは生きるうえで大切だから。
- ・ ストレス発散できる。交流が深まる。
- ・ スポーツが好きだから。
- ・ 受験勉強の息抜き
- ・ 楽しいから
- ・ 息抜き、ストレス発散になる。
- ・ 体力を付けるために必要だから。
- ・ 体は動かすべき
- ・ スポーツと勉学は自転車の前輪と後輪、、、だそうです。
- ・ 時には運動もすべきだと思うので。
- ・ 一般人は運動不足になるから。
- ・ 息抜きになるから。
- ・ 運動して楽しむことが良いことだから。
- ・ たまには体を動かした方が気分転換にもなって、肉体、精神的に良いから。
- ・ 勉強の気分転換になるから。

文学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体を動かすことの面白さを提供していくためにも必要だと思うから。
- ・ 気分転換
- ・ 運動不足解消
- ・ 部活動に所属していない生徒に運動の機会を与えるため。
- ・ 不必要である理由がない。
- ・ 勉強ばかりではしんどい。
- ・ 楽しかったから
- ・ 体を動かすのは大切だから
- ・ 学業にあたってある程度の運動量を確保することは重要であるから。
- ・ 体がなまる
- ・ 基礎体力をつけるのに体育が必要だから
- ・ 運動は健康に不可欠!!
- ・ 体を動かすことは、必要だと思う。
- ・ 基礎体力、運動能力を身につけられるから。
- ・ 体を動かすことも必要だと思うから。
- ・ 定期的に運動する機会を持つのは大切だと思うから。
- ・ 様々な科目が必要という意味で
- ・ 気分転換になるし、普段体を動かす機会が増えるから。
- ・ 体を動かすことは必要だから
- ・ 運動することは自分の健康を維持する基礎だから
- ・ 体育以外に運動する機会がない人にとっては運動不足にならないためのよい機会だと思うから。
- ・ 部活（運動系）に入っていない人は体がなまって弱くなるし、体育だとコミュニケーションがとれやすくてクラスの仲が良くなる。
- ・ 体を動かすことで勉強の息抜きになったので。
- ・ あまりに運動しないと体がくさるから。
- ・ 勉強だけじゃおもしろくないから。
- ・ 単に好きやから
- ・ 運動は大切だとおもうから。
- ・ たまの運動は必要であるから。
- ・ 最低限の運動ができる
- ・ 運動部でない人は運動不足になるから。
- ・ 体を動かすことは、健康のためになるから。
- ・ 体を動かすことで、よいストレスの発散になった。一週間の授業にメリハリを与えた。
- ・ 座ってばかりだと疲れるので。
- ・ 教室で勉強ばかりは嫌。
- ・ 体をうごかすのは良いから。

- ・ 普段運動をしていないので基礎体力を作るため。
- ・ 身体を鍛えることは大事であると思うので。
- ・ 楽しいから
- ・ 身体を動かす機会は必要だし、勉強や人間関係の構築にも役立つ。
- ・ 体を動かしたいから
- ・ リフレッシュできるから
- ・ 心もしくは脳と体は一元的なものだから。
- ・ 本格的に運動する機会は、部活以外にないから。
- ・ 運動する機会を提供してくれる。
- ・ 机に向かっての勉強だけだとつまらない。
- ・ 体を動かすのは健康に良いと思うから。
- ・ 体を動かすことは大切だと思うから。
- ・ 体を動かすことが、それ以外でないから。
- ・ 運動しない人より運動する人の方が脳が活性化すると聞いたので。
- ・ 運動不足になるから

【「不要」と答えた者】

- ・ 高校時に、芸術科目を軽視してまで体育の時間が確保されていたことが不満だった。

教育学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体を動かすことで健康維持のたすけになるから
- ・ 体を動かす機会がほとんどなかったから
- ・ 運動不足になりがちな学生が多から
- ・ 適度の運動は勉強する上でもプラスになり、必要だと思うから
- ・ 座学ばかりはきつい
- ・ 体を鍛えるきっかけとして
- ・ 体を動かすことが好きだから
- ・ 健康にいいし、なにより、人間関係
- ・ 体を動かしたい
- ・ 体動かしたいから
- ・ 運動の機会がへる
- ・ 健康維持
- ・ 体づくり、チームワーク、ストレス解消
- ・ 体を動かす時間は必要
- ・ 体育がないと、ただでさえ運動不足なのに、さらに運動不足で不健康になりそうだから
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を動かすことによって得るものは大きいから
- ・ 気分転換、運動不足解消に必要
- ・ 体をうごかすことで生活上のいろんなリズムがととのえられるから

- ・ 気分転換
- ・ ストレス解消
- ・ なんか勉強では得られぬレнтаイ感
- ・ 健康によろしい？
- ・ 体を動かすとスッキリするし、仲良くない人とも話したりして楽しめる機会だから
- ・ たのしい
- ・ 現代の子どもは運動不足だから
- ・ 運動不足の解消、気分転換
- ・ 運動不足になるから、ストレス解消のため
- ・ 日常生活で運動するのが体育の授業のときだけだったから
- ・ 週に数回くらいは体を動かすべき

【「不要」と答えた者】

- ・ 授業中だらけた雰囲気、内容も役に立つとは思えなかった

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ 個人の自由です

法学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 運動習慣が身につくため
- ・ スポーツしたい
- ・ 楽しいから
- ・ 授業だけではやっていけない。
- ・ 運動は大切だから
- ・ 勉強ばかりだとストレスがたまるので、その発散のために必要。体力をつけるため。
- ・ 健康維持
- ・ 楽しいから
- ・ 体を動かしたい。
- ・ 運動になる
- ・ 楽しいから
- ・ 特に受験前等には貴重な気分転換の機会。
- ・ ストレス発散のため
- ・ 運動不足解消等
- ・ 健康でいるためには運動しなくてはならないから
- ・ 良い運動になる
- ・ クラブに入っていない人には、運動する機会になる。
- ・ 眠気覚まし
- ・ 気分転換になるし、運動不足の解消になるから。
- ・ 健康のため。
- ・ 運動不足解消のため

- ・ 楽しいから
- ・ 教室の中での授業だけでは心身の健康を損ねそうだから。
- ・ ちょっとしたことで疲れをかんじるようになるから（体を慣らすため）
- ・ 心技体が万全で、はじめて一人前の人間だと思うから。
- ・ 体を動かせる
- ・ 体を動かすことも勉強の1つ
- ・ コミュニケーション
- ・ 身体を動かす機会は必要
- ・ 運動不足になるから
- ・ 体動かさんとあかん
- ・ 運動不足を防ぐため。
- ・ 体を動かす機会が少ないから
- ・ 体を動かす機会が少ないから
- ・ 勉強だけではダルいから
- ・ 体づくりのため
- ・ 運動するいい機会となるから。
- ・ 運動は健康維持において重要だから。
- ・ 楽しいから。
- ・ 体を動かすと happy になるから
- ・ 運動不足になるから
- ・ 適度の運動は必要
- ・ いるから
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を動かさないと、気分をよくできない。
- ・ 受験勉強中などに体を動かすことを忘れがちだから
- ・ 楽しいから
- ・ 体育の授業以外で自分から運動する機会はなかなかつくりにくいから体がなまって体力が落ちてしまう
- ・ おもしろいから
- ・ リフレッシュになる
- ・ 授業として運動を取り入れることは頭への良い刺激になり、他の授業のストレスも解消されるから。
- ・ 身体を鍛えることは健全な精神を育むから。
- ・ 体を動かすことは大切だし、スポーツを通じて色々学べるものもあるから。
- ・ 体を動かすことは健康維持にとってよいことだから。
- ・ 社会に出て行く上で学力だけでなく、体力は必要だから。
- ・ 楽しいから
- ・ 体力がないと何もできないから
- ・ 運動不足とストレス解消

- ・ 体を動かすことに損はないと思うから。
- ・ 気分転換にもなるから。
- ・ 体を動かす時間がある方がいいから。
- ・ 運動しないと不健康

【「不要」と答えた者】

- ・ あってもやらなかったから

経済学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体と心のリフレッシュ
- ・ 体力は大切
- ・ 息抜き
- ・ 体がなまるから
- ・ 体を動かすことは大事だから
- ・ いい気分転換になるから
- ・ リフレッシュになるので
- ・ 運動は大切
- ・ あまり勉強だけでは気が滅入るし、個人的にスポーツは好きなので
- ・ 体を動かすことが自分1人ではなかなかしないから
- ・ 多様なスポーツを体験できたから
- ・ 心と体の休息には必要でした
- ・ 体を動かすいい機会だから
- ・ 運動する機会があるから
- ・ 最低限必要な運動
- ・ 健康維持
- ・ 体を動かす時間はいると思うから
- ・ 体力は必要だし、サークルや部活ほど時間がかからずに済むから
- ・ 体力を養うため
- ・ 体を動かしたい
- ・ 色々な人とコミュニケーションをとれるから
- ・ 体を動かせ
- ・ 運動不足予防
- ・ うんどう不足になるから

理学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 知識と体力は平行してつけるべきだと思うから。
- ・ 適度な運動が必要
- ・ 身体と頭は密接に関係しており、身体を動かすことで脳も活性化されると思っているから。

- ・ 健全な肉体にこそ、健全な魂がやどる。頭を鍛えるのと同時に体も鍛えないと。
- ・ 体を動かす機会があまりないから。
- ・ 運動は大事
- ・ 運動する時間は設けるべき。
- ・ 年齢が上がるにつれ、運動する機会というものは徐々に制限される傾向にある。そういった中で、「授業」として運動の時間を確保することは、体力的にも、また、精神的にも有意義であると思う。
- ・ たまには運動
- ・ たまには運動しないとストレスがたまる。
- ・ 机に座ってばかりだとあきるし、何より運動が好きだから
- ・ ないと運動しない。気分変えるのにいい。
- ・ 楽しい。学部の友達とできる。
- ・ 体があつてこそ
- ・ 学力バカはいらない。勉強だけで動けないのはカスである。
- ・ 運動不足解消のため
- ・ ストレスの発散
- ・ 他に運動する機会が全くないから。
- ・ 勉強ばかりではなく時には体を動かすのも必要だと思うから。
- ・ 体は動かしたほうがいいと思うから。
- ・ 運動は大事です。
- ・ 基礎体力作り。チームワークとかを身につける。
- ・ スポーツはやっぱり生涯すべきものなので有名なスポーツのルールとかは知っておくべき。
- ・ 運動不足解消のため。
- ・ 体はやっぱり動かさないと。
- ・ みんなでさわげるから
- ・ 体が動かせて楽しいから
- ・ 体を動かせば気が晴れるから。
- ・ 普段の生活の中で、定期的に体を動かせる機会ができる。
- ・ 体力は必要だから。
- ・ 気晴らし
- ・ 気分転換になる。体を動かすこと自体楽しい。
- ・ 人間は脳みそで生きているわけではない。
- ・ 体を動かすことは必要だから
- ・ 運動しないと健康に悪そう。
- ・ 非常に特異な科目だから
- ・ 体を動かす機会が少なかったから。
- ・ 少しでも体を動かす時間が必要と思ったから。
- ・ 健全な肉体は情報社会の中でも必要。というよりも運動不足は不健康。
- ・ 体がなまる

- ・ ないと肉体をきたえる機会のない者もいるから
- ・ 運動するコトは必要☆
- ・ 楽しめる。体力測定などいいバロメーターになる。
- ・ 面白い
- ・ リフレッシュできるから。
- ・ 体を動かす場が必要。
- ・ 運動不足解消になるから
- ・ 体を動かすことは健康に不可欠だから。
- ・ 体を動かすことはいいことだから
- ・ 運動不足を解消する意味では不可欠。ストレス発散にもなる。
- ・ 体を動かす機会は必要
- ・ 運動は不可欠だから
- ・ 体力をつけるために必要だと思う。
- ・ 勉強ばかりだとしんどい
- ・ 適度な運動が必要だから
- ・ 運動不足になる人には必要
- ・ 基本的な運動能力を維持するため、心身のバランスのとれた成長のために必要
- ・ 健康を保つため
- ・ 頭でっかちになってはならない。
- ・ 体を動かすのは必要なことだし、クラスメイトと何かの球技をするのは楽しいから

【「不要」と答えた者】

- ・ 体育の能力以外に要求される「何か」があり、それが苦痛だった。
- ・ 普段運動してたから
- ・ 生活全体から見ると体育での運動量は多くなく、あまり影響が無い気がするし、内容がおもしろくなかったから。

工学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 楽しいから
- ・ 大学になると勉強・サークル活動等で運動をする機会が失われるから
- ・ 体を動かす機会があまりないから
- ・ 体を動かすことは必要
- ・ 運動は健康に良いから。
- ・ 体を動かさないとストレスが溜まるから。
- ・ 運動しないといけない。
- ・ 勉強以外からも学ぶことはたくさんあると思う。
- ・ 体力作りも勉学の一環だと思うため。
- ・ 人間には必要なものだから
- ・ 不健康になる

- No Reason !
- 体を動かすことは大事
- 毎週一定の時間運動する機会があるのは健康に良いから。
- 定期的に体を動かす習慣をもつことは大事だと思う。また協調性が養われる。
- 体力維持、気分転換
- 体力増強、ストレス発散の為。
- 定期的に体を動かしたいから。
- 体を全く動かさないと、怪我をしやすくなると思うため
- 体を動かす機会が少ない。
- ストレス発散になる。
- 体を動かすことは大事やと思うから。
- 定期的な運動の機会の確保
- 自分から体を動かそうとはあまり考えなかったので、授業という形で体を動かさせていたのは自分にとって有意義だったと思います。
- 運動不足になってしまう
- 運動が好きだから。
- いろんな人と交流できるから。
- 気分転換になる
- 運動することは大切だから
- 体をきたえて、健康になれるし、勉強にも役立つからです。
- 普段運動しないから
- 座ってばかりの授業の中での、唯一の体を動かしてのリラックスとなり得る授業だから。
- 人間、たまには体を動かさないと、ブタになるから。
- スポーツする上での常識と体のバランスを整えるようにするため
- 体を動かす時間は必要だと思うから。
- 体を動かさないと体調が悪くなる。
- 動くから。
- 体育が好きだから。
- 息ぬき。健康的。
- 自分は運動する習慣がないので、運動する機会がほしいから。
- 身体を動かすことが心の健康にもつながるから
- おもしろいから。
- ストレス解消
- 好きだから。
- 心のみならず身の発達は人間形成に不可欠。様々なスポーツに触れられるのも良い機会。
- 適度に体を動かす方が良く、友人の違った一面を見つけることもできるので。
- 運動することは必要だと思うから。
- 体がナマるから
- 楽しいから。

- ・ 日ごろの運動不足解消
- ・ 健康
- ・ 楽しいから
- ・ 健全な肉体をつくるため
- ・ 気分転換のため
- ・ 運動不足を減らす。友人を増やす。
- ・ 体を動かす場。
- ・ 楽しいから
- ・ 楽しいので
- ・ リフレッシュ
- ・ 運動する時間ができる
- ・ 体を動かすことができ、スポーツの楽しさを体感できるから。
- ・ 気分転換
- ・ 健康のため
- ・ なし
- ・ 楽しいから。
- ・ うごかなやばい
- ・ 勉強ばかりだと息が詰まる。ガス抜きの時間として必要。
- ・ 体を動かすのは大事
- ・ 勉強だけだと体がなまるし、スポーツは人と仲良くなりやすい
- ・ 勉強だけではいけない
- ・ 体作りが大切。
- ・ 楽しいから。
- ・ 楽しくリフレッシュできるから
- ・ 息抜き
- ・ 楽しいから
- ・ 体を動かすことは大切だよ。
- ・ たのしかった。友達いっぱい！
- ・ 健康のため
- ・ おもしろいから
- ・ 体育がなかったら、リフレッシュできないから。
- ・ 私の通っていた高校では部活動の参加者及び、活動時間が非常に少なかったので、運動する時間を確保しなくてはならなかったから。
- ・ リラックスできるから。
- ・ 運動不足になるから。
- ・ たまには体をうごかすべき。
- ・ もやしダメゼッタイ
- ・ 運動重要
- ・ 息抜きになる

- ・ 息抜きになるから。
- ・ 文化系の部に入っている者や、帰宅部は運動不足になりがちであるため。また、自分からはやることのないようなスポーツができたりするため。
- ・ 勉強の合間の気分転換になるから。
- ・ 運動しないといけないでしょう。
- ・ 体は動かした方がいいから。
- ・ 体を動かすキカイが少ないから
- ・ 特に受験生時代など、体を動かす機会が少ないので、運動不足解消になった。あと、クラスの仲間と仲良くなる。楽しい。
- ・ ある程度の運動を取れるから。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 唯一の運動の場
- ・ ストレス発散
- ・ 気分転換
- ・ 運動は必要だから。
- ・ 気分転換。他クラスとの交流に役立った。
- ・ 運動しないと体力がなくなるし、運動しないとやせる体質なので体育は必要。
- ・ 健康維持のため、好きなスポーツを始めるきっかけにするため。
- ・ 勉強だけじゃ疲れるから
- ・ 頭と身体のバランスのよい成長のため。
- ・ 受験の中で、少しでも体を動かす貴重な機会だったから。
- ・ 運動はやっておくにこしたことはないから
- ・ 定期的に体を動かして健康を維持するため
- ・ 体力維持
- ・ 運動不足にならないためには必要。コミュニケーションがその中でとれるから。
- ・ ストレスの発散。
- ・ 運動不足かいしょう
- ・ 唯一楽しいから
- ・ 身体をうごかす機会が少ないから。
- ・ 運動不足解消。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 体を適度に動かせるから。
- ・ 運動することは健康にいいし、ストレスの解消になるから。何より楽しいから。
- ・ 体を動かすことは健康にとっても必要だから。
- ・ 1週間に一度でも体を動かすことは重要だから。
- ・ 適度な運動は大切だから。
- ・ 適度な運動をする良い機会だったから。
- ・ 体力を維持するため。
- ・ 体を動かすことは勉学のいっそうの励みになると思う

- ・ 体を動かすのは良い事だと思うから。
- ・ 勉強の間の息ぬきになる
- ・ 健康に良いから
- ・ ストレス解消
- ・ 勉強だけでなく、身体の健全さも重要であると思うから。
- ・ 健康に良いから。特に文化系の部活の人にとって。
- ・ 体を動かすということは必要なことであると思うから。
- ・ 運動をしないから
- ・ 気持ちいいから
- ・ 楽しいッス
- ・ 健康
- ・ 勉強での息抜きに必要だったから
- ・ 良い運動であり、他の人とも仲良くなれるいい機会
- ・ 体を動かす必要があると思うから。
- ・ 楽しい
- ・ ストレス解消
- ・ 運動はいいことだね
- ・ 普段運動をしない人にとっては週1回運動をするのはいいことだと思います。スポーツを通していろんな人と仲良くなれると思います。
- ・ ストレス発散になるから
- ・ 部活以外で体を動かすことができるから
- ・ 体を動かす機会が減ってしまうから。
- ・ ある種の気分転換になると思うから。
- ・ スポーツが好きだから
- ・ 体を動かすのは好きだから
- ・ 運動する機会が普段少ないから。
- ・ 運動のため
- ・ 運動は必要なものだから
- ・ 体を適当に動かした方がいいと思うから。
- ・ 唯一体を動かす授業である。
- ・ 「集団」で行動する力を育むことができるから。
- ・ 友達との協同作業になっていいと思う。
- ・ すぐ体がなまるから (←事実、高3では体育がなかったが、かなり太った)
- ・ ストレス発散のため
- ・ 楽しいから
- ・ 学習ばかりだと精神的に辛いから
- ・ 楽しい
- ・ 使わなければ体はおとろえるから。
- ・ 体動かすって良いですよー。

- ・ 楽しい。いわばオアシス。
- ・ 体を動かしたいから
- ・ 人との交流が出来る。様々なスポーツが出来る。運動不足を防げる。
- ・ 体によい。
- ・ 勉強の息抜き
- ・ 体を動かす場が与えられていいと思った。
- ・ 気分転換のため。また、体力維持のため。
- ・ 体力を落とさないため。
- ・ 勉強で頭を使うだけでなく、体を動かすことも必要だから。
- ・ 定期的に運動することは健康にいいと思う
- ・ 一緒にスポーツをやることで仲良くなれるから。
- ・ 人間として運動することは必要なことだと思うから
- ・ スポーツは体にいい。
- ・ ストレス発散
- ・ 偏りなく色々な運動ができるから。
- ・ 定期的に体を動かす方が良いから。
- ・ 受験勉強で運動不足がみだったから
- ・ おもしろい
- ・ 運動不足になるから
- ・ 体動かすのが好きだから
- ・ 体を動かすことは大事ですから。
- ・ 部活動に入っていないければ、体を動かすことは健康上有用だと思うから。
- ・ 気分転換
- ・ たまには体を動かしたい
- ・ 楽しいから。
- ・ 体がにぶる
- ・ 健康成就せずして勉強成就なし
- ・ 体を動かすことは脳の活性化につながる。体育がないとバランス悪スギ。
- ・ 健全な精神、肉体を育むため。
- ・ 一日くらいあってもええかなあと思えるものだから
- ・ 体を動かす機会が他にないから（受験期など）
- ・ 体のけんこうに必要
- ・ 気分転換
- ・ 体動かしたいから
- ・ 体にいいから。友達とのふれ合いとか。楽しいので。
- ・ 自分は体を動かすのが好きなので。
- ・ 運動不足になるから
- ・ いい気分転換になるので。Q 1 1 に類似。
- ・ 勉強の息抜きに必要だから。

- ・ 体を動かさないと欲求不満になる
- ・ 運動は健康に大事。
- ・ 体を動かす機会が少ないから
- ・ 体を動かすことができる。
- ・ 椅子に座っているだけだと正直、疲れるから。
- ・ 当たり前だ。体力がないと勉強するにも大変やしスポーツを通じてストレス解消、親睦などの効果が得られる。
- ・ 体を動かすため。
- ・ 体力アップにつながるから
- ・ 楽しいし、体にも良いから
- ・ 楽しいし、体がきたえられるし、気分転換になる。
- ・ 体動かす。
- ・ 健康を保つため
- ・ 体を動かすことは大事だから。
- ・ 勉強だけじゃだめでしょ
- ・ 運動不足になるから。
- ・ 体力維持のため。
- ・ 筋肉が好きだから
- ・ 好きだから
- ・ 運動は大事だから。
- ・ 体を動かして、勉強のストレスを発散させたいから。
- ・ ストレス発散
- ・ 体を動かすことが週に1度は必要だから。
- ・ サッカー好きだから。
- ・ 実際に理論だけでなく体を動かすことが必要と思うから。
- ・ 週に少なくとも1回は体を動かした方が良いと思う。
- ・ 息ぬきに必要
- ・ 気分転換
- ・ 部活以外の種目もできるから。
- ・ 少しは運動もするべきかと（部活ない人たち）
- ・ 日本人の体力向上のために
- ・ 体力維持
- ・ 体をうごかす機会となっていたから。
- ・ 運動大切
- ・ 体を動かすクラスメートとのコミュニケーション

【「不要」と答えた者】

- ・ 運動が苦手な生徒も居るため
- ・ 部活が忙しく、そこまで体力がなかった。いつも、しんどかった。

- ・ 真剣にやる人も少ないし、おれもそうだった。

医学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 健康のため
- ・ ストレス発散や、体力向上につながるから
- ・ 運動することによりストレスの発散やその他の健康にもよいから。
- ・ 体を動かすことは大事
- ・ リフレッシュになるから
- ・ 楽しいから
- ・ 楽しいから。
- ・ 勉強以外のことをして、体をうごかす必要があるから。

【「不要」と答えた者】

- ・ だるいから

薬学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 運動すると気分がすっきりするから。
- ・ 体がなまける。
- ・ 心身充実。健康促進。
- ・ 体力づくり
- ・ 体を動かす機会になるから。

農学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 文化系運動不足になりやすいから。
- ・ 体を動かすには動機が必要。強制しないと運動しない人は全くしないから。
- ・ 体を動かすことは必要だと思うから。
- ・ 体力づくりのため
- ・ 運動不足
- ・ 体を動かすことは大事
- ・ 楽しいから
- ・ 不必要なものはないから。
- ・ 体を動かすよい機会だから。
- ・ 体を動かすことは健康に良いから
- ・ 体を動かすことは必要と思うから
- ・ 気分転換
- ・ 運動不足が解消するから。友達とスポーツができて楽しい。

- ・ 運動不足になるから
- ・ 健康のため
- ・ 体力づくり、友達とのコミュニケーション
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を定期的に動かすことが必要だから。
- ・ 気分転換になるので。
- ・ 体育抜きでは「心技体」の「体」の部分が不十分になり、学生生活におけるバランスが悪くなる。
- ・ 体を動かすと気持ちがいいから。
- ・ 健康に学校生活を送るのに必要
- ・ 体を動かすことは必要
- ・ 体力を付ける必要があるから。
- ・ 楽しいから
- ・ たまには体を動かした方がよい。
- ・ 体を動かすのは大事
- ・ 体を動かすことでそれまで鬱積していたストレス等を発散することができるから
- ・ スポーツは世界を明るくする大事なものの一つだと思うから。だから体育でスポーツに触れることが大切
- ・ 脳を使うこと同様、体を使うことも学習と考えるから。
- ・ 時々体を動かさないとダメになってしまう。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 交流が深まる。スポーツを楽しむことは生活に必要
- ・ 体を動かすことは大事だから。
- ・ 健康のため。
- ・ 体を動かすことですっきりする。体育がなければ運動する機会のないひとがいる。
- ・ 中高では友達の新しい一面もみれるし、団結して盛り上がる。
- ・ 運動不足解消
- ・ ある程度の運動は必要と思うから。
- ・ 交流、運動不足の解消

Q10. Q9（大学の授業でスポーツ実習は必要だと思いますか？）で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

総合人間学部

【「必要」と答えた者】

- ・ Q7と同様（体育が全ての授業の中で一番好きです。無くしてしまったら困ります。）
- ・ 体を動かしたい。
- ・ 体力の維持につながる。自分一人では運動しない。

- やっぱからだ基本だから。
- 体力維持のため。授業より友人が増えるから。
- 適度な運動は必要だと思います。
- 適度な運動は必要だから
- 大学生活は体を動かす機会が少ないから。
- 大学に入ると自主的に運動しないとその機会がないので、授業であるとその機会が得られ助かるから。
- 適度な運動は必要だと思う。
- 他学部の人と友達になれる。運動不足の解決となる。
- やはり講義室で座ってばかりよりも、体を動かしたい。
- やっぱ息抜き
- リフレッシュになるから。
- 体は動かすべき
- スポーツと勉強は自転車の前輪と後輪、、だそうです。
- 一般人は運動不足になるし、息抜きにもなるから。
- 息抜きになるから。
- たまには体を動かした方が気分転換にもなって、肉体、精神的に良いから。

【「不要」と答えた者】

- サークル等のできるため。

文学部

【「必要」と答えた者】

- 運動不足解消
- 自分には必要だから。
- 別に登録するかどうかは選べるのだから、その時間を設けておくのは自然だと思う。
- 楽しかったから
- 体を動かすのは特に大切だから
- 4年間勉強しかしてない奴がロクな人間になるワケないから。
- 運動を通して友達をつくる。
- 楽しいので
- 大人になるほど運動する機会が減っていくので、こういう場をもうけた方が良いと思う。
- 教職を取るのに
- 運動する機会にとぼしいから。
- 健康維持のため
- 気分転換、体を動かす機会が増える。
- たまに体を動かす方がいい
- 体育以外に運動する機会がない人にとっては運動不足にならないためのよい機会だと思うから。
- ほぼ同上（部活（運動系）に入っていない人は体がなまって弱くなるし、体育だとコミュニケーションがとれやすくてクラスの仲が良くなる。）の理由。特に大学では友だちとバラバラの授業

をとることが多く、仲良くなるためにはより必要。

- ・ 体を動かすことは必要なので。
- ・ 運動不足になるから。
- ・ 多様なスポーツをする機会が増える。
- ・ 運動は大切だとおもうから。
- ・ 運動が好きな人にとってはいい授業だから。
- ・ 最低限の運動ができる
- ・ 高校に比べ、全体的に運動する機会が減るから。
- ・ 体を動かすことは、健康のためになるから。
- ・ 気軽にスポーツを楽しむ機会は大切だから。
- ・ 体をうごかすのは良いから。
- ・ 普段運動をしていないので基礎体力を作るため。
- ・ 学生に対して運動の機会を与えることは当然であるように思われるので。
- ・ 楽しいから
- ・ 大学生になると運動系の部活・サークルに入らないと運動する機会が少ない。
- ・ 体を動かしたいから
- ・ リフレッシュになるから
- ・ 本格的に運動する機会は、部活以外にないから。
- ・ 運動する機会を提供してくれる。
- ・ 体を動かすのは健康に良いと思うから。
- ・ クラスの皆との交流
- ・ 体を動かすことが、それ以外でないから。

教育学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体を動かす機会がほとんどなかったから
- ・ 高校生以上に大学生は、運動不足になりがちな学生が多いから
- ・ 適度の運動は勉強する上でもプラスになり、必要だと思うから
- ・ ストレス解消
- ・ 大学生は体力がなくなる
- ・ 普段運動不足だから
- ・ 体を動かしたい
- ・ 体動かす機会がない
- ・ 運動の機会がへる
- ・ 健康維持、教免に必要
- ・ 体づくり、ストレス解消
- ・ 体を動かす時間は必要
- ・ とりたくなければとらなくていいわけだし、大学生のスポーツの機会として、よいと思う
- ・ スポーツを好きになる

- ・ 運動することは健康を保つ上で大切だから
- ・ 気分転換、運動不足解消に必要
- ・ 体をうごかすことで生活上のいろんなリズムがととのえられるから
- ・ なんか勉強では得られぬレнтаイ感
- ・ 選択しとして体育があると嬉しい（人も多いと思う）
- ・ 息抜きになる。学部のこと一緒にいる時間が増える。
- ・ 運動不足はだめ
- ・ 運動不足の解消、気分転換
- ・ 運動不足になるから
- ・ 週に1回くらいは体を動かすべき

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ 個人の自由だと思う

法学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 運動習慣が身につくため
- ・ 取りたくない奴はとらなければいいだけ
- ・ 体を動かさずにはられない。
- ・ 運動は大切だから
- ・ 体力をつけ健康を増進させるため。
- ・ 健康維持
- ・ 体を動かしたい。
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を動かす機会が得られるから。
- ・ 定期的な運動のきっかけになる。
- ・ ストレス発散のため
- ・ 運動不足解消等
- ・ 運動不足の解消になる
- ・ ないと運動しないから
- ・ 眠気覚まし
- ・ 運動不足解消
- ・ 健康のため。交流の場として。
- ・ 運動不足解消のため
- ・ 楽しいから
- ・ 大学生ともなると運動をする機会が次第に減ってくるから。
- ・ ちょっとしたことで疲れをかんじるようになるから（体を慣らすため）
- ・ 心技体が万全で、はじめて一人前の人間だと思うから。
- ・ 体を動かせる
- ・ 机の前の勉強だけではいけない

- ・ 身体を動かす機会は必要
- ・ 運動不足になるから
- ・ 運動不足を防ぐため。
- ・ 体を動かす機会が必要だから
- ・ 健康のため。
- ・ リフレッシュできるから。
- ・ 体を動かすと happy になるから
- ・ 適度の運動は必要
- ・ 運動不足解消
- ・ 運動不足
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を動かさないと、気分が晴れない。
- ・ 体を動かすことは必要
- ・ 気分てんかん
- ・ 体育の授業以外で自分から運動する機会はなかなかつくらないから体がなまって体力が落ちてしまう
- ・ おもしろいから
- ・ リフレッシュになる
- ・ 京大生で、運動サークル、運動部に入っていない人は運動すべきだから。
- ・ 大学生は運動する機会が少ないから。
- ・ 定期的に運動できる場を提供しているから
- ・ 体を動かすことは健康維持にとってよいことだから。
- ・ 社会に出て行く上で学力だけでなく、体力は必要だから。
- ・ 運動不足になりやすいから
- ・ 体力がないと何もできないから
- ・ 体を動かすことに損はないと思うから。
- ・ 気分転換にもなるから。
- ・ 就職する前に体力がゼロになってしまうから。

【「不要」と答えた者】

- ・ つまらない

経済学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体と心のリフレッシュ
- ・ 体力は大切
- ・ 動きたい
- ・ 体がなまるから
- ・ 友達をつくるきかい
- ・ リフレッシュになるので

- ・ 運動クラブ、サークルに所属していないので、運動不足解消の足しになるので
- ・ 体を動かすことが自分1人ではなかなかしないから
- ・ 授業だけだと発狂しそうになるんで
- ・ 体を動かすいい機会だから
- ・ 運動する機会があるから
- ・ 最低限必要な運動
- ・ 健康維持
- ・ 体を動かす時間はいると思うから
- ・ 体力は必要だし、サークルや部活ほど時間がかからずに済むから
- ・ 運動不足の解消
- ・ 体を動かさなければいけない
- ・ 体を動かせ

理学部

【「必要」と答えた者】

- ・ Q7と同じ。(身体と頭は密接に関係しており、身体を動かすことで脳も活性化されると思っているから。)
- ・ Q7と同じ理由(健全な肉体にこそ、健全な魂がやどる。頭を鍛えるのと同時に体も鍛えないと。)
- ・ 体を動かすきかいがあまりないから。
- ・ 同上(運動は大事)
- ・ Q7と同じ(運動する時間は設けるべき。)
- ・ 同上(年齢が上がるにつれ、運動する機会というものは徐々に制限される傾向にある。そういった中で、「授業」として運動の時間を確保することは、体力的にも、また、精神的にも有意義であると思う。)
- ・ 同上(たまには運動しないとストレスがたまる。)
- ・ 同上(机に座ってばかりだとあきるし、何より運動が好きだから)
- ・ Q7と同じ。(ないと運動しない。気分変えるのにいい。)
- ・ 学部の友達とできる
- ・ 上記通り。(学力バカはいらない。勉強だけで動けないのはカスである。)
- ・ 運動不足解消のため
- ・ ストレスの発散
- ・ Q7と同じ。(勉強ばかりではなく時には体を動かすのも必要だと思うから。)
- ・ 週1で思いっきり体を動かしたほうがスッキリできるから。
- ・ 無いと全く運動しないことになるから…。
- ・ 運動不足解消のため
- ・ 他に運動する機会がない
- ・ 自分がやりたいから。
- ・ 上に同じ。(普段の生活の中で、定期的に体を動かせる機会ができる。)
- ・ たまには運動が必要

- ・ 気晴らし
- ・ 大学では運動不足になりがちだから
- ・ 「数学は体力だ」と昔のえらい人が言った。
- ・ 体を動かすことは必要だから
- ・ 健康、友人との交流
- ・ 他にはない科目だから
- ・ たまには好きなスポーツがしたいから。
- ・ II Q7 に同じ（少しでも体を動かす時間が必要と思ったから。）
- ・ 同上（健全な肉体は情報社会の中でも必要。というよりも運動不足は不健康。）
- ・ スポーツする機会は少しはないとあんまし健康的じゃない
- ・ 運動するコトは必要☆
- ・ 友達ができる。週1のペースの運動はいい。楽しい。
- ・ Q7 と同様（面白い）
- ・ 同上。（リフレッシュできるから。）
- ・ 上に同じ（体を動かす場が必要。）
- ・ 健康にいいから
- ・ Q7 と同じ。（体を動かすことは健康に不可欠だから。）
- ・ Q7 と同じ（体を動かすことはいいことだから）
- ・ 同上（運動不足を解消する意味では不可欠。ストレス発散にもなる。）
- ・ 普段運動しないから
- ・ Q7 と同じ（運動は不可欠だから）
- ・ 他に体を動かす時間がない人もいると思うから。
- ・ Q7 に同じ（勉強ばかりだとしんどい）
- ・ 高校よりも、運動しなくなる
- ・ ストレスの解消や、純粋にスポーツを楽しむためにスポーツ実習をとりたいという学生が多い
ため
- ・ 最近一人では運動しなくなったので…。
- ・ II の理由（体を動かすのは必要なことだし、クラスメイトと何かの球技をするのは楽しいから）
に加えて、普段なかなか運動する機会がないから

【「不要」と答えた者】

- ・ 運動は各自勝手にやればよくて、学校が行うほどではない。
- ・ 好きな人は個人的にやればよい
- ・ 時間が少ないのでそれほど健康増進に役立つと思わないから。

工学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 楽しいから
- ・ やはり、週一くらいのペースで体を動かすのは大切と分かったから
- ・ 純粋に楽しめるから

- ・ 上に同じ（体を動かすことは必要）
- ・ 運動は健康に良いから。
- ・ 心身のリフレッシュのため。
- ・ 運動不足かいしょ～
- ・ Q7と同じ（人間には必要なものだから）
- ・ No Reason！
- ・ サークル等に入っていないと友人と運動する機会がほとんどなくなるから。
- ・ 上に同じ（体力維持、気分転換）
- ・ Q7と同じ（定期的に体を動かしたいから。）
- ・ 同上（体を動かす機会が少ない。）
- ・ 体を動かす場が増えるから。
- ・ Q7に同じ。（体を動かすことは大事やと思うから。）
- ・ Q7に同じ（定期的な運動の機会の確保）
- ・ 勉強ばかりで体を動かさないのはよくないです。
- ・ お金をかけずに運動できるから
- ・ おもしろい
- ・ 体を動かす機会が少ないから
- ・ 運動できる場が少ないから。
- ・ 運動することで気分がスッキリするから。
- ・ 上と同じ（普段運動しないから）
- ・ 同上（座ってばかりの授業の中での、唯一の体を動かしてのリラックスとなり得る授業だから。）
- ・ 運動不足を少しでも防げるから
- ・ どうしても中学や高校のように授業として体育がなくなると運動しないから。
- ・ 大学では体を動かす機会が減りやすく、健康上のため
- ・ 運動は必要。
- ・ スポーツが好きだから。
- ・ 同上（息ぬき。健康的。）
- ・ Q7と同じ（自分は運動する習慣がないので、運動する機会がほしいから。）
- ・ Q7と同じ（身体を動かすことが心の健康にもつながるから）
- ・ ストレス解消
- ・ 運動部に入らないと、運動不足がすすむ一方だから。
- ・ 大学生になっても、同上（心のみならず身の発達は人間形成に不可欠。様々なスポーツに触れられるのも良い機会。）。
- ・ スポーツの機会は必要である。
- ・ 交友を深めやすい。
- ・ 運動することが好きだから。
- ・ 体がナマるから
- ・ 楽しいから。
- ・ 日ごろの運動不足解消

- ・ 健康
- ・ 頭でっかちはダメ！！
- ・ 気分転換のため
- ・ 勉強でナマッてしまう。体を鍛える。
- ・ 同上（体を動かす場。）
- ・ 楽しいから
- ・ 楽しいので
- ・ リフレッシュ
- ・ 単位とれる
- ・ 気分転換になるから。
- ・ このような場でしか運動の機会がない人もいるから。
- ・ 気分転換
- ・ 健康のため
- ・ なし
- ・ うごかなやばい
- ・ どうしても運動不足になるので。
- ・ 体を動かすのは大事
- ・ 楽しい。人と仲良くなれる。
- ・ いらぬならとらなきやいいから、あつた方がいい。
- ・ 健康のため。
- ・ 体を動かす機会を設けるのは重要だと思ったから
- ・ 息抜き
- ・ 楽しいから
- ・ Q7と同様（体を動かすことは大切だよ。）
- ・ リラックスできるから
- ・ 運動不足になるから。
- ・ スポーツ実習をとっていないと、運動系サークルに入っていない人は体をうごかさないから。
- ・ もやしダメゼッター
- ・ 運動重要
- ・ 運動系の部・サークルに入っていないくとも運動ができるため。
- ・ Q7と同じ（運動しないといけないでしょう。）
- ・ Q7と同様（体は動かした方がいいから。）
- ・ 体を動かすことは健康に良いエイキョウを与えるから
- ・ 楽しいし、友達もできるから。
- ・ 体を動かす機会が必要
- ・ IIに同じ（唯一の運動の場）
- ・ 気分転換
- ・ 運動する機会が少ないから。
- ・ Q7と同じ（気分転換。他クラスとの交流に役立った。）

- ・ 同上（運動しないと体力がなくなるし、運動しないとやせる体質なので体育は必要。）
- ・ レクリエーション
- ・ Q7と同じ（運動はやっておくにこしたことはないから）
- ・ 定期的に体を動かして健康を維持するため
- ・ ストレス発散
- ・ 体をうごかした方がよい
- ・ 数少ない運動する時間。友人作り。
- ・ 運動不足かいしょう
- ・ 休養になるから
- ・ 同上（身体をうごかす機会が少ないから。）
- ・ 同上（運動不足解消。）
- ・ Q7に同じ（運動不足になるから）
- ・ 体を適度に動かせるから。
- ・ 大学ではあまり運動しなくなったから。
- ・ 息抜きの場となる
- ・ クラス以外の友人の輪が広がるから。
- ・ 体力を維持するため。
- ・ 同上（体を動かすことは勉強のいっそうの励みになると思う）
- ・ 健康第一
- ・ 高校と違って専門の人に教えてもらえるから
- ・ 健康に良いから
- ・ 同上（ストレス解消）
- ・ 定期的にスポーツを行うことで、心をリフレッシュでき、学問により力強くとりくめるようになる。
- ・ 他に運動する機会があまりないから。
- ・ 息抜きとなり、娯楽として楽しめるから。
- ・ 上と同じ（運動をしないから）
- ・ 体を動かすのはいい
- ・ 楽しい。
- ・ 楽しい
- ・ 同上（良い運動であり、他の人とも仲良くなれるいい機会）
- ・ 上と同じ（体を動かす必要があると思うから。）
- ・ 体力
- ・ 体がなまる
- ・ 同上（運動はいいことだね）
- ・ Q7と同様です（普段運動をしない人にとっては週1回運動をするのはいいことだと思います。スポーツを通していろんな人と仲良くなれると思います。）。他の学部や学科の人と話をしたりできるのが魅力的だと思います。また、クラスメートとスポーツをすることもめったにない良い機会だと思います。

- Q7と同じ（ストレス発散になるから）
- 選択できる科目が多いので、自分が今までしたことのないスポーツも体験できるから。
- 上と同じ（スポーツが好きだから）
- ストレス発散になった。
- 運動していない人が多いので
- 運動のため
- Q7と同じく（体を適当に動かした方がいいと思うから。）
- 唯一体を動かす実習である。
- Q7に同じ。（「集団」で行動する力を育むことができるから。）
- 大学では特に体を動かす機会がないように思うから。
- 他のクラスの人と友達になれるから
- 楽しい
- 勉強だけだと萎える。
- 楽しい。いわばオアシス。
- 運動する機会を設けるべきだから。
- Q7と同様（勉強の息抜き）
- Q7と同じ（体を動かす場が与えられていいと思った。）
- 上に同じ（気分転換のため。また、体力維持のため。）
- 上記と同様。（体力を落とさないため。）
- サークルに入っていないと体を動かす機会がほとんどないから
- 同上（定期的に運動することは健康にいいと思う）
- リフレッシュできるから。
- ストレス発散
- Q7と同じ。（定期的に体を動かす方が良いから。）
- おもしろい
- 運動不足になるし、友達も増える
- 上と同じ（体を動かすことは大事ですから。）
- 上に同じ（部活動に入っていないければ、体を動かすことは健康上有用だと思うから。）
- 気分転かん
- 同上（たまには体を動かしたい）
- 楽しいから
- Q7に同じ（体を動かすことは脳の活性化につながる。体育がないとバランス悪すぎ。）
- 墮落しがちな大学生活のオアシス的存在だと思うから。
- 身体を動かすことが必要だから。
- 同上（体を動かす機会が他にないから（受験期など））
- けんこうに必要
- 気分転換
- Q7に同じ（体動かしたいから）
- Q7と同じ（体にいいから。友達とのふれ合いとか。楽しいので。）

- ・ Q7と同じ。(自分は体を動かすのが好きなので。)
- ・ 同上(運動不足になるから)
- ・ 運動不足解消!
- ・ Q7と同じ。(いい気分転換になるので。) Q11に類似。
- ・ 大学に入るとサークル以外で体を動かす機会があまり無いから。
- ・ 上記と同じ理由(運動は健康に大事。)
- ・ Q7と同上。(椅子に座っているだけだと正直、疲れるから。)
- ・ 上と同じ。(当たり前だ。体力がないと勉強するにも大変やしスポーツを通じてストレス解消、親睦などの効果が得られる。) また普通の趣味活動にもできる。
- ・ 体を動かすため。
- ・ 運動する機会が少ないから
- ・ 楽しいし、体にも良いから
- ・ 体は動かすべき。
- ・ 体動かしたい。
- ・ 普段運動不足になるため
- ・ Q7と同じ(運動不足になるから。)
- ・ 筋肉が好きだから
- ・ 好きだから
- ・ 運動は大事だから
- ・ ストレス発散
- ・ 上と同じ。(体を動かすことが週に1度は必要だから。)
- ・ 弱い奴いじめの嫌いじゃないから。
- ・ 上と同じ。(週に少なくとも1回は体を動かした方が良いと思う。)
- ・ 息ぬきと体力いじに必要
- ・ 運動不足解消
- ・ 他の運動をする機会が与えられるから

【「不要」と答えた者】

- ・ 朝しんどい。月1はない。
- ・ 部活、サークルたくさんあるから

医学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 健康のため
- ・ 大学では体を動かす機会がとぼしいから
- ・ 運動することによりストレスの発散やその他の健康にもよいから。
- ・ 体を動かすことは大事
- ・ 好きだから
- ・ 体を動かすことは心身の健康につながる

- ・ みんなで楽しく過ごす時間が必要だから。

薬学部

【「必要」と答えた者】

- ・ スポーツは健康にいいから。
- ・ まだ受けたことがないので、分かりません。
- ・ 心身充実。健康促進。
- ・ 体力づくり

農学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 楽しいと思うから
- ・ 体を動かすよい機会だから。(高校よりは特に)
- ・ 体を動かすことについて知識があった方がよいから。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 健康のため
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を定期的に動かすことが必要だから。
- ・ 体育抜きでは「心技体」の「体」の部分が不十分になり、学生生活におけるバランスが悪くなる。
- ・ 明らか
- ・ 体を動かすのは大事
- ・ 大学は学問のデパートだからいろんなものを揃えておいた方がよい。それで選ばれなかったものではなくせばいい。
- ・ ある程度体力で維持するべきだ。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 交流が深まる。スポーツを楽しむことは生活に必要
- ・ 体を動かすことは大事だから。
- ・ 健康のため。
- ・ 体を動かすことでスッキリする。体育がなければ運動する機会のないひとがいる。
- ・ 運動不足解消
- ・ 運動する機会は多い方がいいと思うから。
- ・ 交流、運動不足の解消

【「不要」と答えた者】

- ・ 無理に履修する必要はないと思うから。

Q11. スポーツ実習を受講する理由は何ですか？（複数回答可）→A11. その他の理由

総合人間学部

- ・ 体を使った頭のトレーニングが学習に対してもいい影響を与えるから。
- ・ 息抜き

文学部

- ・ 諸事情
- ・ とりあえず登録

理学部

- ・ テニスが好きだから。

工学部

- ・ 生きる上での「一般教養」。
- ・ 好きだよ
- ・ テニスができる環境がなかなかないから。1限にあると生活にメリハリがつくから。
- ・ エロシズム
- ・ 二軸動作が自分の種目に関係するから。

農学部

- ・ 「運動科学」の講義では理解が不十分だったので、「二輪動作」を受講したかったから。
- ・ スポーツが好きだから。

Q13. 上記（Q12. スポーツ実習に満足していますか？）で「満足」と答えた方も含め、スポーツ実習に対して感じる問題点は？

A1. 授業の進め方に工夫が足りない

総合人間学部

- ・ 月曜日1限にやると、その日その後の授業および次の日くらいまで体力的にきつく感じる。金曜日5限などに開講してくれるとありがたい。

文学部

- ・ 待ちが長い
- ・ 毎日ゲームばかりだったのでもう少し基礎練習もしたかった。
- ・ 教員が時間通りに来ない。
- ・ 教員に当たり外れがある。

教育学部

- ・ 「クラス指定」にするのはおかしい。自分のやりたいものがとれない。バレーが週1は少ない
- ・ ゲームだけでなく試合記録を残すとよいと思う
- ・ 時間のむだが多い
- ・ 特になし
- ・ 体育館がつかえなくなったこと
- ・ 満足
- ・ 毎週しあいだけ

法学部

- ・ 時間を有効活用してほしい。
- ・ 長い
- ・ たまに体を動かしたいだけなのに毎週やらんと単位くれへんから
- ・ 人が多い
- ・ 休憩がほしい
- ・ 夏暑すぎてみんなぐったりしていたので、どうしようもなく暑い時は水泳などをやってもよいと思う。
- ・ 上回生が参加しやすいコマを設定してほしい。

経済学部

- ・ 中途ハンパ
- ・ 時間数が少ない
- ・ 1.5時間と長すぎるのではないか
- ・ 楽しければよい
- ・ 体育館が臭くて死にかけた

理学部

- ・ できる限り試合形式にした方が短期間の場合、技能・体力の習得に都合良い。
- ・ 履修したからには出席してほしいが。人が少なくなるから、何か考えてほしい。

工学部

- ・ あまり技術的なことにふみこまれなかった。
- ・ 楽しい
- ・ 完全に生徒任せになっている。もう少しくらい仕切ってくれてもかまわない。
- ・ テニスコートが少なく、逆に人数は多すぎます。
- ・ 月1がづらい
- ・ とりたい種目がとれない。他の授業とのかんけいで。
- ・ もっとたくさんゲームをしたい
- ・ エロシズムの不足

- ・ 大変先生が親切です。
- ・ 夏、天候が厳しいという理由で、暑い時間は運動させてもらえないという一方的な制限をかけられてしまった。
- ・ ない
- ・ もっとレベルが等しい人同士ができるようにした方がいい。
- ・ 数（種目）が少ない
- ・ 楽しさ
- ・ 5限とかにしてくれたら体のキレも違いまっせ。
- ・ 時間が短い（前期）、中止の時確認が面倒

農学部

- ・ 前期履修していないのでわからない。

A6. 設備や用具をもっと整えて欲しい

総合人間学部

- ・ サッカー

文学部

- ・ ピッチングマシンの完備を求める。
- ・ テニスラケット

教育学部

- ・ アスベストはつらいです
- ・ テニスコートの面数をふやす

法学部

- ・ サッカーゴールにゴールネットをつけてほしい。
- ・ ゴールネットが欲しい
- ・ 用具が少々古い
- ・ 早く行かないとボールやラケットがこわれた物しか残ってなかったりした。

経済学部

- ・ バトミントンのシャトル
- ・ 体育館をすぐに使えるようにしてほしいです
- ・ グリップが汚かった
- ・ 体育館がくさい

理学部

- ・ スポーツチャンバラ用の用具をそろえてほしい
- ・ サッカーボール
- ・ グランドがやや悪い
- ・ ウォーミングアップにボールを出してほしい（サッカー）
- ・ サッカーでボールが1個しか出せないというのは不便で仕方がない。
- ・ グローブが男性ものしかなく大きく感じます。
- ・ テニスについては、コートが少ない。
- ・ テニスラケットのガットが切れていることがある。
- ・ シャワーを気軽にあげたいです。
- ・ テニスラケット
- ・ テニスでかべ打ちぐらいはしたい。

工学部

- ・ 広い体育館
- ・ 人数が少ないときはハーフコートにしてゴールも小さくしてほしい。
- ・ …といってもこれを言ったらキリがないですが、コートや備品は豊かにこしたことはない。
- ・ ソフトボールのグラブがヒドい。
- ・ ボールがへばい。
- ・ ラケット及びガット
- ・ ゴールネット
- ・ 壊れた備品が多い。
- ・ せまい
- ・ コート少ない
- ・ ボール・ラケットをもっと良いもので多く用意してほしい。
- ・ バレーのコートが一面しかなかった。
- ・ グローブ増やして。
- ・ ラケットが古いから初心者扱いづらい。
- ・ コート数と人員を調整してほしい。
- ・ ボール等が若干少ない。
- ・ 後期にバドミントンを取れなかったことが悲しかった。
- ・ グローブでボロイのが多かった。
- ・ ラケットボロボロやった

農学部

- ・ 良いボールを維持（頻繁に取り替える）してほしい。

A7. 出席点重視の評価に不満がある

総合人間学部

- ・ 技術テストをしてほしい。

教育学部

- ・ 技術的な部分も評価に入れるべき

理学部

- ・ 全く無し

工学部

- ・ 10分以内の遅刻でも出席点が減っていくのは辛いものでした。
- ・ 成績が出席しか反映していない
- ・ もっとさぼりたい
- ・ 種目によって許容欠席回数が違うのがフマン
- ・ 朝早いのは問題である。
- ・ 始めは不満を抱いていたが、今では、それに納得できる。
- ・ 全部休んだら単位がもらえないのはおかしい！！
- ・ もっと休みたい
- ・ 5回ぐらいやすんでもよいなんていいと思う。

A8. 希望する種目が履修する時間帯にない その種目は

総合人間学部

- ・ バスケットボール
- ・ バドミントン
- ・ バスケットボール
- ・ バレーボール
- ・ バスケットボール
- ・ バレーボール
- ・ バレーボール
- ・ バレーボール
- ・ バレーボール
- ・ バスケットボール
- ・ バドミントン
- ・ バスケットボール
- ・ バスケットボール

文学部

- ・ フィットネス
- ・ サッカー（後期はあるが、前期は取れなかった。）
- ・ フィットネス
- ・ バスケットボール
- ・ バスケットボール
- ・ フィットネス
- ・ フィットネス
- ・ フィットネス
- ・ サッカー
- ・ バスケットボール

教育学部

- ・ バドミントン
- ・ バドミントン
- ・ バドミントン、バレー
- ・ バレーボール
- ・ バド、バレー
- ・ バドミントン
- ・ バレーボール
- ・ バレーボール
- ・ バレー
- ・ バドミントン
- ・ バレーボール、バドミントン

法学部

- ・ テニス、サッカー
- ・ バスケ、バレー
- ・ バレー
- ・ バスケット
- ・ バレーボール
- ・ サッカー
- ・ バリボー

経済学部

- ・ テニス
- ・ バスケ
- ・ テニス

- ・ バレーボール

理学部

- ・ 体操
- ・ バドミントン
- ・ バドミントン
- ・ 前期の話ですけど、バレーボール
- ・ バドミントン
- ・ バレー
- ・ バドミントン
- ・ ソフトボール (前期)
- ・ バレーボール
- ・ バドミントン

工学部

- ・ バスケットボール
- ・ バスケットボール
- ・ バスケット
- ・ バスケットボール
- ・ サッカー (火2 前期)
- ・ バスケット
- ・ バレー
- ・ バドミントン
- ・ バレーボール
- ・ 卓球・バレーボール・バドミントン
- ・ バスケット
- ・ バスケット
- ・ 前期 火2 サッカー、バスケット
- ・ バスケット
- ・ バレー
- ・ バレーボール
- ・ サッカー
- ・ バスケット
- ・ バレーボール
- ・ アーチェリー
- ・ サッカー
- ・ 前期になかったサッカー (火2)
- ・ バスケット、フィットネス
- ・ フィットネス

- ・ バスケットボール
- ・ サッカー
- ・ バスケ・バレー
- ・ 卓球
- ・ バスケットボール
- ・ バスケットボール
- ・ バスケット
- ・ 前期月3にテニスなかった
- ・ バスケットボール
- ・ バスケ
- ・ サッカー
- ・ サッカー
- ・ バドミントン
- ・ バスケット
- ・ バスケ
- ・ 卓球
- ・ 前期の場合はサッカー
- ・ バスケットボール
- ・ バスケット
- ・ バレーボール
- ・ バスケ
- ・ バスケ・バレー
- ・ バレーボール
- ・ バスケ
- ・ バスケ
- ・ バレーボール
- ・ サッカーⅡ
- ・ テニス
- ・ バスケ、バレー
- ・ バレー
- ・ バスケ
- ・ バスケ
- ・ バドミントン
- ・ バドミントン
- ・ 私はそんな事なかったが、そういう場合あり。
- ・ バレー
- ・ バスケットボール
- ・ バスケットボール

医学部

- ・ ソフトボール

農学部

- ・ フィットネス

A9. 希望する種目が開講されていない 新たに開講を希望する種目は

総合人間学部

- ・ ハンドボール
- ・ 筋トレ
- ・ バスケットボール、ラクロス

文学部

- ・ ソフトテニス
- ・ カーリング
- ・ ハンドボール
- ・ 長距離走
- ・ ラグビー、剣道

教育学部

- ・ バレーボール

法学部

- ・ ヨガ、エアロビ、マラソン
- ・ テニス
- ・ ホッケー
- ・ ヨーガ
- ・ ソフトテニス
- ・ 野球

経済学部

- ・ オニごっこ
- ・ 軟式野球
- ・ バレー
- ・ ゴルフ、合気道
- ・ ドッチボール

理学部

- ・ ビリヤード
- ・ バドミントン
- ・ スカッシュ
- ・ カバディ カバディ カバディ カバディ w
- ・ ゴルフ
- ・ ソフトテニス

工学部

- ・ 野球
- ・ ビーチバレー
- ・ 卓球
- ・ アーチェリー
- ・ 水泳
- ・ セクシーコマンドー
- ・ 陸上
- ・ II A ソフトボール
- ・ スキー
- ・ バスケット

医学部

- ・ 合気道

農学部

- ・ 陸上競技
- ・ ダンス
- ・ 水泳

A10. その他

総合人間学部

- ・ スポーツ実習が一番の楽しみの授業です。金先生のソフトボールの授業形式がすごく楽しいです。
- ・ 教員がゲームで本気であり、周りの学生がしらけてしまう。ファール等悪質なプレーをとるべきだ。
- ・ 特になし。前期に受けていないのでよくわかりません。

- ・ 経験者限定など受講に制限が掛かったり、出席点よりも技術、上手下手を重視する授業があるのが不満である。もっと自由に受講させてほしい。そしてスポーツを楽しみたい。

文学部

- ・ 1限は早くて起きられない。3、4限 or 5限にも開講してほしい。
- ・ レベルが低くてガッカリする。
- ・ 指定されると、その時間にとりたい授業が他にあってとれなくなってしまうので、そこだけが少し困りました。
- ・ 特になし
- ・ 1限でなくて、2限とかにしてほしい。朝早いと、家が遠いのでつらい・・・。
- ・ 体育館は使えないが、グラウンドなどでよいのでバレーがしたかったです。
- ・ 特になし。考えてみたけど本当に思い浮かびません。強いて言うならテニスシューズを買わなくてもテニスを受講できるようにしてほしい。それから、早く体育館直してバドミントンを開講してください。(卓球はそうじゃなかったけど) レポートを課すのもどうかと思います。楽しく参加してればいいじゃないですか。
- ・ 特になし
- ・ 選択してない人が入ってくるのはいいがしきらないでほしい。
- ・ 教員の態度が少し適当すぎる感じを受けた。
- ・ 特別に問題はないと思います。
- ・ 1限開講はやめてほしい
- ・ 全部やりたい。いろんなスポーツを。

教育学部

- ・ 体育館使用禁止で卓球ができなくなった
- ・ 仕方ないけどクラス等でメンバーがかたまってしまうがち
- ・ 他のフィットネスの授業ではお寺巡りや年中行事見物ができるとききました。前期の有酸素運動はたのしかったです。アスベストで体育館が使えないなら、そういうこともやってみてもらえたらって思います。
- ・ (2.について) そのような授業も存在してもいいかも。(8.,9.について) 今年だとソフトボールとれないとかあるので、充実しているといいなと思う。
- ・ 特になし

法学部

- ・ もっと授業を増やしてほしい！専門と時間がかぶったら最悪！
- ・ バスケしたかったのに1回るときはクラス指定で、今回はアスベストでとれません！
- ・ 体育館の地下の状態を改善してほしい。フィットネスをとっていましたが臭いがひどく大変不快でした。
- ・ 体育館が使えない。
- ・ 時間、種目の選択の余地を広げてほしい。

- ・ なし
- ・ 女子の人数が均等に配分されるのがのぞましい。1人はしんどいことも多い。
- ・ クラス指定の曜時間にスポーツ実習以外の授業で魅力のある科目が重複している。
- ・ 特になし
- ・ なし
- ・ 今回専門の授業とかぶってしまっていていずれにしろ他のコマをあたらなければならなくなったが面倒。
- ・ レベルが低い
- ・ 1回のときにクラス指定の時間でうけるようになっていたが、その時間にサッカー、バスケ等の種目がなくて残念だった。

経済学部

- ・ 学部専門とクラス指定スポ実が重なっているのはありえないと思う
- ・ 特になし
- ・ 月1はきつい
- ・ 2回生以上が履修できるスポーツ実習の科目数が少なすぎるうえに、金曜日にだけ集中しているので、カリキュラムを構成するうえで不便。その上、一つの授業に大量の生徒が来るので、練習がまわってくる回数が減るために、非効率だと思う。
- ・ 曜日、限を決めないでほしい

理学部

- ・ 特になし
- ・ 人数に応じてグラウンド、コートを使えればと…
- ・ クラス指定で1限はシンドイです。
- ・ 登録を確認するためにメールを送ってくれるシステムにしてほしい。
- ・ 勝率で評価をするのは何だかなあと思う
- ・ 問題点は特になし
- ・ 理学部のクラス指定だと、男子ばかりでつまらない。
- ・ どんな状況も自分次第でどうとでもなる。
- ・ 特にない
- ・ 前期出てないので。
- ・ 2単位にしてほしい。1単位だけあってもどうしようもない。
- ・ 問題を感じない
- ・ レベルが低い。
- ・ 二回生以降の人に対しての選択肢が少なすぎると思います。(I、IIで分ける必要が分からない)。また、1週間に複数の種目を取れるようにしても良いのではないのでしょうか？
- ・ 他学部の学生とも交流を増やしたいのでクラス指定でなくするべき
- ・ アスベストの影響で卓球ができなくなったのが残念だ。
- ・ 一回生が取るものというイメージが付き、上回生で取る人がいない点

工学部

- ・ 朝早いのでつらい
- ・ クラス指定のために、その曜・時限にある別の希望科目がとれない。
- ・ 体育館が使えないこと。
- ・ 人が多い
- ・ 人数が多すぎる。
- ・ そうになってしまうのは仕方がないが、1A をとるのがすと、2B は選択のはばや日程もきつくなってしまう。
- ・ ないよ
- ・ 人気の偏りに配慮してほしい。水1の前期では、バドミントンがあふれたので。
- ・ 時間が少ない
- ・ 人数制限にかかりましたからー。つまんねー。
- ・ 授業時間が少ないような気がする。
- ・ 人数が多すぎる
- ・ アスベスト問題
- ・ アスベスト除去のため、体育館で希望していた種目ができなくなった。
- ・ アスベストが気になります。体育館での種目ができないのが不満です。
- ・ 2単位にしてほしい
- ・ II A、II B の開講曜時限がとても少ないと思います。曜時限を増やして頂けるとよいですが、できるなら曜時限に幅をもたせて人数が多いところを開講するといったふうにして頂きたいです。
- ・ 朝・1はキツイ。
- ・ もっと気楽にやりたい
- ・ 特にありません。
- ・ 今回（後期）に体育館が使えないこと。
- ・ サッカーですが、人数が多すぎてせまい。
- ・ 先生しだいだからなんとも言えない。
- ・ 人が多い
- ・ 特になし
- ・ 1. 他の学部と同じ時間帯に指定して欲しい。例えば：物理工1回生は5つの組同士、火2になってる。(→男ばかり) 2. 単位の数が少ない。1→2に変えて欲しい。
- ・ 時間帯が少ない
- ・ アスベスト
- ・ 楽しさ
- ・ 2回生以上のスポーツ実習II B、A等をもう少し増やして欲しい。
- ・ スポ実II A、Bをもっとたくさん開講するか、Iとの区別をなくしてほしい。

医学部

- ・ 単位にならん
- ・ 体育館がはやく使えるようにしてほしい。
- ・ もっとスクールウォーズみたいにしてほしい。

農学部

- ・ 学生のやる気が低い。
- ・ クラス指定でない学生もクラス指定と同等に扱ってほしい。(履修登録の時に)
- ・ 前期に受講していないので、現時点ではわからない。
- ・ 体育館で行う科目が開講されなくて残念
- ・ 初めて受講するのでわからない。
- ・ 履修時間を増して欲しい(特に午後)
- ・ テニスを2時間連続で受講して、1日3時間したいです。
- ・ 体育館が使えなくて不開講の科目があること。

V. スポーツ実習について、考えていること、感じていることを自由にご書いてください。

総合人間学部

- ・ 月1は時間がよくない。2限以降にしてほしい。
- ・ 楽しいです。
- ・ なんでアスベストなの。バド登録できんやんけー。
- ・ 筋トレしたい。
- ・ 特になし。
- ・ 特になし。
- ・ 面白い人(→教員)だとあと not 1限だとバンザイですね。
- ・ 体育館をこんなどこの部活もシーズン中のときに、アスベスト発表して閉鎖しないでほしいです。あとスポ実ではどういった内容をやるかもっと事前に教えてほしいです。もっとゲーム一杯したい。
- ・ 特にないです。

文学部

- ・ こうして欲しいといった要望は、特にありません。前期のスポ実で卓球を取っていましたが、非常に楽しく体を動かせたので、満足です。
- ・ GOOD JOB!! きれーい!
- ・ 素晴らしい課目だと思います。
- ・ 特にありません。
- ・ 火曜の1限に入れるとは・・・
- ・ 生きる
- ・ これからもがんばってください。

- ・ 気晴らしとしてのスポーツは重要であると私は考えます。スポーツは私は苦手ですがそういった意味で参加する意義はあると考えています。
- ・ 楽しいですよ♪ 複数単位が取れるとよいのに。
- ・ 前期のスポーツ実習は楽しかったので、後期、体育館が使えなくなってバドミントンが選べないのが残念です。
- ・ 特になし
- ・ スポーツ実習は楽しくできるのが一番だと思います。技能の取得はもちろんですが、教員や学生同士の触れ合いができる場としても役立つものであってほしいです。
- ・ 本当にスポ実楽しい。これがなかったら運動もできないし。文学部は1限目がスポ実なので早起きはつらいけど、好きだからがんばります。がんばれます。
- ・ 座学中心の講義とちがい自分の体を動かせるので楽しい。
- ・ 来田先生のソフトはたのしかった。
- ・ スポーツをする以上、そのスポーツを経験していたか否かでレベルも違ってくるし、個々の求めるものも違ってくるかと思われるが、基本的にはみんなで楽しめるように、という姿勢で正しいと思うし、教員はそれを実践できているように思います。特に不備はありません。
- ・ すばらしいです。
- ・ 男女混合だから少しやりづらい
- ・ クラス指定科目の時間帯じゃなくても、容易に授業が受けられるようにしてほしいと思う。取りたい授業とかぶってたりもするので、手続きなどが容易になればということです。
- ・ 週2コマぐらいやって欲しい！
- ・ 気分転換によいと思う。運動不足が解消される。
- ・ 楽しくスポーツするのはいいことだと思います。
- ・ 二軸動作のように理論を体で体験する授業をすれば良いと思います。

教育学部

- ・ 楽しいです
- ・ クラス指定廃止願
- ・ 週1度の幸せなじかんです
- ・ アスベストでもいいし、後期もバスケやりたかった
- ・ このままで良いと思う
- ・ 心の健康のためにも大事な課目だと思います
- ・ たのしい、テニスの清水先生はわかりやすくおしえてくれるし、たのしい。テニスもうまくなれた。
- ・ 特になし
- ・ いい
- ・ とにかく楽しくてスポーツできてよいです
- ・ **HAPPY HEALTHY ENJOY SPORTS!!!**
- ・ 楽しくてよいです。「具体的に何がよい」というのはないですが、種目をもう少し増やしてほしいです。体育館は早くなおしてください。

教育学部

- ・ ヨガの授業がほしいです。
- ・ 特にありません。
- ・ スポーツ実習を毎時間開講してほしい。
- ・ 楽しいと思う。
- ・ スポ実、かっこいいぞ!!!
- ・ なし
- ・ 単位くれ
- ・ 特にない
- ・ 特になし
- ・ 1回生のクラス指定の曜時限を複数選択にするか、クラス指定をなくしてほしい。(IV - Q13-10 の理由で←クラス指定の曜時限にスポーツ実習以外の授業で魅力のある科目が重複している。)
- ・ 楽しい
- ・ スポーツは良いものだ。
- ・ 楽しいよ。
- ・ 楽しい
- ・ とくになし
- ・ 選べる種目数が少ないのは、大学の特性上しょうがないと思いますが、「剣道」「柔道」などの武道系も増やしていただけると幸いです。

経済学部

- ・ 特になし
- ・ サッカーなども楽しいけど、もっと種目を増やしてほしい
- ・ 選択科目が少ないのが困る
- ・ 2回生以上が取れる科目を増やしてください。
- ・ 他学部の人と知り合えたのがよかった。これは不通の授業ではなかなか難しい。人との交流を要するスポーツ実習ならではのことではないかと思う。
- ・ 平成維新だ コノヤロー
- ・ スポーツはいいものですよね

理学部

- ・ 単位が欲しいのでガマンして受けます。あまりいじめないで下さい。
- ・ 待ちに待っていた二軸運動なので、心から楽しんでやれています。これからも楽しみにしています。
- ・ 「テニス」というものを学校の授業としてしたことはなかったので、新鮮であり、前期は非常に楽しく取り組めた。種目を増やしつつ、これからも続けて行ってほしい。
- ・ 特になし

- ・ ケガの心配しすぎ。ケガしてナンボ。
- ・ オアシス的存在。
- ・ スポーツ実習そのものより受講する学生の方に不満が…。チーム組んだりする競技の場合人数がへるとゲームも満足にできないし…。もう少し合同させて、人数多くしてもいいのではと思います。クラス指定を外すとか…。学年越えてもいっしょにスポーツしてみたいかも。
- ・ 体育館復活してほしい。
- ・ 生きがいです。
- ・ 楽しく、運動できる場になればいいと思っています。
- ・ 特になし
- ・ 増加単位になっても、4回生までとりつづけようと思っている。
- ・ スポーツをすることで心身ともに健康になるので、スポ実を必修にしたいぐらい、おし進めてほしいです。
- ・ 競技の種目は多いが、二回生以上では少ない。選択肢をもっと増やしてほしい。
- ・ 京都大学の学生はやはり運動不足におちいりがちであるので、スポーツ実習のウェイトがもっと高くてもいいように思えます。(D群2単位くらい必須にするか?!)
- ・ 特になし
- ・ もっと時間を増やしたらいいと思う。理学部では2年分しかスポーツ実習を履修できない(それ以上やると増加単位になる)のでその制度もどうにかした方がいいかもしれない。
- ・ 全体的に楽しめてよかったです。

工学部

- ・ ない
- ・ さあて、がんばろぞ!
- ・ 前期に吸ったであろうアスベストは大丈夫なんでしょうか。
- ・ 今更アスベストって…
- ・ アスベスト
- ・ 楽しい!!
- ・ 特にありません。
- ・ 開講時間を増やして欲しい。
- ・ もっと練習時間の方があっていいと思います。試合形式ばかりではなく。
- ・ 健全な肉体には、狂気がやどる
- ・ とくになし。
- ・ たのしい。
- ・ アスベスト処理で、後期に受けようと思っていた卓球が取れなかったのが残念。
- ・ 特になし
- ・ テニス Love です。
- ・ 特にありません
- ・ ないです
- ・ クラス指定の時間にやりたいスポーツがなかったりするとかなりへこみます。後期でサッカー

がとれるようになったのはうれしいです。

- ・ ケガがないように、楽しくやっていければいいと思う。クラス指定の時間にやりたい種目がないのはつらい。事前にアンケートとかとって、開催する科目を選んで欲しい。
- ・ 特になし。今のままで満足。
- ・ 楽しくスポーツしたい。
- ・ 物工だけ前期にサッカーがなかったのが残念だった。
- ・ 楽しいです
- ・ いいんじゃないかな？
- ・ サッカーボールは準正三十二面体。
- ・ 1限はつらい。
- ・ スポーツ実習で、単位がくれるなんてすばらしい。
- ・ 部活ではないので、楽しくできて、ある程度の基本が習得できれば良いと思う。そういう点からいって、僕の担当の教員は、良い人だったと思う。
- ・ スポーツは楽しい！！
- ・ 1週間に2回以上やりたいんですけどー。
- ・ スポーツは健康によいので、やるべきである。
- ・ 楽しい。
- ・ どれだけ不要だと言う人がいても、なくしてほしくないと思う。
- ・ 楽しく体を動かせるのでよいと思う。1単位でなく2単位にしてほしい。
- ・ いいと思う。
- ・ 特になし
- ・ とても楽しく、リラックスできる場でもあるのでやはり必要だと思う。
- ・ スポーツ実習は、楽しい。
- ・ 楽しめることが1番だと思います。僕の場合、実際楽しいです。
- ・ 2単位にしてほしい！！
- ・ 時間帯を選べるようにしてほしい。
- ・ 2単位にして欲しい。バスケやりたい。
- ・ スポーツをやるということ自体に一番意義があると思います。でもそれだけでなく、実習という授業の形でスポーツをするということは、ただの遊びではない場であるので魅力的です。僕にとってはスポーツを通していろんな人と触れ合い、精神的にもよい日々を過ごすきっかけにもなっています。
- ・ 前期に受けて楽しかったので、後期も楽しみにしています。
- ・ 特になし。
- ・ 特にないです。
- ・ 特にないです。
- ・ 特になし。
- ・ 技術面での優劣は仕方ないから、まあ評価は主席で。
- ・ 1限は正直キツイ
- ・ とにかく楽しくやりたいなと思っています。

- ・ D群（スポーツ実習）は不要だと思う。なぜなら、遊び感覚だから。
- ・ 楽しい
- ・ 初心者も楽しめるようにしてほしい。下手でも楽しめたらいいな、と思う。
- ・ レポート課題とかを出さないでほしい。
- ・ これからがんばろうと思います。
- ・ まだやったことないので分かりません。
- ・ とくになし
- ・ バスケしたい
- ・ 他の学部生で単位が認定されないところもあるのでぜひ認めてほしい
- ・ 特になし
- ・ 楽しいです。先生が割とテキトーに授業をやっている感もありますが、それも含めて楽しいと思います。
- ・ 抽選落ちなんてしたらそれだけで行く気なくなります。もっと自由に選択できるようにして下さい。
- ・ 授業でスポーツが出来ることは非常によいことだと思うが、クラス指定となっているためどうしても自分がやりたい種目ができないので、2回生では好きなスポーツがとれるような配慮があるとうれしいです。
- ・ 単位をとるためではなく、健康な身体を作るためにも大切であるべきです！勉強 only はやっぱりダメでしょ！
- ・ 特にないです。
- ・ 体が動かせていいです。
- ・ 最高に楽しいです！
- ・ 宮崎先生はおもしろいです。
- ・ アスベストをなんとかしてほしい
- ・ 週に1度気晴らし気分が良いと思う。
- ・ Nothing
- ・ いままで知り合っていなかった他の学生とも有効を深めていきたい。
- ・ スポーツ実習は、単なるストレス解消、健康維持の場として捉えています。
- ・ 頑張ります！！
- ・ 楽しいです。
- ・ 単位をもっととりやすくして下さい。そのスポーツの経験者がじゃま。特にサッカーなどで調子こいてるやつ見るといってもたってもいられません。

医学部

- ・ 医学部こそ単位認定してくれ。なーんてネ
- ・ やはりその種目の上達を望む。うまくなりたい。
- ・ 医学部も卒業単位にしてほしい

薬学部

- ・ 特になし

農学部

- ・ 今回は Web 登録なので、同じ時間に同じ教科を女子が選択しているかわかりません。前期は女子もちゃんというのとわかって（初回の顔見せで会えたから）いたから安心でしたが、後期女子だからという理由で落とされないか心配です。
- ・ スポーツ実習は単位に認定されませんが、良い息抜きやリフレッシュになります。
- ・ 教員免許を取るのにスポーツ実習を受けなければいけない理由がわからない。ちなみに私は農学部なので卒業するのにスポーツ実習は必要ないのでそう思います。
- ・ 学部によって、スポーツ実習が必修だったり、そうでなかったりするが、その基準は何なのか疑問に思う。
- ・ 技量の有無、うまい、下手に関係なく楽しめる授業だったらいい。
- ・ 体を動かしたい。
- ・ 体を動かしたい。
- ・ 農学部もスポーツ実習をクラス指定にして欲しい。

自由記述回答（医・薬・農学部用アンケート）

Q6. Q5.（学校の授業の中で体育は必要だったと思いますか？）で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

医学部医学科

【「必要」と答えた者】

- ・ 学校の体育以外に運動する機会が特にないので、健康維持のために必要だと思うから。
- ・ スポーツを通して、チームプレー、仲間と協力し合う精神をつちかうことができる。また、体力向上、健康維持に役立つ。
- ・ 気分転換になる。んでおもしろい。
- ・ スポーツを通してしか得られない喜び、感動がある。スポーツをすることでより勉学にも励むことができる。
- ・ スポーツすることで、お互いのコミュニケーションがとりやすくなるから。
- ・ 運動部以外の人にとっては貴重な運動時間となると思うから。
- ・ 運動する機会が限られるから。
- ・ 体を動かすことは健康にも大切。
- ・ 運動は大事だと思うから。
- ・ 楽しかったから。
- ・ 体を動かすと気分が良いから。友達と楽しめるから。
- ・ 勉強の合間の気分転換。人とのコミュニケーションの場。
- ・ 皆で協同であるから。
- ・ 勉強づけの毎日の中でリフレッシュできるから。
- ・ 全員参加でスポーツをやることは社会の中での団結力を学ぶよい機会だと思うから。
- ・ たのしいから。
- ・ サッカー、バレー、バスケットボール等、集団で行うスポーツは、人格形成に有用である。
- ・ 気分転換に良い。
- ・ 体がなまる。
- ・ 体がなまるから。
- ・ 体力の維持。
- ・ 息抜き。
- ・ 運動不足を解消できた。
- ・ ストレス発散になる。
- ・ クラブが体育系ではなかったから。
- ・ 体がなまるから。
- ・ 体力の強化につながった。
- ・ 鍛えるため。
- ・ 楽しめて息抜きできたから。
- ・ 18才未満は、学校教育での体力作りも必要であり、スポーツ文化に対する興味も増すから。

- ・ 息抜きに運動するのはよいと思うから。
- ・ 生活の中で運動する機会が減る。
- ・ 運動することで、精神面でも安定するから。
- ・ 楽しかったから。
- ・ 体を動かすべし。
- ・ 生活習慣病予防。
- ・ おもしろいから。
- ・ 体を動かさない人には強制があったほうがいいかもしれない。
- ・ 運動不足になるから多少は運動する機会があったほうがいい。
- ・ 体を動かすことが少ないから。
- ・ 机に向かう授業以外に体を動かすことなども大事だと思う。
- ・ 頭だけでなく体も使わないと…。クラスメイトとの交流になる。
- ・ 学校は机に向っての勉強だけを教える場ではないから。
- ・ うんどうぶでない人のため。
- ・ ある意味、息抜き。
- ・ 運動する機会をつくれるため。
- ・ 健康に対する意識を高めたり、運動不足解消のため。
- ・ 体力をつけるため。友人との友情を深めるため。
- ・ 楽しい。
- ・ たのしいから。
- ・ たのしいから。
- ・ 勉強ばかりでストレスがたまるから。
- ・ クラブに入っていない人は運動不足になるから。
- ・ 勉強以外にも体をうごかしたり等の課外活動は必要である。
- ・ 小・中では純粋に体を動かすことが好きだったから。また、特に高三から受験一色になると、自分で体を動かす機会がほとんどなくなったため、体育の授業はいい機会だから。
- ・ 楽しいから。運動不足解消になったから。
- ・ 定期的に運動ができる。体育以外でスポーツ特に、複数、をするのは、人数確保が大変。

【「不要」と答えた者】

- ・ 部活で運動するから。
- ・ きらいだから。
- ・ めんどい。
- ・ 学校の授業でやるものじゃない。

医学部保健学科

【「必要」と答えた者】

- ・ 勉強の気分転換。
- ・ 外で運動することは健康に必要だと思うから。
- ・ 体を動かさないとストレスがたまるから。

- ・ 現代の子どもには体育必要。
- ・ 怠った体を運動で多少動かすのは良いことかと。
- ・ ストレスが発散されるから。
- ・ 気晴らし。
- ・ なければ運動を全くしない人もいるから。
- ・ いい気分転換になりました。
- ・ 体を動かすことは重要だと思うから。
- ・ 体も頭もバランスよくきたえる必要がある。
- ・ 体を動かさないと、健康的によくない。ストレスがたまると思う。
- ・ 色々なスポーツがあることを知ることは必要だと思うから。
- ・ 最低限の体力を保持できたから。
- ・ 体を動かすこと、体力をつけることは重要。
- ・ 勉強ばかりだとつまらない。体を動かすことは楽しいから
- ・ 運動不足解消のため。
- ・ 体をうごかすことは大切だと思うから。
- ・ 好きだから
- ・ 大学に入ると、体を動かすことが少なくなるが、健康面から考えても、体を動かすことは大切だし、何よりも良いリフレッシュになる。
- ・ 体を動かす時間は必要。
- ・ 楽しいから。
- ・ スポーツも重要。
- ・ 大学生になると自分からすすんでしない限り、運動しなくなるから。
- ・ 勉学に打ち込む反動として、運動不足の慢性化を防止するため。
- ・ “健全な精神は、健全な肉体に宿る” と思うから。
- ・ 適度に体を動かすことは楽しいし、健康上必要。また、仲間の和を保つにもよい。
- ・ 定期的に体を動かす機会がほしい。
- ・ 日頃運動不足だから。
- ・ 身体的发展
- ・ 気分転換
- ・ 体力をつけるという点で必要だと思う。
- ・ 体を動かすことは心身を鍛えることだから。
- ・ 体育以外で運動する機会がないから。
- ・ ないと体を動かさない
- ・ からだを動かすことも必要だと思うから。
- ・ いすに座ってばかりの生活が良いはずがない。部活とちがって気楽に、いろいろなスポーツができる。
- ・ チームで対戦したり、練習することでより仲良くなれる。
- ・ 文化系の部活に入っている人は運動する機会がなかなか得られないと思うから。
- ・ 体を動かすことでストレス発散になるのでは。

- ・ 適度な運動しないと体に悪いと思うから。
- ・ たいりよくが・・・
- ・ 体を動かすことで、机上の勉強では得られない充実感を得られるから。
- ・ 一人一人の個人がスポーツという団体行動をすることで学べることは大きいと考えたから。
- ・ 体力をつけるため。気分転換のため。
- ・ クラブなどの普段運動していない人に貴重な運動の機会だから。
- ・ 普段に運動しないので運動不足解消になる。
- ・ 部活動に入っていなかったの。
- ・ ずっと勉強はしんどいから。
- ・ 唯一運動する場だったから。
- ・ 体を動かすことが病気になりにくい、強い体をつくるうえでとても重要だとおもうので。
- ・ 体がなまるから
- ・ リフレッシュ
- ・ 息ぬき
- ・ 体を動かす機会が無い人には必要。
- ・ 健康のためにも運動は必要であるから。
- ・ ストレス解消、場合によっては運動不足解消となるから。
- ・ 運動部に入っていない人には運動する機会が必要。
- ・ 基礎体力の向上につながる。
- ・ 運動不足の解消、リラックス
- ・ 息抜きに体を動かすことは必要。他で体を動かすことがない。
- ・ 健康であるため、やはり運動は必要。
- ・ 一般的なスポーツはできた方がよい。運動する習慣がついた。
- ・ 体を動かすことは健康のために必要だと思う。
- ・ 勉強以外のことで体を動かすべきだから。
- ・ 体を動かすことで、リフレッシュできたし、普段話さない人とも同じチームになって話せたりした。
- ・ 体育がないと運動しないから。
- ・ 適度に運動できるから。
- ・ 運動は大切
- ・ 運動が必要だから
- ・ 体を動かすことで、他の授業で固まった体がほぐれるし、運動により得る刺激で体の状態を良く知ることができるから。
- ・ 運動する時間がたりないと思うから。
- ・ 勉強だけでは楽しくないから
- ・ 体を動かすことでストレス発散やリフレッシュにつながるから。
- ・ 体を動かす場と時間の確保
- ・ 体を動かすのも勉強の1つだと思う。
- ・ 気分転換になる。仲良くなる。

- ・ 体を動かすことで心がスッキリする。
- ・ 運動不足の解消になるから。
- ・ 運動を定期的に行なう意義は充分あるから。
- ・ 勉強の息抜き
- ・ 体を動かすことで脳の活性化につながる。頭を使ってばかりはイヤ。
- ・ 体を動かすとストレス解消になる。チームとか作ることで普段話さない人とも話すきっかけができる。
- ・ 健康のために運動は必要だから。
- ・ 息抜き
- ・ スポーツに全く関わらなくなることもあり得るため。
- ・ 楽しいから。多勢でスポーツする機会がなかなかとれないから。
- ・ 定期的に運動することは大切。
- ・ 体を動かすことで気分転換になるから。
- ・ 体を動かすことは日常生活における基本だから。
- ・ 体を動かす機会が少ないため
- ・ 運動は楽しいから
- ・ 体を動かすことは必要だから。
- ・ 体を動かす機会はあった方がよかった。
- ・ 様々なスポーツを体験できると共に、リフレッシュになるから。
- ・ 文化部に入っていたので、適度な運動が必要。
- ・ 私は体育が好きだから。
- ・ チームワークの大切さを学ぶことができる。
- ・ 運動不足になる。
- ・ リフレッシュになるから。
- ・ 体力作り。コミュニケーションツール。
- ・ 体を動かしたいから。
- ・ クラブをやめたのちに唯一体を動かせる場であったし、なにしろ、単純におもしろかった。
- ・ 運動することは健康に良いから。
- ・ 運動量が体育があるのとないのでは全然違ってくるため。
- ・ ストレス発散
- ・ 勉強にも体力がいらいます。てか動かして下さい。
- ・ 体を動かすことは必要です。
- ・ ストレス発散になるし楽しいから。
- ・ 気分転換になる
- ・ 体を動かすと気分転換になるから。
- ・ やはり体を動かすことで気分のリフレッシュにもなるからです。
- ・ クラブをしていない人はなかなか運動、特に大人数でスポーツにふれる機会はないため。
- ・ 友達の輪がふえる
- ・ 体を動かすのは大切

- ・ 息ぬき
- ・ ある程度の体づくりになるから。
- ・ 体を動かすことによってリフレッシュできるし、定期的に運動する機会ができるため。
- ・ 運動はやった方が良い。
- ・ たのしー
- ・ 部活動をしていなかったため、体育の授業が体を動かす良い機会だったから。
- ・ 体を動かすべき
- ・ 運動は大切だから。
- ・ 体力維持のため
- ・ 体をつくるためには不可欠
- ・ 体を動かすのは気持ちいいから。
- ・ 気分転換に必要であったと思う。
- ・ 太る

【「不要」と答えた者】

- ・ 自分が苦手なスポーツも無理強いさせられるから。
- ・ しんどい。
- ・ 家でうんどうしたらいい。
- ・ 自分が苦手なので。
- ・ 部活・サークルがあるため

薬学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 頭を使ってばかりではなく体を動かすことも大切だから。
- ・ 継続的な運動は健康に不可欠だと思うから。
- ・ 体を動かすことも大切だから
- ・ 運動不足解消の為
- ・ 受験勉強の息抜きとして
- ・ 体力づくり
- ・ 教育の場において勉強だけでなく体を動かすことも必要だと思う。
- ・ 運動することでストレスも発散できるし、運動不足を解消できるから
- ・ いい運動になる
- ・ 運動しなくなるから
- ・ 体はたまにはうごかさないとね
- ・ 体を動かすべきだから
- ・ 身体の成長に必要だと思うから
- ・ ストレス解消
- ・ スポーツを通じてチームワークなどを養える
- ・ 運動すること生まれる結束力もある。
- ・ 体を動かすことは大事だと思う。

- ・ 体を動かすのは良いから。
- ・ 運動不足
- ・ 体を動かすことは重要だから
- ・ 気分転換、友達との交流の場
- ・ 授業のカリキュラムに入れてもらえないと、自分から「運動をする」という機会が自分ではなかなか得られないと思う為。
- ・ 全くないと運動の機会がなくなるから。
- ・ 交流が深まる。ストレス発散。
- ・ 授業以外で運動しなかったから
- ・ 体を動かすことがないから。
- ・ 体を動かすことを授業で教えることは不要と考えるため
- ・ 体を動かすことは大事。健康的によいし、体力が少しはつくだろうから。あと、楽しいから。
- ・ 運動不足になるから。
- ・ 息抜きになる
- ・ 良い気分転換になる
- ・ 体を動かすのはいいことだから
- ・ スポーツする時間がなくなるから
- ・ 健康と根性を養うため
- ・ 普段運動をあまりしない人でも運動できるから。
- ・ 基礎体力を身につけることは必要だと思うから。
- ・ 楽しい
- ・ たまには
- ・ ないと日常生活で運動しなくなるので。
- ・ 体は大切
- ・ 体を動かすのが大切
- ・ 学校で定期的に運動することで心身ともにリフレッシュできるから。
- ・ 楽しいし、運動は大切だから。
- ・ 運動不足になりがちだから
- ・ 体を動かす機会をつくるべき（特に受験生は運動不足になりやすい）。また、広い場所や種々の設備を無償で使うことができるから。
- ・ 息抜きになりやすかったから。
- ・ 運動する機会の少ない人もいるし、運動（特に団体競技）で他の人との結束もできるから。
- ・ 体を動かす機会を得れたから
- ・ 体動かさなくなるから
- ・ 気分転換にはなる
- ・ 楽しかったから
- ・ ストレス解消になるから
- ・ 体をうごかすことは、いい気分転換になるから。
- ・ 授業以外に体を動かす機会が少ないから。

- ・ 体を鍛えるのは人生に有益ですから
- ・ 体を動かすことは重要だから（太るから）
- ・ ストレス解消のため
- ・ 体育でいろいろなスポーツの基礎を学んだから。
- ・ 体を動かすと気分がスッキリするから。
- ・ 運動系のサークルにでも入らないかぎり運動する機会があまりない。
- ・ 体を動かすことは精神衛生上良いと思うから。
- ・ 体を動かす機会の少ない人にとっては必要
- ・ 体を動かしたい
- ・ 頭の動きをよくする上で体を動かすことは必要だから。
- ・ 体を鍛えることはなんだかんだいって大切だと思う。
- ・ イライラするから
- ・ 体を動かすこと。チームを組めること。
- ・ 授業以外スポーツをしない人には、体育の授業でしか体力をつけ、健全な肉体を作る機会がないから。
- ・ 定期的な運動は物理的、精神的健康に不可欠。
- ・ 部活に入らないと運動不足になる。
- ・ どうしても机に向かってする勉強になりがちなので。
- ・ 体力が落ちるから
- ・ 運動したいから
- ・ 体力増進はもちろん、友人たちとのスキンシップになっていたと思う。受験期は生活のメリハリがつき、かえって勉強しやすかったと思う。
- ・ 他に運動する機会がないから。
- ・ 体育の授業がないとスポーツをしないため。
- ・ ストレス発散。健康維持。
- ・ そうでないと運動する機会がない。運動が嫌いだから。
- ・ 体を動かすことには、体力向上の効果があることはもちろん、気分転換の要素もあり、生活する上で重要であると考えるので。
- ・ 日常生活で特に運動する機会のない生徒も参加することで、ある程度の運動を確保できる。
- ・ ストレス解消、友人とのコミュニケーションが深まる。
- ・ 授業の中で一番友達と仲良くなれたから。
- ・ 体育で運動しないと他に運動する機会がなかったから。
- ・ ストレスはっさんになる
- ・ 運動が必要
- ・ 体育で集団スポーツなどを通じてしか学ぶことのできないことがあると思うから。
- ・ 運動不足解消。普段あまり話さない人とも話せる。
- ・ 体を動かすことは必要だから。
- ・ 運動したい
- ・ 文化部だったので体力維持のため

- ・ 体を動かすことも、人間の健康に不可欠なことだから。
- ・ 体を動かすのは大切
- ・ 気分転換になる
- ・ 息抜きになる。運動不足解消。
- ・ 運動する機会を与えてくれるから。
- ・ 運動は体の発育に必要であるから。
- ・ 体を動かす機会は必要だから。
- ・ 運動不足解消
- ・ いきぬき
- ・ ストレス発散になるから
- ・ 定期的に体を動かす機会が必要
- ・ 気分がリフレッシュされて授業にのぞめるから
- ・ 運動は大切だから。
- ・ 普段体を動かすことのない人も運動する場を得られるので。
- ・ 楽しいし、仲も深まるから
- ・ 心身の健康のため

【「不要」と答えた者】

- ・ 全員でやるのは効率が悪い
- ・ 嫌いだから
- ・ 授業の中にあっても、ただぼーっとしているだけで身につかないから
- ・ 得意な人と不得意な人がいっしょに授業を受けるのが大変。

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ 種目により好き嫌いがわかれるため

農学部

【「必要」と答えた者】

- ・ きちんと授業で、サッカーやバスケット、テニス等の方法論や、安全な方法について教えてもらえれば、より楽しくスポーツができると思うから。
- ・ 常に体を動かすことは大切。
- ・ 頭の勉強ばかりの授業だけではハリがない。運動の好きな人や部活でしているとかなければ、なかなか運動することはないので、私は体育で、そんなに運動が好きでなくとも、体を動かすことが毎週あったのしかたし、けんこうにもいいとかんじた。
- ・ 体育が無いと体を動かすことが無かったから。
- ・ 体動かさないと不健康になる。
- ・ でないと運動不足になる。
- ・ 気合いが入る。
- ・ 人間の健康を維持するために、運動は必要不可欠であり、生活の大半を授業が占めていた高校時代には、授業の一部にあっても良いのでは？
- ・ 体力をつけるため。

- ・ 健康のため
- ・ やはり、ある程度体を使うことは必要だと思うから。
- ・ 体を動かす時間は必要だから
- ・ 息抜きとなっていた。+少ない運動機会
- ・ うんどう不足の解消
- ・ 体を動かすことは、大切なことだから。
- ・ 体・心がリフレッシュでき、気分転換になったから。
- ・ 学生は運動する機会が少ない。
- ・ 自主的にやらない人にとっては体を動かす機会が必要。
- ・ 体をうごかすことによつてのびのびとクラスの人と仲よくなることができる。勉強だけが学校じゃない。
- ・ 運動不足解消
- ・ 体を動かすことは大切であるし、学校のような人数の集まる所でないとできない競技もあるから。またチームワークというものを覚えられる。
- ・ 体を動かすことは脳の活性化につながるから。ストレスを発散できるから。
- ・ 特に高校は進学校に通っていたので、勉強の合間の息抜きにもなったため。
- ・ クラス内のコミュニケーションがとれると思う
- ・ 私は部活で運動部に入っていないので、1週間のうちに、体を動かす時間が必要。
- ・ 運動不足にならないように…。
- ・ 心身共に健全に発達するためには、身体を動かすことも必要であるから。
- ・ 部活でしている以外の運動種目についても、技能や知見が得られた。
- ・ 健康のために！
- ・ 体を動かすことは頭をすっきりさせるから。
- ・ ないと運動量がへって不健康になるから。
- ・ 体を動かす時間と場所がないから。
- ・ 楽しいから。
- ・ 体力は大切
- ・ 勉強だけで体を動かさないのはどうかと思います。特に受験の時期は体育があることで息抜き？ができました。
- ・ 社会に出てからの事を考えるとある程度の体力は必要だから
- ・ 時折体を動かすべき
- ・ 体をうごかすことが必要だと思うし、ふつうの勉強とはちがうものを学べるから。
- ・ おもしろいから
- ・ 高校までは体力づくりのためにも必要と思う。
- ・ 勉強だけしかしていないとやはり頭でっかちな人になってしまう。勉強もスポーツも両方して心身ともに健康な人間を目指すべきだと思う。
- ・ 遊ぶ心も必要！！
- ・ 気分転換によい。
- ・ 体を動かすことそれ自体が重要だと思うから。

- ・ 運動不足になりがちな日常だから。
- ・ 体をうごかす場を提供してくれるから
- ・ 現代人は運動不足だから、少しでもするべき。
- ・ 運動不足にならないため
- ・ 体育祭、マラソン大会の練習は必要だったと思うし、体育の授業で知ったスポーツもあったから。
- ・ 体力がつく。
- ・ 勉強のストレス発散の場になるから。体を動かすのは楽しいし、授業の中で体育があれば、定期的に体を動かすことになるため。
- ・ 勉強する以外の科目もあって良いと思います。
- ・ 様々なスポーツ経験は役立つから
- ・ 運動部に所属していない者に体を動かすことを促す
- ・ 基礎体力作りは必要
- ・ 楽しいから
- ・ 体を動かす機会が少ないから。
- ・ 体力をつけるため。勉強中の息抜き
- ・ 息抜きになるから
- ・ 体を動かすのは大切だから。
- ・ 仲間との交流
- ・ チームプレーを覚える
- ・ 体うごかすのは楽しいから。
- ・ 授業のあいまの息抜き
- ・ スポーツを色々学べるから。
- ・ 体育の授業は人とのコミュニケーションをほとんどの場面で必要としたため
- ・ 必要最低限の体力を養うよい機会だから。
- ・ 部活動で運動しないならば運動不足になるから。
- ・ 運動不足解消、友だちの新しい一面発見
- ・ 体が元気だと心も元気になる
- ・ リフレッシュになる
- ・ とりあえず体を動かさないといけないと思うから
- ・ 気分転換に運動は最適だと思うし、勉強にもよい影響を与えるはずだと思うから。
- ・ 最低限の体力をつけるため。
- ・ 体は資本であり、何をするにも必要なものである。
- ・ 50km マラソン、2km 遠泳、ラグビーなど、自分では絶対やらないようなことをして視野が広がったから。
- ・ 定期的に体を動かすことは心身の健康にとって重要であり、また運動によって人とふれあえるので
- ・ 体育会系のクラブにでも入っていない限り、運動をしないから、運動をする良い機会になる。
- ・ たのしいから

- ・ 教室に閉じこもっていると気がめいる。
- ・ 適度な運動は気分転換になるから。また、クラスやチームの親睦を深められるから。
- ・ 健康は全ての基本であり、体育という授業を通してやしなわれる部分があるので。また、気分転換としても適しているから。
- ・ 僕は部活をしていたけど、部活をしていない人にとっては体を動かす大切な場だと思うから
- ・ 体を動かす機会が他になかったから。
- ・ 体を動かさないと不健康
- ・ 健康のため
- ・ たまには体を動かしたほうがいい
- ・ 健康に良いから
- ・ リフレッシュできる。
- ・ 勉強以外の時間も必要
- ・ 運動不足が解消されるから
- ・ 運動意義
- ・ 運動不足改善
- ・ 体を動かす必要があると思うので！
- ・ 楽しい。
- ・ 楽しい。
- ・ 運動することが必要だから。
- ・ 単純に楽しいので気分転換になる。スポーツに取り組む中で友情をはぐくめる。
- ・ 気晴らし
- ・ 体育では、他の授業と違い、クラスのみなどと一緒に体を動かすので、仲良くなれるため
- ・ すごく楽しく、リフレッシュできたから。
- ・ 部活をやっている時はトレーニングになり、引退後は健康維持や気分転換になった。
- ・ 身体・精神の健全な育成に必要なから。
- ・ 体を動かすことは、他のことにも良い影響を及ぼす。
- ・ 健康に必要。
- ・ 健康は、人間が生きていく上で最も重要なものだから。
- ・ 体を動かすことは大事だから。
- ・ リフレッシュ
- ・ 楽しいから
- ・ 体を動かすことは必要。
- ・ 体を動かすことは大切だと思うから
- ・ 健康な身があるこそ、もっと勉強できると思います。
- ・ 楽しいから
- ・ 運動不足解消
- ・ クラブをやっていないと動かないから
- ・ 特に高3の受験期には、息抜きが必要で、体育の授業はそのよい機会であったから。
- ・ 動物は動いてなんぼだから

- ・ 勉強だけできてもだめだと思う。
- ・ 体がなまる。
- ・ 日頃の運動不足を解消することができたから
- ・ 体育の授業は基礎体力づくりと、リフレッシュを目的としたものと考えていた。効率のよい学習をするためにも授業は必要だと思う。
- ・ 文科系サークルやクラブに所属している学生はスポーツをする機会が少なく、体がなまる可能性は否定できないから。
- ・ 運動不足になるから
- ・ 部活でしている以外のスポーツをする機会が体育しかないから。
- ・ 青春を思い出すから。
- ・ 教育の幅を広げる
- ・ 運動系のクラブに入っていない場合に運動不足になる。
- ・ たまの運動も必要だから。
- ・ 気晴らし
- ・ 勉強以外にも、体を動かすことが必要だと思う。楽しいから。
- ・ 体を動かすことは精神的にも肉体的にも健全な人格を形成することに役立つと思います。
- ・ 集団訓練にもなると思うし、何よりとても楽しかったので絶対にあつた方がいいと思う。
- ・ 運動不足・ストレス解消、気分転換
- ・ 体の衰退をおさえるため！
- ・ いろんなスポーツを経験できるから
- ・ 体がナマります故。身体の正常な発達のために。
- ・ 健康の為になるし、他者とのコミュニケーションを計る場にもなるから。
- ・ 体育館を使ってバレーボールをするには、部に入る以外、体育の時間ぐらいしかなかったから。
- ・ 運動はストレス発散と息ぬきになるから
- ・ 今現在体を動かすことがほとんどなく、授業だけでもそのような機会は自分にとって有効だと思う。
- ・ 適度に体を動かすのは必要と思うため。
- ・ 他に運動の機会が少ない。集団のスポーツの楽しさを知れる。
- ・ 勉強ばかりしていても心が歪みます。体を動かすのは心の修養に必要であると考えからです。
- ・ スポーツをすることで学ぶことも多いから
- ・ 交流がはかれる。運動不足解消。
- ・ 体力の充実のため
- ・ 日常生活で運動は適度に必要だから。
- ・ 運動しないと精神衛生上よくない
- ・ 心身の健康のために必要だと思う。
- ・ 勉強の息ぬきになったから。
- ・ 体を動かすことでストレスをはっさんできる。
- ・ 日頃、体を動かす機会がないため。
- ・ 運動不足が解消

- ・ クラスメイトとの交流の場
- ・ 勉強ばかりのダメ人間(?)が大量発生するのを防ぐため(+おもしろいから)
- ・ ストレス解消に役立つから。
- ・ ストレス発散に、また、健康維持のために、運動は必要不可欠であると考えるからです。
- ・ 他クラスとも交流できる。受験期は貴重な運動時間。
- ・ 運動する機会がない人にそれを
- ・ リフレッシュ
- ・ 健康によい
- ・ 楽しいから
- ・ たのしい
- ・ 体をうごかすことは大事。
- ・ 体を動かすことは重要
- ・ 高校では良い友達関係を作れた。
- ・ 体を動かすことでストレスも発散できたし、楽しかった。
- ・ リフレッシュできるし、健康に良いから。
- ・ 授業で大勢とスポーツした方が楽しいから
- ・ 運動量がちがってくる。クラスの友人達と仲を深められた。
- ・ 体がなまる
- ・ 体を動かすのは大切だ。
- ・ 楽しいから
- ・ 体を動かすのは気分転換になる
- ・ ストレス発散になる。楽しめる。
- ・ スポーツ実習の「二軸動作」を受講して、「運動科学」の内容を実践することができ、有意義だったから。
- ・ あるていど体を動かすことは必要
- ・ 気分転換するよい機会だったから。
- ・ 普段あまり運動しないから。
- ・ まったく運動しない人もいるのでそういった人が適度な運動をするにはよい機会だと思う。
- ・ 運動不足解消
- ・ いろいろな種目のスポーツに触れる機会として必要
- ・ 特に受験生であった高3の頃、体育の時間がなければ運動しなかつたらうから。
- ・ 健康のため
- ・ 体を動かせるから
- ・ 体力をつける上で有効。さらに、種目としてのスポーツ理解も深まるので、重要だと思うから。
- ・ 運動機会
- ・ 運動してえ
- ・ ストレス発散
- ・ 気分もよくなり、また健康上でも有効であると思うから
- ・ 体を動かすことは人間にとって必要だから。

- ・ 高校の時は特に運動不足になりがちなので体育の授業はとても有意義だった。
- ・ 運動は大切だと思うから。
- ・ 体を動かすため
- ・ それ以外に運動をする機会がないから
- ・ 定期的に体を動かすことは、大切だと思うから。
- ・ ある程度の運動は必要だと思う。
- ・ スポーツに触れる機会が必要だと思うからです。私の場合、授業としての体育がなければ体を動かすことがほとんどなくなっていたと思います。
- ・ 勉強の息抜きとして。スポーツを通して得られるフレンドシップ。
- ・ 基礎体力をつけるため。
- ・ 適度な運動は健康維持に必要
- ・ 運動部に入っていない人は、体育の授業以外で体を動かす機会がない。
- ・ 息抜き
- ・ 体を動かすことで脳が活性化されるし、気分もリフレッシュできる
- ・ 楽しいし、身体を動かすのはすきだから。
- ・ 身体の健康は心の健康につながる。
- ・ たまには体を動かしたほうが良いと思う
- ・ 心身の健康のため
- ・ 体がなまる。
- ・ ある程度体を動かさないと頭の働きも鈍くなると感じるため。学習としてより健康の維持として重要だと思う。
- ・ 他の科目、休み時間、登下校に比べ、はるかに人間関係を深くできたから
- ・ 気分転換として重要であるから。
- ・ 生徒の身体能力を向上させるため。
- ・ 楽しい
- ・ 楽しい
- ・ うんどう不足になるから
- ・ たまには運動しないと
- ・ 楽しいから。
- ・ 体うごかしたいから。気分転換。
- ・ 大学生は体がなまりがちだから
- ・ より健康的な学生生活を送るため。
- ・ 息抜き。体力の増進、友人との交流を深める場。
- ・ 体を動かして健康になる。友達ができる。
- ・ 体を動かすのは大切だ
- ・ 授業で、外に出たり、思いっきり動く機会がほとんどないから。
- ・ 運動不足解消のため。
- ・ 運動不足解消のため。
- ・ 気分転換

- ・ 楽しみだったから
- ・ 体を動かすことはいいリフレッシュになるから。
- ・ 運動不足の解消
- ・ 受験等のせいでクラブをしていない人は体を動かす機会があまりないから。
- ・ 運動する事も必要だから。運動嫌いな人が運動する機会を設けるのは大切だと思う。
- ・ もっと強制的に体を動かす機会を増やす。
- ・ 団体で行うスポーツは個人的にやりたいと思ってもなかなか難しいから。
- ・ 毎週ある程度の運動時間を確保できたから。
- ・ 体を動かすチャンス
- ・ 運動は健康につながると考えるから。
- ・ 楽しみながら、体をきたえ、ストレス解消になるから。
- ・ 身体が元気な時は精神も元気
- ・ 楽しいし友だちをつくる機会にもなるから
- ・ 運動は健康維持に必要であり、部活動に参加していない生徒には体育は運動できる貴重な時間であるから。
- ・ 勉強ばかりだとストレスがたまってしょうがないので、体育の授業はその発散のためにも有意義だから
- ・ 運動量が足りないと思うから
- ・ 心身の健康のため。特に心の健康。
- ・ 運動することで健康的になれるから。
- ・ 体を動かすのは楽しい。ストレス発散にもなる。
- ・ 他にあまり運動する機会がないので
- ・ クラブに参加していない時期には定期的に運動する機会がないから。
- ・ クラスの人や、もしくは新しい友人と共にカラダを動かすことは、心身の健康によい。
- ・ 学習の余りにリラックスできる。
- ・ 運動も勉強と同等に重要と考えるから。
- ・ ちょっとは運動することは必要だと思うから。
- ・ 楽しいから
- ・ 体がなまる
- ・ 授業を除くと体育、スポーツに接する機会は少ないから。
- ・ 楽しいから
- ・ 運動不足解消
- ・ 気分転換等
- ・ ストレス発散にはスポーツは最高だと思います。やったことのないスポーツをかじるのもいいですね。
- ・ 様々なスポーツに触れることが出来たから。
- ・ 高校生ぐらいからは運動不足になりがちなので。
- ・ 人間は頭だけで生きているわけではないから。
- ・ 勉強ばかりだと気がめいる。友人がしやすい。

- ・ 色々なスポーツの体験ができるから。体育以外ではサークルに所属するか、お金を出して習う以外に機会がない。
- ・ 体力の維持
- ・ 体力づくり
- ・ 体がなまるから。適度の運動は日常的に必要。
- ・ 人のからだについてあつかう学部だから
- ・ 体育を通じて、仲間とのコミュニケーションのとり方も学習できると思うから。
- ・ 勉強以外にも体を動かすことが必要だと思う。
- ・ 体を動かす機会が必要。
- ・ 運動するきっかけが少ない。
- ・ 運動は健康維持で重要。正しい運動の仕方を身につける。健康がいっちゃん大事。
- ・ 息抜きに良いから
- ・ やはり、健康に生きていく上で、必要不可欠なものであり、学力も健全な体があってこそ、向上するものだと思うから。
- ・ 体を動かす機会は大事だから
- ・ 体を動かすことは必要だから。
- ・ 体育だけ成績よかったから。
- ・ 眠気ざましになるから。
- ・ 健康上
- ・ 体育がないと運動しない
- ・ 体を動かす機会が他に無かった為。(クラブに入ってなかったの。)
- ・ 楽しいから。
- ・ 必要だから。
- ・ 適度な運動
- ・ 運動ないとつまらないから
- ・ 運動することは生活の中で絶対必要だと思う。それは健康増進につながる。病気を防ぐ。
- ・ 不要なものなんてない。
- ・ 協調性をはぐくむから。
- ・ 楽しいから。体を動かすっていいね。
- ・ ストレス発散、適度な運動。
- ・ 授業以外では運動する機会がなかなかとれないから。
- ・ 運動する機会がクラブと違って楽しかったから
- ・ 特になし。
- ・ 高校生にもなると、運動部にでも入ってない限り体を思い切り動かすこともないので、授業でそういう機会があるとリフレッシュできるから。スポーツが嫌いでも高校くらいまでは体を動かした方がいいと思う。
- ・ 自分から運動しないから
- ・ もし体育がないと全く体を動かす機会がなくなるから。
- ・ リフレッシュのため。

- ・ 勉強の息抜きになるから。
- ・ 体の動かし方を学べるので運転技能等の取得がはやくなる。
- ・ 運動不足解消のため
- ・ 体を動かすことで、心身がよりよい方向に行くから。
- ・ 授業の体育は、運動をするのに、よい機会だったと思うから。
- ・ 運動不足は精神の不健康につながる。
- ・ 定期的に体を動かすことは必要だと思います。
- ・ スポーツを通じて、友達とのコミュニケーションがとれるから。
- ・ 勉強しかできない人間を作っても社会の役に立たないから。
- ・ ストレス発散。友達とのより深いつき合い。
- ・ 部活動の他に決まった運動をする機会として重要と考えるから。
- ・ 運動不足が防げる
- ・ リフレッシュになる。友達ができる。
- ・ 楽しかった。
- ・ 適度な運動は健康のためになるから
- ・ おもしろいじゃん。
- ・ 体動かせる
- ・ 体うごかしたいから
- ・ 進学校で運動不足になりがちだったため
- ・ 運動はある程度したほうが体にいいから
- ・ 進学校だと、どうしても机上学習に偏りがちで、ストレスを発散する機会が少なくなりがちだから。
- ・ 体力維持のため

【「不要」と答えた者】

- ・ しんどいから
- ・ 部活がある
- ・ 疲れる
- ・ 運動したかったら自分一人でもできるから
- ・ 嫌いだから
- ・ 部活があったから
- ・ おもしろくないですから
- ・ 得意な人が不得意な人をけなす傾向があったから。
- ・ “おしきせ”の団体スポーツは面白くない。
- ・ 疲れます。
- ・ 大学生にもなって運動を強制される必要は全くない。やりたい人だけやればよいと思うから。

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ うけてない。

Q9. Q8. (あなたはスポーツ実習を卒業に必要な単位として認定する必要があると思いますか?)
で「必要」、あるいは「不要」と答えた方は、その理由を簡潔に書いてください。

医学部医学科

【「必要」と答えた者】

- ・ 認定されると、より多くの人に参加するため、広い人間関係が築ける。また、スポーツを通して、深い人間関係も築ける。
- ・ 単位として認定されない以上、スポーツ実習をとりたいたいと思っている人も、思いとどまってしまう。そうするとスポーツを通してしか得られない、人間性をより一層成長させる機会を失ってしまう。
- ・ 体育も教養。
- ・ スポーツすることも必要だから。
- ・ 頭だけでなく、体を動かすことで満足。
- ・ 医師になるのに必要なコミュニケーション能力と体力が身につくから。
- ・ あったら、大学生活の中でのリフレッシュになるから。
- ・ スポーツ実習を必修とし、その分 AB 群の必要単位を減らすべきである。
- ・ 体力をつけたい。
- ・ 医者は体力仕事でもあるから。
- ・ 運動不足解消。ストレス解消のため
- ・ おもしろいから。
- ・ 体を動かすことが少ないから。
- ・ 体力が将来必要とされるから。
- ・ 体をきたえるべし。

【「不要」と答えた者】

- ・ 実習する意義が明確に示されていない。
- ・ 運動したいなら部活等であればよいと思う。
- ・ 個人で勝手に運動すればよい。
- ・ 勉強だけで精一杯だから。
- ・ 必要性を感じない。
- ・ 各自が好きなスポーツを好きな時にやればよい。
- ・ もう大学生なのだし、強制されて運動するのも面倒くさいから。
- ・ スポーツがやりたければ自主的にする為。
- ・ スポーツがしたい人は、単位に関わらず履修するだろうから。
- ・ 部活で運動するから。
- ・ きらいだから。
- ・ 卒業後不必要だから。
- ・ 18才を過ぎれば、体力作りは自己責任であるものだから。
- ・ サークルに入ればよい。
- ・ 必要性がない。

- ・ 運動必要なら自分でするし。
- ・ できるだけ自由にしたほうがよい。
- ・ 人によって得意・不得意の差が大きく、成績評価にふさわしくない。強制してやらせるべきではない。
- ・ それは高校までで充分だから。
- ・ 普通に考えて。
- ・ めんどい。
- ・ スポーツをやる意欲のある人はサークル等で自主的にやるから、学校でする必要はない。
- ・ 大学側がスポーツ実習を強制することはない（小・中・高じゃあるまいし）。やりたい人はやればいいと思う。
- ・ 大学に入ってまで、健康管理のことに時間を割く必要はないと思う。それ以外に重要なことがあると考えているから。
- ・ スポーツが医学に必要とは思えない
- ・ 個人の自由。
- ・ スポーツしたい人は自分なりに（サークルなど）やると思うから。
- ・ 必須単位にしたときのメリットが小さい。（受講したければ現状でもできるので。）高校までと違い、大学生は自己管理の責任があると思うので。

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ やりたい人がとればいいと思う。しかし、クラス内で体育をするのは交流になっていいとは思わない。

医学部保健学科

【「必要」と答えた者】

- ・ コミュニケーション能力をやしなう。
- ・ スポ実やりたいから。
- ・ 体力ないとだめだと思う。
- ・ スポーツ実習をある意味で時間の無駄ととらえたくないから。
- ・ スポーツも勉強であるから。
- ・ 体について学ぶ者が、体を動かさないなんてありえない!!
- ・ 好きだから
- ・ 医学部に所属する者として、運動の必要性を身をもって感じるべきだと思うから。
- ・ 特になし。
- ・ 机に向かって学ぶ以外に体を動かして学ぶことも多いし大切だと思うから。
- ・ 体を動かすことは必要と思う。
- ・ 身体がなまる
- ・ いろんなことを学ぶべきだと思う。他学部との交流がとれると思う。
- ・ スポーツが人生に不要とは思えないので。
- ・ 何故医学部は認定されないのかわからない。
- ・ 保健学科は体力が必要なのでは？

- ・ Q6と同様に(一人一人の個人がスポーツという団体行動をすることで学べることは大きいと考えたから。) スポーツという団体競ぎで学ぶことは大変多いから。
- ・ 体力は必要だと思うから。
- ・ 運動は大切だと思うから。
- ・ スポーツ実習を積極的にしたい。
- ・ そういう要素も入れていくべき。
- ・ やはり一般教養の中で体育は必要であると考えから。
- ・ スポーツも大切なべんきょうだから。
- ・ スポーツをすることは看護学生にとっても必要だと思う。
- ・ ずるいから。
- ・ 一定時間、学業として学ぶわけだから。他大学では教養の一単位として存在しているから。
- ・ 運動は大切だと思うから。
- ・ 運動系サークル・部活をしていない人は運動不足になりそう。
- ・ 保健学科では机上の勉強と同じに自分で体得することが必要だから。
- ・ 保健学科で健康づくりを学ぶ者として健康づくりのためのスポーツは必習すべき。
- ・ 体育をやりたいのに単位をもらえないと辛くなってしまう。
- ・ 他学部の友達が増える。
- ・ 運動不足になるから・・・。
- ・ 運動は大切なことだから、卒業に必要な単位としてもおかしくない。
- ・ 高校時以上に体を動かす機会も少なく不規則な生活になりがちだから
- ・ 運動する機会が少ないから。
- ・ 医療人として体力も必要だから。
- ・ 運動をする必要があると思ったから
- ・ あっても良いものだから。
- ・ スポーツっていいですね。
- ・ 認定されなければとっても意味がないと思ってしまう。
- ・ 運動は大切だから。
- ・ 選択肢が増えた方がよいと思うから。

【「不要」と答えた者】

- ・ 運動はマイペースにしたいので、差し迫らなければとりたくない。
- ・ 大学では時間的に余裕があるのでサークルや部活で体を動かせばよい。
- ・ 個人の自由。
- ・ 運動したい人は勝手にするから。
- ・ スポーツを目的に大学に来たのではないから。
- ・ それぞれにやりたいスポーツがあっても、スポーツ実習にない場合もあるので。
- ・ 好きな人は自由にしたら良いと思うから。
- ・ しんどい。
- ・ 別になくても良い
- ・ 運動部に入っている人には不要。

- ・ 単純にいらなと思う。
- ・ サークルで運動しているから。
- ・ スポーツ実習を履修したいのに、できなければ問題があるが、そうではないので認定する必要はないと思う。
- ・ これ以上授業を入れたくない。
- ・ 水泳とマット運動があれば考える。
- ・ めんどくさい
- ・ にわか仕込みが役立つとは思えない。
- ・ スポーツが苦手、あるいは嫌いな人も少なくないと思うから。
- ・ 将来、小・中学などの先生になるわけではないから。
- ・ 意思に任せるべき
- ・ 体を動かす必要があれば個人で動かすため。
- ・ 個人で管理できる年だから。
- ・ やりたい人がやればいから

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ もう少し色々な種目を導入してほしい。仕方のないことだが専門と時間が重なり履修できない。
- ・ 楽しそうだけど、時間的にはきついな…。保健は特に忙しいです。校舎もだいぶ離れているし。

薬学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 他学部と不平等だと思うから。
- ・ 小・中・高では体育があるのに大学で行われないのは不自然だから。
- ・ 身体の成長に必要だと思うから
- ・ 他の学部とも交流できると思うから。
- ・ 運動も大切
- ・ とりたい人がいるならば、単位認定すべきだと思う。
- ・ 体動かすから
- ・ 今は履修しようとしてもできない状態になっているから。
- ・ スポ実したいから
- ・ 運動不足になるから
- ・ クラスの人達と交流できるから。
- ・ 定期的な運動は物理的、精神的健康に不可欠。
- ・ スポーツ実習で学ぶこともあるから。
- ・ 体力が落ちるから
- ・ 健康第一
- ・ ストレス発散。健康維持。
- ・ 受験中は運動しないので、大学入ってから運動しないと、体調がおかしくなるから。
- ・ 体力（基礎体力）は何事を成すにも必要な要素であること。体力のピーク付近のこの年代でさ

らなる向上が不可欠であること。授業がなければ運動などしない人も多くいること。

- ・ 大人になって、主なスポーツのルールもしらないようだとはずかしいから。
- ・ 運動不足は体に悪いから。
- ・ スポーツを必修しないなんて、ありえない。
- ・ 運動は大切、健康にとって。
- ・ スポーツは生活に必要なだから
- ・ スポーツはやるとよい経験になるから。
- ・ 心身の健康のため

【「不要」と答えた者】

- ・ 他にやるべきことがある
- ・ なくても運動するから。
- ・ 運動する、しないは個人の自由。あえてスポーツ実習で強制しなくても、する人はする。
- ・ 身体能力には個人差がありますので・・・。
- ・ 大学は勉強する場でいいと思う。運動は体育会やサークルなどで。
- ・ スポ実が楽勝科目になるだけだから。
- ・ 卒業単位が増えるのは良くないことだと思います。
- ・ 関係ないから
- ・ 進路先にスポーツは必要ないように思えるから
- ・ 大学まではいい
- ・ 特になし
- ・ 専門と特に密接には関係ない
- ・ 忙しくなるから
- ・ あまりなくていい
- ・ 大学はスポーツをする場所ではない。
- ・ 今までの体育と現在のクラブ活動で十分だと思います。
- ・ 創薬に直結する内容ではないと思うから。
- ・ サークルや部活などで運動すればよいのであって、あえてそれを授業でする必要はない。
- ・ 強制するものではない
- ・ めんどくさい。各自。
- ・ やりたい人だけやればいいと思う
- ・ みとめられるからやるものではないから。
- ・ Q7 必要とされればとらなくてはならないが、個人的にはやりたくない。
- ・ 自分で選ぶ
- ・ 特に大学において学ぶべきと思えない。
- ・ 時間があるので自分で運動できる
- ・ 運動は自由にするものだから。
- ・ 大学はいらなかなと思って
- ・ めんどくさい。

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ 認知する必要はないが、クラス指定はしてほしい。今のままではとりにくい。

農学部

【「必要」と答えた者】

- ・ 体育で、培われるものは一人の人間が育つ上で必要だと思うし、大学でもやるべきだと思う。
- ・ 体動かすことは健康上必要であり、脳ミソもリフレッシュされる。
- ・ もやしっ子をつくらないため。
- ・ Q6で答えたように（やはり、ある程度体を使うことは必要だと思うから。）、体を使うことは必要だし、そこから学ぶことも多いだろうから。
- ・ 健全な精神は健全な肉体に宿る
- ・ 友人をつくったり色々と良。
- ・ 健全な魂は健全な肉体に宿るから。
- ・ サークルや部活に入っていない人はスポーツにふれあう機会がなくなるから
- ・ スポ実も一般教養だと思う。
- ・ なぜ、他学部では認定されているのに農学部などではダメなのか、不公平だと思う。スポーツも大切。
- ・ 適度な運動は脳に良い刺激となりうるから
- ・ 上に同じ（遊ぶ心も必要！！）
- ・ 体をうごかせるから。
- ・ 単位にならないととらないから。
- ・ スポーツも単位として認定すれば、とる人が増えると思う。
- ・ 健康のため。
- ・ スポーツをする機会は必要であると思うし、教員免許のことも考えると必要であると思う。
- ・ スポーツ実習を履修すると、他の科目がその時間にとれず必要単位をそろえるのに負担が増えると思う人もいるかもしれない。
- ・ 研究には体力が必要だから。
- ・ 上と同じ（たまには体を動かしたほうがいい）
- ・ 大学生は基本運動不足だから。
- ・ 同上（運動不足改善）
- ・ リフレッシュ
- ・ なんとなく
- ・ 頭だけ働かすより体を動かした方がよい。
- ・ 単位としないと履修しないから。
- ・ 文武両道
- ・ 体を動かすことが大事。
- ・ 大学生活において定期的に運動することが、心身共に良いと考えられるから。
- ・ Q6で示したとおりであるが（文科系サークルやクラブに所属している学生はスポーツをする機会が少なく、体がなまる可能性は否定できないから。）、やはり人はある程度義務的にされないと履修する人が少ないから。

- ・ 上に同じ（運動不足になるから）
- ・ 健康のため。
- ・ 教育の幅を広げる
- ・ スポーツ実習はしたいですが、単位に認定されないならやはり時間ももったいないと思ってしまいます。
- ・ なんとなく
- ・ やはり、頭デッカチはいかん。
- ・ 運動不足になりがちなので。
- ・ スポーツにおけるフェア精神を学ぶことも必要
- ・ 農学部は比較的体力を必要とすると思われるから
- ・ わからない
- ・ 必要とすることで参加しやすくなるから。
- ・ 授業だけではつまらない。
- ・ 運動しようという気になるから。
- ・ 楽しいから
- ・ スポ実はやりたいし、単位認定されればこの上ないから。
- ・ 授業で運動する機会があれば嬉しいから。
- ・ 運動しない人はますますしなくなるから。大学以前のようにスポーツのデキフデキで人格を判断されることもないし。
- ・ 運動不足解消
- ・ 怠った体をリフレッシュできるから。
- ・ 運動不足は、大変
- ・ 自分がやりたいから
- ・ 勉強ばかりでもダメだから。
- ・ 頭だけじゃなく体も動かさなきゃ
- ・ スポーツに積極的に取り組むため
- ・ やっぱ体育です。
- ・ 運動不足になりがちなので、必須にすればより多くの人が履修できると思われるから。
- ・ 面倒くさい
- ・ 運動する機会をなかなか得られないから
- ・ 卒業に必要な単位とでもしないと、他の科目の忙しさなどあり、履修する気になれないため。
- ・ サークルに入っていない、又は文科系のサークルの学生は運動不足です。
- ・ 他学部に合わせてるため。
- ・ 体がなまる。ただでさえ京大生は運動不足が多いと思う。
- ・ 農学部（特に森林など）は体力が必要な場合が多いから。
- ・ 運動は生活の中で重要であり、それを奨励することも重要。
- ・ せっかくやるんだから単位はほしい
- ・ 上と同じ（運動不足解消のため。）
- ・ 大学にはいると、あまり体を動かす機会がないから。

- ・ スポーツ実習が単位認定されないこと自体不自然と思うから。
- ・ 平等に扱われる必要があるから。
- ・ スポーツしたいから
- ・ 同上（運動することで健康的になれるから。）
- ・ なぜ認定されていないのかが分からない。
- ・ 単位に認められないがために履修しない人が周りに多くてもったいない。たかだか2単位なのだからぜひ認めてほしい。クラスのみなどとやりたい。願わくば2回生のスポーツ実習Ⅱも+2単位、計4単位認めてほしいです。 A・B群の必要単位数を削る必要はないです。ただ、2回生になるとクラスの人との関わりが薄れてしまうので、スポーツ実習の存在意義は大きくなるはず。現状（単位が認められてない）では、まず登録者が少ない。そしてすぐサボるようになっていて、理系の学生は実質、受けているものはほとんどいない。残念だ。
- ・ 勉強しか教育と認めないのは偏った考えであると思う。健全な人格が育たないと思う。
- ・ 体を動かすべき
- ・ 学部によって差がある意味が分からない。
- ・ 工学部とかは必要なのに農薬医では不要な意味がわからない
- ・ でないと取らないから。
- ・ 同上（運動は健康維持で重要。正しい運動の仕方を身につける。健康がいっちゃん大事。）
- ・ Q6と同じ（やはり、健康に生きていく上で、必要不可欠なものであり、学力も健全な体があつてこそ、向上するものだと思うから。）
- ・ 体育だけ成績よかったから。
- ・ 運動しなダメ
- ・ 他学部と比べおかしいと思っていた。
- ・ 他学部との差をなくすため
- ・ 体がなまる
- ・ 私は体育会のあるクラブに所蔵しているが、やっぱり他のスポーツ（テニスやソフトボール）もしたいし、出来るならば単位として認定した方が余計履修しようと思うであろう。
- ・ 単位がとりやすいから。楽しく単位がとれるから。
- ・ チームプレーなどをすることによりコミュニケーション能力が育つから。
- ・ 大学は体育系のサークルに入らなければ身体を動かす機会がまったくないので、健康的にもスポーツをすることは必要だから。認定すれば取る人も多くなるのでは…。
- ・ 他の学部にあるのになぜないか分からない。
- ・ 授業に出ることに意味があるから。
- ・ 体力の維持と共に、友人作りの場ともなる。
- ・ 心身の活性化に有用だと思う。
- ・ 頭だけでなく体を鍛えることも人間として必要だから。
- ・ 運動はどんな人にも必要であると思う。
- ・ 運動不足にならないように
- ・ スポーツしたいじゃん。
- ・ 体を動かすべきだから。

- ・ 授業として行うからには、教官もそれにみあった内容を提供して単位を与えるようにすべきだと思う。
- ・ Q6と同じ理由です。(進学校だと、どうしても机上学習に偏りがちで、ストレスを発散する機会が少なくなりがちだから。)
- ・ 他学部は認定されているのに、認定されない理由が分からないから。

【「不要」と答えた者】

- ・ 大学で、「農学部」の卒業に必要な単位として指定される理由が良く分からない。
- ・ 必要性を感じない
- ・ したければ運動部かサークルに入る
- ・ 単位として認定されるから履修する、というのもどうかと思う。別に無理してとろうとも思わないが。運動部だし。
- ・ 強制ではなく、自由（自主）参加にすべき。
- ・ だっていない
- ・ 履修したいという人だけが履修すればいいと思うから
- ・ スポーツ実習は勉強とは言えないように思うので。
- ・ 大学は自分のしたいことを選んでできるのが最大の魅力の一つだと思うから。
- ・ 卒業には不要だと思う。
- ・ サークルで運動はできるので。
- ・ 大切だけど卒業に必要ではなくていいと思う。
- ・ スポーツですから
- ・ 大学まできて体育をしたくないという人もいると思うから。
- ・ 老人とかはきついし、いろんな人の集まる大学では是にしろ非にしろ自由度は高い方がよい。
- ・ スポーツ実習は授業に一切関しない
- ・ スポーツはわざわざ卒業に必要なものとしなくても自分で積極的に行うべき
- ・ スポーツの楽しさは高校時代に十分学べたので、大学時代は自分のペースで自分に合ったスポーツをやりたいため。(自転車・登山など、大学の講義ワクからは外れる)
- ・ スポーツ実習を時間割に組み込むと、前後に授業を入れられないので(準備等のため)全学共通科目の他の授業がとりにくくなるから。
- ・ スポーツは自分でできるから。
- ・ 特になし。
- ・ スポーツ実習により、特別の効果があるとは思えない。体力づくりなどは、自主的な活動により、可能である。意欲のあるものが取り組みばよいことである。
- ・ 成人は自らの健康くらい自己管理できるから。
- ・ 履修したい者だけがすればよいと考えるから。
- ・ 大学に入ってまでも、強制的にスポーツをすべきだとは考えないから
- ・ 今まで体育教師には十分気をつけてきたため、大学でまでよけいな気使いをしたくない。
- ・ 本人の意志によりけり。
- ・ 大学まできて体育という講義は必要ないと思う。
- ・ 上の理由(勉強ばかりしていても心が歪みます。体を動かすのは心の修養に必要であると考え

るからです。) から、生活に運動は必要であると考えます。しかし、大学生にもなれば自分で運動できるのではないのでしょうか。

- ・ 履修したい人だけが履修すればよい
- ・ 認定しなくてもスポーツはするから。
- ・ だってめんどいし
- ・ スポーツだし。
- ・ サークルとか、すれば…。
- ・ そもそもスポーツ実習自体不要。
- ・ 認定されなくても好きな人はやるだろうから。
- ・ 同上 (嫌いだから)
- ・ 別に卒業に必要とするのではなく、取りたい人が取ってそれが単位数に反映するようになればよいと思う。
- ・ サークルがあるから
- ・ 卒業に必要でなくとも履修したい人はするだろう。
- ・ おもしろくないですから
- ・ やりたい人だけスポーツやればよい。必要に応じて。
- ・ 大学にまでスポーツ (体育) を求めるべきでない。
- ・ 必要とは思えない。
- ・ 必要ならまた心配事が増える。単位とれないと思うから。
- ・ 大学生にまでなって…という思いがある。
- ・ とりたい人は勝手にとる。
- ・ 学業と直接関係ない。
- ・ スポーツ実習は学問の一つとして捉えておらず、娯楽と思っているから
- ・ 苦しい人にはほんとうにきついと思うし、運動は本人が楽しむためにすべき
- ・ 他の大学の人に聞くと体育は出席だけでよいらしい。あまり意味を感じない。
- ・ 無料で実習ができるなら、単位がなくてもやりたいから。
- ・ 大学生なんだから運動したければ自分で仲間さがしてやれ！！
- ・ スポーツは個人によって能力が大きく違うので強いて認定する必要はないと思う。
- ・ 大学に入ってまですることだと思われないから
- ・ 体育は学問ではないから
- ・ 大学は勉学が主な目的としているはずだから。
- ・ スポーツは必要だと思うが、強制する必要は全くない。
- ・ 大学に入ってまでスポーツを強いる必要はないと思う。自由な時間はあるだろうし、それぞれ好きな時に好きな様に体は動かせると思うので。
- ・ あんまりできないので。
- ・ 同上 (大学生にもなって運動を強制される必要は全くない。やりたい人だけやればよいと思うから。)
- ・ 高校よりも自由に使える時間ができて、その中で運動すればいいから。
- ・ 当該学部で、特にこれを学ぶ理由が考えられない。

- ・ 特にスポ実を重視する必要はないと思うから。
- ・ 別に学校にとらわれてやることでもないと思う。体育会以外ならスポーツは趣味程度である。
- ・ 農学部実習とかでわりと動きますし。

【「どちらともいえない」と答えた者】

- ・ 大学生にもなって、運動を強制的にやらされるのは苦痛である。
- ・ Q7は、別に卒業に必要な単位じゃなくてもとります！
- ・ 体育会やサークルで体を動かせばよい
- ・ 特に差し迫った必要はないと思うが、あった方が良いのは事実。
- ・ バレーとかサッカーならいつでもできる。昔有った“登山”とかを導入したら、教育の幅が広がると思う。

IV. スポーツ実習について、考えていること、感じていることを自由に書いてください。

医学部医学科

- ・ スポーツ実習をしたい。医・薬・農だけ認められていないのはすこぶるおかしいと思う。
- ・ 私は今まで、中学・高校でのクラブ活動を通して多くの友人・顧問の先生・よきライバルたちと出会い、お互いに高め合うことができました。そうして出会った人達とは、現在でも交流が続き、よい関係が続いています。そのような人間関係を築くのに、スポーツというのは、非常に力強い機会となります。是非、卒業単位としての認定と、京大の更なるスポーツの振興をよろしくお願いします。
- ・ スポーツ実習を必要科目とする学部必要としない学部があるその差の意味がわからない。
- ・ 以上。
- ・ 時間的な余裕があれば履修したい。
- ・ クラブで運動するので、特に必要はない。
- ・ 履修したいと思っていた。
- ・ スポーツをクラスの仲間としたい。
- ・ スポーツは健康によいのでスポーツ実習の実施にやぶさかでない。
- ・ スポーツは楽しい。
- ・ 時間があればうけてみたい。
- ・ 「大学生」の行うスポーツ実習というものが今一つ想像がつかない。小・中でやるような体力測定のようなものなら履修しようとは思えない。
- ・ ぶっちゃけ全然いらんと思います。
- ・ ほんの少しの時間であればスポーツ実習に割いてもよいとおもう。
- ・ 特になし。
- ・ 運動きらい
- ・ 運動不足なので、運動したい。
- ・ 心身共に健全な状態を保つために大切なものだと思う。
- ・ 必要な単位に認定するしないは別として、スポーツ実習をとりやすい制度にしてほしい。

- ・ 体育館使いたいです。
- ・ 体育館がアスベストで使えなくなってざんねんです。
- ・ ラグビーがしたい！
- ・ スポーツは自主的にやるものである。
- ・ スポーツ実習は、ただスポーツをするというだけのものにせずに、授業という”スポーツを通して何かを伝える”ということをもう少しアピールしていくべきだと思う。
- ・ とくになし。
- ・ とくになし。
- ・ 私が京医を選んだ理由の1つに“スポーツ実習をしなくていいから”が入っているので今後も今のままでいいと思う。
- ・ やりたいけど、一人ではどうも…。という感じです。
- ・ やりたい人がやればいい。
- ・ りしゅうできるじかんわりにしてください。
- ・ 好き。
- ・ 必ずしも必要だとは思いませんが、他学部の人との交流もできるので、スポーツ実習があるといいなあと思います。
- ・ 履修したかったのですが、忙しくて履修できませんでした。スポーツジムのように18:00以降も授業があると嬉しいです。

医学部保健学科

- ・ 種目を増やして欲しい。
- ・ 個人の好き好きでいいと思います。
- ・ 前期で履修しましたが、楽しかったです。
- ・ 1年の時に履修しましたが、楽しかったです。
- ・ 単位認定されなくてもと思う。
- ・ 楽しい。
- ・ スポーツ実習を単位認定してほしかったし、これから可能なら後輩のためにも認定してほしいと思います。
- ・ スポーツは楽しい。
- ・ サークル等で体をうごかす機会のない人には良い機会になるとなると思うのですが、単位にならないと思うと疲れるだけ。
- ・ 大学でのスポーツ実習は自分の望んだスポーツだけができると思うので、履修してみたかったです。ただ、私たちのカリキュラム（看護）的に必修ではないスポーツ実習を履修する余裕はあまりないようにも思います。
- ・ 他学部と一番仲良くなれる授業だと思う。運動が足りないなあと、考えている人にとってはうれしい授業だと思う。
- ・ もっと種目をふやしてほしい。
- ・ アスベストだいじょうぶですか？
- ・ スポーツ実習が単位として認定されるべきだとは思わないが、なぜ医学部・薬学部・農学部は

認定されていないのかわからない。

- ・ スポーツ実習は必要であると真に考えている。
- ・ 個人的にはスポーツをやりたいので単位として認めてもらえるとありがたいです。
- ・ 必要単位でないのでスポーツが嫌い・苦手な人が無理にやらなくてもいいし、競技が細かく多いので、好きなスポーツを選んでできるのがよいと思います。
- ・ 保健学科も D 群を単位認定してもらいたい。
- ・ 体を動かす機会が少なくなりつつある大学生にとって、スポーツ実習の授業は必要なかもしれませんが、単位が認定されていないので取らなくても良いかな、と考えている学生はたくさんいると思います。
- ・ 前期は履修しなかったが後期は履修するつもり。
- ・ ぜひ卒業に必要な単位に入るようにしてほしい。
- ・ 運動が苦手な人でも楽しめるようにしてほしい。
- ・ たしかにスポーツ実習で単位がとれればうれしいです。
- ・ 楽しそう。
- ・ 朝早い時間にあるのが難しい。
- ・ 医学部もしたい。
- ・ スポ実が認定されないのはこまると思っていたけど、2 回生になったら、忙しそうなので、もうどっちでもいい気もします。
- ・ 医学部がスポーツ実習が必修ではないのが残念でした。健康を考えて、少しでも体を動かせればよかったです。
- ・ 他の授業もそうだが、自分から履修しようと思って履修しないと実にならないし力にならないと思う。そして、本来、卒業に必要であることが履修の動機になることは不幸なことである。学部などの数年間で受ける授業は卒業だけでなくその時その時や、長い目、将来においてどんな意味や価値を盛ってくるかであると思う。卒業に必要かではなく自分に必要かで履修したいものである。
- ・ 絶対必要だと思います。勉強ばかりしていても体力が落ちては意味がない。
- ・ 特にない。
- ・ 大学生になっても、何か定期的にスポーツをやる必要はあると思う。私は卒業にスポーツ実習が不必要とは、全く予想外でした。医・薬・農だけ必要なしとする、基準の意味が全然解からない。
- ・ 楽しそうだがめんどくさそうだと思います。
- ・ 強制する必要はなくても、授業を取ったなら卒業に必要な単位として認められると良いと思う。
- ・ なぜ医・薬・農ではスポーツ実習 (D 群) を卒業単位として認めていないのかの理由をまず知らないのがあるがどこにかいてあるのですか？
- ・ 前期は時間割が合わなくて取れなかったが後期はぜひともとりたい。
- ・ 卒業単位として認めた方が良いと思います。
- ・ やったほうが良いとは思う。
- ・ 体を動かすこと自体嫌ではない。
- ・ クラス指定だったらうけると思う。

- ・ 自分のしたい種目が必修と重なっていてとれません・・・残念です。
- ・ いろいろな学部との交流ができるので良いと思います。
- ・ スポーツ実習も卒業に必要な単位として認めてほしい。
- ・ うけたことがないので何ともいえませんが、楽しみのために受けている人もいると思うのでいいと思います。
- ・ 楽しそうだからやってみたい。
- ・ 今のままでいいと思う
- ・ もっと実習の内容を増やしてほしい。
- ・ 自宅生が朝イチでスポ実はやキツイのでとってないです。すみません。
- ・ スポーツ大好き
- ・ 楽しそう。
- ・ 出席だけで単位が取れるというのがちょっと他の科目と同じ単位数がもらえるのと不合理な気が・・・。あとはグラウンドが遠いのが難点です。

薬学部

- ・ 薬学部ではスポーツ実習が卒業に必要な単位として認定されていないし、クラス指定がないのでスポーツ実習をとりたかったのにとりづらく、とれなかったので卒業に必要な単位として認定されてほしい。
- ・ 選べるスポーツの種類がメジャーなものに偏っていると思う。
- ・ 自分は卒業認定単位ではないが、スポ実を取ろうかと考えている。他の学部との交流も深まるのではないかと思う。
- ・ 出席率が低かったらおもしろくない。
- ・ 楽しいと評判なのでぜひ単位認定してほしい。
- ・ 内容を増やしてもらいたい。
- ・ 入学当初は少し参加したいと思っていました。
- ・ 卒業に必要な単位として認めてほしい。
- ・ たとえ“卒業に必要な単位”でなかろうと履修可能なわけだし、受講するか否かはすべて学生本人の問題である。だから、“卒業に必要・不必要”の議論自体ナンセンスだと思う。
- ・ スポーツ実習が卒業に必要でないということが「勉強だけしていればいい」という印象を与えるのであまり好ましくない。
- ・ スポーツやりたいならサークルでやればいいのかで別に要らないと思う。
- ・ 薬学部はD群が不要なので、D群も必要な方がいいかもしれない。
- ・ 特にありません
- ・ 私はD群単位とりました。それは単に興味からです。その様なD群のあり方で十分だと思います。
- ・ Q7で「わからない」としたのは、他の科目とのかね合いによるから
- ・ やりたいとは思いますが、けっこう忙しくなる学部なので無理かとも思う。
- ・ 特になし
- ・ みんなで何か1つのことにとりくむのは重要だと思う。必要でしょ。

- ・ やりたい人はやればいいし、やりたくなければやらなくていいと思います。
- ・ 個人的にスポーツは好きなので、増加単位であっても、スポーツ実習を受けようと思います。
- ・ 増加単位でもいいので、スポーツ実習が必要単位として認められない学部でもスポーツ実習をとりやすいしくみにしてほしい。クラス指定などでとりにくい。
- ・ 私のような運動嫌いな人にとっては辛いけど大事だと思う。
- ・ 認定してください。
- ・ 3・4限にやりたいです。
- ・ やってみたい。
- ・ 自分は体育が苦手だったため、葉の卒業単位にDが含まれないと聞き内心ほっとしていた。今後とらなければならぬとなると少し嫌だ。
- ・ 実際、めんどろなので、必要な単位じゃなくてよかったとは思いますが、全く運動しないことになるので走れなくなったりすぐけがをしたりと運動不足を実感しています。
- ・ ソフトテニスを導入してください。(確か硬式しかないとうかがったので。)
- ・ 本当にスポーツをしたい人は部やサークルに入るだろうし、そうでない人はスポーツ実習もしないと思う。スポーツ実習のメリットは、不純ではあっても「単位になる」という動機付けによって、新たに運動する機会を得ることだと思う。
- ・ とくになし
- ・ マラソンとかのみならいいかもしれない。
- ・ たのしそやけどたんいにならんからべつにとらんでいいや
- ・ きがえる時間が短そう
- ・ 私はスポーツが苦手なので積極的にとろうとは思いませんが、スポーツが好きな人もいるので、現行のままでよいのではないのでしょうか。
- ・ ちょっとやってもいいかな。
- ・ 特になし
- ・ 特にない

農学部

- ・ 今、卒業に必要な単位にしていない学部も、必要な単位（よみかえ可とかにして）としてみてもらえればと思う。
- ・ 教職で必要だったのでフィットネスを取りましたがたのしかった。他の学部でスポ実が必修の人はなしをきくと、やりたいスポーツが、自分のとれる時間ではとれない（←学部指定などで）といっているのをよくきく。
- ・ 着替えとか持ってくるの面倒。移動の時間なさそう。朝、早そう。
- ・ 学部によって卒業単位として認定されるかどうかが違うことについて、その理由が分からない。
- ・ 必要だと思う。
- ・ スポーツはいい。想像を絶する。
- ・ 中途半端です。(時間も内容も)
- ・ スポーツすることは良いことだと思うので、スポーツ実習は、大切な授業です。
- ・ 履修登録の方法が少し分からない。

- ・ したい人だけすればよいと思う。
- ・ 運動音痴なので、授業として体を動かして評価されるのが苦痛でした。授業としてあってもよいかとは思いますが、必修になったらとても困ります。
- ・ 入学する以前はスポ実をとろうと考えていたが卒業に必要な単位とされないとわかってとらなかつた。
- ・ 履修したことがないので履修してみたいが、15分間に準備するのは難しそう。
- ・ もっと種目をふやすとよい。
- ・ 卒業に必要であれば、履修するし、大学では自分の好きなスポーツを選べるので別にスポーツ実習は嫌ではありません。
- ・ とりたい人はとればよいと思う。
- ・ やりたい。
- ・ 高校までの体育の授業とどう違うのかよく分からない
- ・ スポーツ実習を受けていないので内容はよく知らないですが、上でQ8で必要と答えましたが運動系のサークルに入ったりしている人は必要ないような気がします。
- ・ バレーボール大好き
- ・ 体育系サークルなどに入っていない場合、どうしても運動不足になりがちなので、スポーツ実習も有効だとは思う。
- ・ 特になし
- ・ 体を動かすのでいいと思う。
- ・ もっと種目をふやすとよい。まったりしたというか、体育会系！という感じのスポーツ実習は遠慮したいです。
- ・ 特になし
- ・ 楽になあなあなら、交流にもなるし、後期からやろうかな？
- ・ 私は、自分で体を意識的に動かしているので、大学の授業で体育をやる必要はないと思う。
- ・ 友だちができるので良いと思う。
- ・ 単位に認定されないため、履修しにくい
- ・ 教職をとるのに必要なのでとるつもりです。
- ・ アスベストの為に体育館での体育（スポ実）がなくなって非常に残念です。
- ・ 楽しいからいいと思う
- ・ 午後にやってほしい。
- ・ 楽しそうだけど、必修にする必要はないと思う
- ・ 特にありません。
- ・ 選択コマが少ないスポーツ（バスケとか）をもう少し増やした方がよいと思う。
- ・ 早く体育館を使えるようにしてほしい。
- ・ 特になし
- ・ 私はスポ実の時間に他にとりたい科目があったので、一度もとったことがないため、とくに何も知りません。あまり感じることもありません。
- ・ もっといろんな種目があってもよい。選択の幅が広がる。
- ・ 2回生以上のスポーツ実習を更に充実させて欲しい。

- ・ その種目に興味がある人はやればよいと思うが、別に単位として認定されてもされなくてもよいと思う。
- ・ スポ実とは実際とりたいけれど、部活で体が疲れている上にやるとなると負担になるかなあ…と思います。私にとって、スポ実とは運動の場としか思えないので、この意識に問題があるのかもしれないですが…。
- ・ 特になし
- ・ 現在履修していないので内容に関してはよくわからない。ただ毎年スポーツテストで最低の判定が出ていたので体育は嫌いだし、できることなら2度とかかわりたくないと思っている。しかし、そうなると体を動かすことがほとんどなくなって体がなまっているのも事実である。
- ・ 必修であれば、私なら履修するし、定期的な運動ができてよいと思います。
- ・ 特になし
- ・ アスベスト反対
- ・ 必要な授業を履修したうえで、余裕があればスポーツ実習も履修したい。この時単位として認定されるならその事が後押しになると思う。
- ・ 私は、体が悪く、スポーツ実習が現在農学部で、卒業に必要な単位とされていないことをうれしく思っている。しかし、教員免許には必要なので、自分に出来るような種目で、申請しようと思っている。今回、体育館で、開講予定であった種目が、不開講となったことは、残念である。スポーツ実習ⅡA・ⅡBにもフィットネスなど、私のようなものにも出来る種目を加えていただければ幸いである。
- ・ 日頃、運動不足になりがちなので、運動する時間をもうけた方がよいと思うから。
- ・ スポ実があった方がいいです！！
- ・ 学生の体質について、もっと詳しくクラスを分けて、指導することが望ましいです。
- ・ スポーツは楽しいから大好き
- ・ 認定されれば取ります。認定されなければ取れません。
- ・ D群評価してください。
- ・ 楽しく単位がとれていいと思う。
- ・ 運動系の部活・サークルに入っていないので、スポーツ実習をとろうと思いましたが、卒業に必要な単位として認められないことを知り、スポーツ実習を受講しませんでした。できれば今後、スポーツ実習を卒業に必要な単位として認めてほしいと思います。
- ・ やはり、全学部にスポーツ実習を卒業に必要な単位に認定するべきである。
- ・ 楽しみたい
- ・ 必要ならばやっていたかもしれないが、1限にあることが多いようなので、疲れ切ってしまうと1日がしんどくなるかもしれない。
- ・ 体を動かしたい人が、そうできる環境を整えて下さい。
- ・ 特になし。
- ・ 最も自由に選択すべきもの、というよりあまり興味がない。
- ・ 必要でなくてもとる
- ・ 楽しそうでいいなあ～。
- ・ 初心者と経験者を分けた講義を用意してほしい。

- 1年を通じてずっと同じ種目だと、途中であきてくるかもしれない。
- 単位として認定されるのなら取ると思う。
- 何で上記学部のみスポ実が卒業に必要な単位とされていないのですか？
- 取らずに出さしてもらってました。
- 普段、体をうごかす機会があまりないので、やってみたい。
- 私は農学部の学生なので、今スポーツ実習など取っていないです。スポーツは学生にとって必要だと思いますが、必要な単位として認定されるのはちょっと好きではないです。やはり自分で決めて、適当に運動すればいいと思います。
- 楽しそう。しかし、単位にならないのは損した気分になるし…。
- 卒業に必要な単位だったら週に1時間半の楽しみになっていたことでしょう。
- わざわざ認定しなくてもスポーツをする人は自主的にスポーツを行うと思う。問題はスポーツを進んでしない人たちでその人たちの意識を調べることが大切だと思う。
- 私は、農学部学生なのですが、前期に、経済学部用のスポーツ実習（ソフトボール）を履修しました。そこで、違う学部の人と楽しく運動することはなかなか楽しい事で、有意義であったと思っています。まあ単位として認定されていないのでムダといえばムダですがね…（笑）
- 後期とろうと思ってたのに、体育館使えなくてザンネンです。
- 水泳したいなあ。
- スポーツ実習は楽しいと思う
- 私は単位に関わらず、履修し、別に楽しかったが、他学部のスポ実が単位になるのは不公平だと思う。
- 楽しい。
- 好きな人はやればいいんじゃないかな？
- 増加というか、とりあえずとるな！というスタンスは問題です。
- たのしそう
- スポーツくらい自分でやる。
- 楽しい
- 前期でサッカーを取りました。スポーツサークルに入っていない私としてはいい気分転換になりました。卒業に必要な単位に認定されればうれしいですが、そうでなくてもやる意義は十分あると思いました。
- 一回の前期にとっていたが、週に一回、体をうごかす機会があったのがよかった。そのときは単位が関係なかったので気楽にいった。
- 3限も増やして。
- スポーツ実習をもっと幅広い時間帯で開講して欲しかった。
- 農学部もスポーツ実習を卒業に必要な単位として認めてほしいです。
- いらん
- ダンス（エアロビクス？）などの科目があればいいと思う。
- 他の学部が単位として認められているのを、うらやましく思います。
- 卒業に必要なくてもクラス指定にして欲しい。
- 特になし

- なくてもいいと思う。
- 興味はありましたが、教員免許を取ろうと思わない限り単位取得の必要がなかったので前期では受講しませんでした。同じ理由で受講しなかった人もいると思いますが、体育に触れる機会をゼロにしないために開講しておくべき教科ではないかと思っています。
- もう少し競技のバリエーションを増やしてもいいのではないかと思います。
- 私はスポーツ自習を選択していませんでしたが、履修した友人はみな楽しかったといえます。私は大阪からの自宅生のため、朝からのスポーツ自習をうけたあとは疲れて、他の授業に支障をきたすと考えて、選択しませんでした。下宿生なら運動不足になりがちだし、ぜひ履修すべきだと思いました。
- なぜスポーツ自習が単位として認定されている学部とされていない学部があるのかが不思議。理由が知りたい。
- 健康維持にプラス。
- めっちゃ楽勝らしいから単位認定してほしい。
- 我々のようにスポーツ実習がクラス指定でなく、かつ卒業に必要でないとされている者の一番の考えどころは、そのスポーツ実習が教職免許の必要条件だということである。一概には言えないのだが、教職免許のための単位取得は専門分野をしっかりと修める者にとっては困難であり、その結果として（失礼だが）あまり学識の無い教員（小・中・高等学校の）が溢れかえっている感がある。
- 農学部1組のように大きなクラスだと、スポーツ実習のような企画がないとクラスメイトを知る機会がないと思います。
- 体を動かすことは大事なことだと思う。が、スポ実が卒業単位に入ると、単位の為に皆履修することになり、授業がおもしろくなる可能性もある。一部の科目（テニス？）などは経験者だけを履修することをすすめたりして、いろんなレベルの人が集まりにくいらしい。今のスポ実ならいれなくてもよいのでは？
- 意欲のある人のみが参加すればよい。
- 日頃体を動かさない学生の気分転換になると思う。
- 特になし
- 特にスポーツは嫌いではないが、卒業に必要な単位とされて履修したら楽しくて好きになるか面倒で嫌いになるかのどちらかだと思う。
- 受けていない。
- とくになし
- いつかとってみたい。
- 一限にあるものは時間的にキツイ。
- なぜ農・医・薬だけスポーツ実習が認定されていないかにすごく疑問を感じます。私はスポーツが大好きなので認定してほしいです。
- 1回のときは専門とりたい種目のスポ実がかぶっていてとれなかった。もう、今はスポ実をとる気はなくなっている。どうしても、まわりが1回生というイメージがあるし。
- 勉強ばかりで体を動かさないのはだめだと思う。
- 体育が嫌いな人もいると思うので、必修でなく、選択必修にしたらいいと思います。

- ・ D 群を卒業に必要な単位として認めてほしいです。
- ・ 後期にスポ実をとろうと思ったが、体育館がつかえず。迷い中。
- ・ 少し面倒くさいというイメージがある。
- ・ 楽しい
- ・ 他大学のようにもっと種類が増えるといいと思います。武道系や、アーチェリーなど
- ・ 運動したい
- ・ スポーツ実習を履修していても、していなくても、スポーツを通して体をきたえる必要があると思う。
- ・ 緊急時の対処方法等も内容に盛り込めばよいかと思われまます。
- ・ 友達をつくるのによい場である。
- ・ スポーツしたい。
- ・ 農など単位に認定されていない学部は後回しになるので、そのへん改善してほしい。
- ・ やりたい人がやる。やりたくない人はやらないでもよい。これがベストだと思う。
- ・ 後期で体育館でするスポーツができなくなることを非常に残念に思います。なんとかならないんでしょうか？
- ・ 農学部にも運動の機会を！
- ・ たまに体をうごかすのにちょうどよい。運動系サークルや部活に入っていない人には、大事な運動の機会になるだろうし、認定した方がよい。
- ・ Q9 と同じ（学部によって差がある意味が分からない。）
- ・ 受けていないので分からない。
- ・ 1 回生の前期だけスポ実をうけ、単位をとりましたが、後期は行きませんでした。単位は当たり前にもらえませんでした。やはり単位をもらっても卒業に必要でなかったからです。
- ・ いいことだと思うしできればとり入れてほしいと思う。
- ・ スポーツの種目をさらに増やすことで選択肢も広がって良いと思う。
- ・ 特になし
- ・ スポーツ実習は体を動かす貴重な機会です。
- ・ フィールド科学派の為の“登山技術”とか、“海洋での遠泳”が欲しい。
- ・ 他の学部でクラス指定の場合、とれるスポーツの種目が限られているのはかわいそうだと思う。
- ・ 特になし。
- ・ もっとふやしてほしい。
- ・ 何故、農学部が単位として認定されないのか？それは農学部の他の群の履修が比較的楽だからなのか？
- ・ B 群の必要単位を減らして D 群の必要単位を増やしてほしい。
- ・ 種目、時限が少なく、取るのに不便に思う。
- ・ 楽しかったよ。
- ・ 今は弓道部であまり汗をかかないので、後期はスポーツ実習で汗をかきたいと思う。
- ・ 正直、登録の手続きが少し面倒だと感じています。
- ・ 取ったことがないので分からない。
- ・ もう少し色々な時限にあるといいと思う。

- ぜひ後期は履修したいと思っている。
- 特になし。
- 短期間で好きな運動科目を選べるのは魅力的だが、サークル等長期の活動に比べて目的意識や達成感が得られにくい。他に体を動かす機会のない人の為には良いシステムだと思うが、外部で活動をしている人には特に必要のないものだと思う。
- 農学部では、卒業単位に認定されていないけれど、教職の関係で履修した。結構、楽しく参加でき、よかった。
- 卒業に必要な単位にしてほしい。それだけです。
- バasketが少なすぎて自由に取りにくい。二回生以上配当がないのでやりたくてもできなかった。
- 履修に関する手続きがめんどろ。
- 運動不足の対策ということよりもゲームを楽しめた。
- ただでさえ運動不足になりがちなので、体を動かすいい機会になると思います。

D 群科目部会委員名簿

平成 18 年 4 月 1 日現在

部局	職名	氏名	備考
高等教育研究開発推進センター	教授	小田 伸午	部会長
〃	助教授	田中 真介	
人間・環境学研究科	教授	石原 昭彦	
教育学研究科	教授	杉本 均	

以上 4 名



スポーツ実習に関するアンケート

平成 18 年 5 月発行

編集 京都大学高等教育研究開発推進機構

全学共通教育システム委員会 教養教育専門委員会 D群科目部会

発行 京都大学共通教育推進部共通教育推進課

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

Tel 075-753-9346
